

JAPAN HERITAGE

日本遺産

〒100-8959 東京都千代田区霞が関3-2-2  
文化庁参事官(文化観光担当)  
TEL:03-5253-4111  
FAX:03-6734-3823  
E-mail : japan-heritage@mext.go.jp  
[http://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkazai/nihon\\_isan/](http://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkazai/nihon_isan/)

# 日本遺産とは？

## 1. 主旨と目的

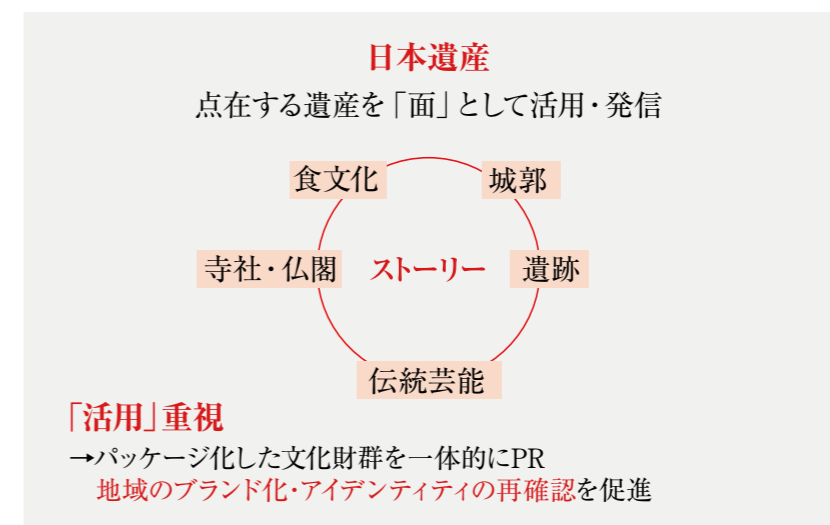
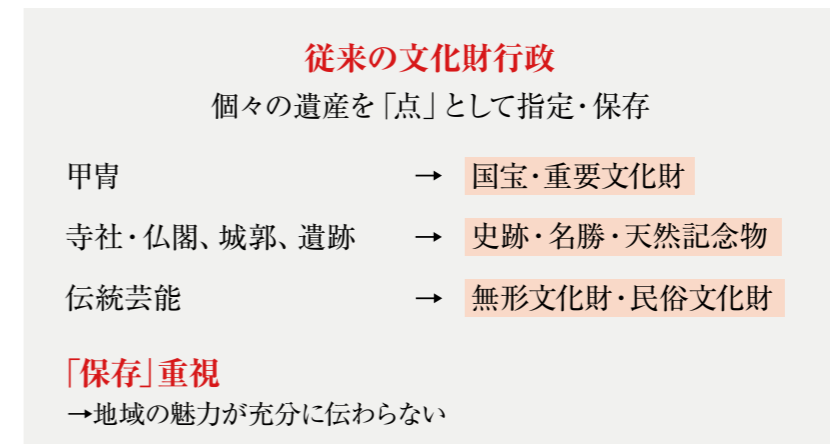
我が国の文化財や伝統文化を通じた地域の活性化を図るためには、その歴史的経緯や、地域の風土に根ざした世代を超えて受け継がれている伝承、風習などを踏まえたストーリーの下に有形・無形の文化財をパッケージ化し、これらの活用を図る中で、情報発信や人材育成・伝承、環境整備などの取組を効果的に進めていくことが必要です。

文化庁では、地域の歴史的の魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産 (Japan Heritage)」として認定し、ストーリーを語る上で不可欠な魅力ある有形・無形の様々な文化財群を総合的に活用する取組を支援します。

## 2. 日本遺産事業の方向性

日本遺産事業の方向性は次の3つに集約されます。

- ①地域に点在する文化財の把握とストーリーによるパッケージ化
- ②地域全体としての一体的な整備・活用
- ③国内外への積極的かつ戦略的・効果的な発信



## 日本遺産認定ストーリー一覧

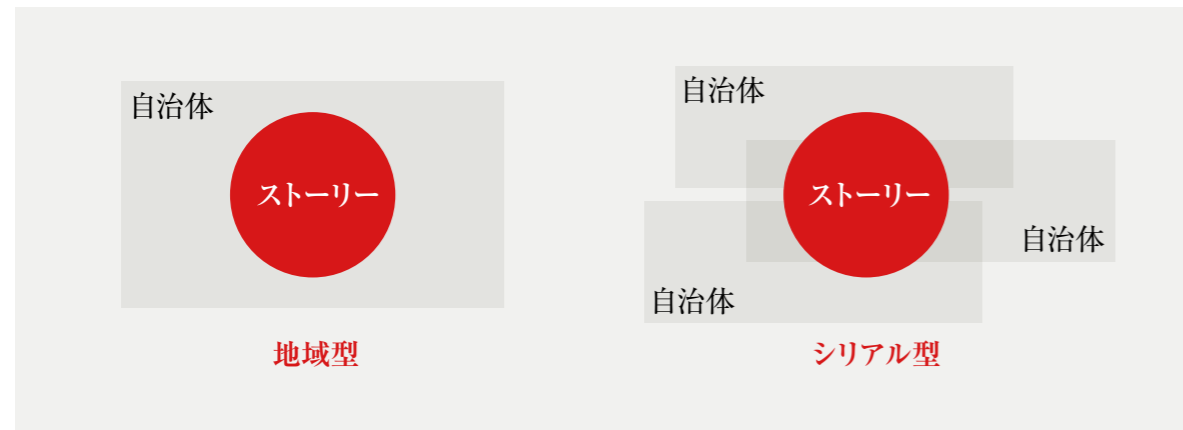
### 3. 認定するストーリー

日本遺産として認定するストーリーは次の4点を踏まえた内容としています。

- ① 歴史的経緯や地域の風習に根ざし、世代を超えて受け継がれている伝承、風習などを踏まえたものであること。
- ② ストーリーの中核には、地域の魅力として発信する明確なテーマを設定の上、建造物や遺跡・名勝地、祭りなど、地域に根ざして継承・保存がなされている文化財にまつわるものを据えること。
- ③ 単に地域の歴史や文化財の価値を解説するだけのものになっていないこと。
- ④ その地域や文化財に関する専門的知識を持たない人も興味や関心を持てるものとする。

日本遺産のストーリーには次の2つの種類があります。

- 「地域型」…単一の市町村内でストーリーが完結
- 「シリアル型」…複数の市町村にまたがってストーリーが展開



### 4. ロゴマークについて

認定された日本遺産ストーリーを紹介するパンフレットなどに表示するロゴマークはグラフィックデザイナーの佐藤卓氏に作成いただいたものです。日の丸は日本を表し、その下の縦格子のように見える繊細な線の集合は、よく見るとJAPAN HERITAGEの文字です。

この線の集合は、ひとつの「面」を形作っており、地域に点在する文化財を点から線へ、そして面で捉える「日本遺産」を表現しています。



#### 平成27年度認定〈18件〉

	地域	ストーリー	ページ
1	茨城県・栃木県・岡山県・大分県	近世日本の教育遺産群-学ぶ心・礼節の本源-	p15
2	群馬県	かかあ天下-ぐんまの絹物語-	p15
3	富山県	加賀前田家ゆかりの町民文化が花咲くまち高岡-人、技、心-	p16
4	石川県	灯り舞う半島 能登 ~熱狂のキリコ祭り~	p16
5	福井県	海と都をつなぐ若狭の往来文化遺産群~御食国(みけつくに)若狭と鯖街道~	p17
6	岐阜県	「信長公のおもてなし」が息づく戦国城下町・岐阜	p17
7	三重県	祈る皇女斎王のみやこ 斎宮	p18
8	滋賀県	琵琶湖とその水辺景観-祈りと暮らしの水遺産	p18
9	京都府	日本茶800年の歴史散歩	p19
10	兵庫県	丹波篠山 デカンショ節 -民謡に乗せて歌い継ぐふるさとの記憶-	p19
11	奈良県	日本国創成のとき~飛鳥を翔(かけ)た女性たち~	p20
12	鳥取県	六根清浄と六感治癒の地~日本一危ない国宝鑑賞と世界屈指のラドン泉~	p20
13	鳥根県	津和野今昔~百景図を歩く~	p21
14	広島県	尾道水道が紡いだ中世からの箱庭の都市	p21
15	愛媛県・高知県・徳島県・香川県	「四国遍路」~回遊型巡礼路と独自の巡礼文化~	p22
16	福岡県・佐賀県	古代日本の「西の都」~東アジアとの交流拠点~	p22
17	長崎県	国境の島 壱岐・対馬・五島 ~古代からの架け橋~	p23
18	熊本県	相良700年が生んだ保守と進取の文化 ~日本でもっとも豊かな隠れ里-人吉球磨~	p23

#### 平成28年度認定〈19件〉

	地域	ストーリー	ページ
19	宮城県	政宗が育んだ「伊達」な文化	p24
20	山形県	自然と信仰が息づく『生まれかわりの旅』 ~樹齢300年を超える杉並木につつまれた2,446段の石段から始まる出羽三山~	p24
21	福島県	会津の三十三観音めぐり~巡礼を通して観た往時の会津の文化~	p25
22	福島県	未来を拓いた「一本の水路」-大久保利通「最期の夢」と開拓者の軌跡 郡山・猪苗代-	p25
23	千葉県	「北総四都市江戸紀行・江戸を感じる北総の町並み」 -佐倉・成田・佐原・銚子:百万都市江戸を支えた江戸近郊の四つの代表的町並み群-	p26
24	神奈川県	江戸庶民の信仰と行楽の地~巨大な木太刀を担いで「大山詣り」~	p26
25	神奈川県	「いざ、鎌倉」~歴史と文化が描くモザイク画のまちへ~	p27
26	新潟県	「なんだ、コレは!」信濃川流域の火焰型土器と雪国の文化	p27
27	石川県	『珠玉と歩む物語』小松 ~時の流れの中で磨き上げた石の文化~	p28
28	長野県・岐阜県	木曾路はすべて山の中~山を守り 山に生きる~	p28
29	岐阜県	飛騨匠の技・こころ -木とともに、今に引き継ぐ1300年-	p29
30	兵庫県	『古事記』の冒頭を飾る「国生みの島・淡路」~古代国家を支えた海人の営み~	p29
31	奈良県	森に生まれ、森を育んだ人々の暮らしとこころ~美林連なる造林発祥の地「吉野」~	p30
32	和歌山県	鯨とともに生きる	p30
33	鳥取県	地藏信仰が育んだ日本最大の大山牛馬市	p31
34	鳥根県	出雲國たたら風土記 ~鉄づくり千年が生んだ物語~	p31
35	広島県・神奈川県・長崎県・京都府	鎮守府 横須賀・呉・佐世保・舞鶴 ~日本近代化の躍動を体感できるまち~	p32
36	愛媛県・広島県	「日本最大の海賊」の本拠地・芸予諸島~よみがえる村上海賊「Murakami KAIZOKU」の記憶-	p32
37	佐賀県・長崎県	日本磁器のふるさと 肥前 ~百花繚乱のやきもの散歩~	p33

凡例 ● 地域型…単一の市町村内でストーリーが完結  
 ● シリアル型…複数の市町村にまたがってストーリーが展開

平成29年度認定〈17件〉

	地域	ストーリー	ページ
38	北海道	江差の五月は江戸にもない -ニシンの繁栄が息づく町-	p33
39	北海道・青森県・秋田県・山形県・新潟県・富山県・石川県・福井県・京都府・大阪府・兵庫県・鳥取県・島根県・岡山県・広島県・香川県	荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間 ~北前船寄港地・船主集落~	p34
40	山形県	サムライゆかりのシルク 日本近代化の原風景に出会うまち鶴岡へ	p34
41	埼玉県	和装文化の足元を支え続ける足袋蔵のまち行田	p35
42	滋賀県・三重県	忍びの里 伊賀・甲賀-リアル忍者を求めて-	p35
43	京都府	300年を紡ぐ絹が織り成す丹後ちりめん回廊	p36
44	大阪府・奈良県	1400年に渡る悠久の歴史を伝える「最古の国道」~竹内街道・横大路(大道)~	p36
45	兵庫県	播但貫く、銀の馬車道 鉱石の道~資源大国日本の記憶をたどる73kmの轍~	p37
46	和歌山県	絶景の宝庫 和歌の浦	p37
47	和歌山県	「最初の一滴」醤油醸造の発祥の地 紀州湯浅	p38
48	島根県	日が沈む聖地出雲 ~神が創り出した地の夕日を巡る~	p38
49	岡山県	一輪の綿花から始まる倉敷物語 ~和と洋が織りなす繊維のまち~	p39
50	岡山県・福井県・愛知県・滋賀県・兵庫県	きっと恋する六古窯 -日本生まれ日本育ちのやきもの産地-	p39
51	高知県	森林鉄道から日本一のゆずロードへ -ゆずが香り彩る南国土佐・中芸地域の景観と食文化-	p40
52	福岡県・山口県	関門“ノスタルジック”海峡 ~時の停車場、近代化の記憶~	p40
53	熊本県	米作り、二千年にわたる大地の記憶 ~菊池川流域「今昔『水稻』物語」~	p41
54	大分県	やばい遊覧~大地に描いた山水絵巻の道をゆく~	p41

平成30年度認定〈13件〉

	地域	ストーリー	ページ
55	北海道	カムイと共に生きる上川アイヌ ~大雪山のふところに伝承される神々の世界~	p42
56	山形県	山寺が支えた紅花文化	p42
57	栃木県	地下迷宮の秘密を探る旅 ~大谷石文化が息づくまち宇都宮~	p43
58	栃木県	明治貴族が描いた未来 ~那須野が原開拓浪漫譚~	p43
59	富山県	宮大工の鑿一丁から生まれた木彫刻美術館・井波	p44
60	山梨県	葡萄畑が織りなす風景-山梨県峡東地域-	p44
61	長野県・山梨県	星降る中部高地の縄文世界-数千年を遡る黒曜石鉱山と縄文人に出会う旅-	p45
62	静岡県・神奈川県	旅人たちの足跡残る悠久の石畳道 -箱根八里で辿る遙かな江戸の旅路-	p45
63	和歌山県	「百世の安堵」~津波と復興の記憶が生きる広川の防災遺産~	p46
64	岡山県	「桃太郎伝説」の生まれたまち おかやま ~古代吉備の遺産が誘う鬼退治の物語~	p46
65	広島県	瀬戸の夕風が包む 国内随一の近世港町~セピア色の港町に日常が溶け込む瀬の浦~	p47
66	大分県	鬼が仏になった里「くにさき」	p47
67	宮崎県	古代人のモニュメント -台地に絵を描く 南国宮崎の古墳景観-	p48

令和元年度認定〈16件〉

	地域	ストーリー	ページ
68	北海道	本邦国策を北海道に観よ!~北の産業革命「炭鉄港」~	p48
69	宮城県・岩手県	みちのくGOLD浪漫-黄金の国ジパング、産金はじまりの地をたどる-	p49
70	群馬県	里沼(SATO-NUMA)-「祈り」「実り」「守り」の沼が磨き上げた館林の沼辺文化-	p49
71	福井県	400年の歴史の扉を開ける旅~石から読み解く中世・近世のまちづくり 越前・福井~	p50
72	愛知県	江戸時代の情緒に触れる絞りの産地~藍染が風にゆれる町 有松~	p50
73	三重県	海女(Ama)に出逢えるまち 鳥羽・志摩~素潜り漁に生きる女性たち	p51
74	滋賀県・岐阜県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・和歌山県	1300年つづく日本の終活の旅~西国三十三所観音巡礼~	p51
75	大阪府	旅引付と二枚の絵図が伝えるまち-中世日根荘の風景-	p52
76	大阪府	中世に出逢えるまち~千年にわたり護られてきた中世文化遺産の宝庫~	p52
77	兵庫県	「日本第一」の塩を産したまち 播州赤穂	p53
78	鳥取県・兵庫県	日本海の風が生んだ絶景と秘境 -幸せを呼ぶ霊獣・麒麟が舞う大地「因幡・但馬」	p53
79	島根県	神々や鬼たちが躍動する神話の世界~石見地域で伝承される神楽~	p54
80	岡山県・香川県	知ってる!?悠久の時間が流れる石の島 ~海を越え、日本の礎を築いた せとうち備讃諸島~	p54
81	徳島県	藍のふるさと 阿波~日本中を染め上げた至高の青を訪ねて~	p55
82	鹿児島県	薩摩の武士が生きた町~武家屋敷群「麓」を歩く~	p55
83	沖縄県	琉球王国時代から連続と続く沖縄の伝統的な「琉球料理」と「泡盛」、そして「芸能」	p56

令和2年度認定〈21件〉

	地域	ストーリー	ページ
84	北海道	「鮭の聖地」の物語~根室海峡一万年の道程~	p56
85	岩手県	“奥南部”漆物語~安比川流域に受け継がれる伝統技術~	p57
86	茨城県・山梨県	日本ワイン140年史~国産ブドウで醸造する和文化の結晶~	p57
87	栃木県・茨城県	かさましこ~兄弟産地が紡ぐ“焼き物語”~	p58
88	東京都	霊気満山 高尾山 ~人々の祈りが紡ぐ桑都物語~	p58
89	新潟県	究極の雪国とおかまち-真説!豪雪地ものがたり-	p59
90	福井県・滋賀県	海を越えた鉄道~世界へつながる 鉄道のキセキ~	p59
91	山梨県	甲州の匠の源流・御嶽昇仙峡~水晶の鼓動が導いた信仰と技、そして先進技術へ~	p60
92	長野県	月の都 千曲-姨捨の棚田がつくる摩訶不思議な月景色「田毎の月」-	p60
93	長野県	レイラインがつなぐ「太陽と大地の聖地」~龍と生きるまち 信州上田・塩田平~	p61
94	静岡県	日本初「旅ブーム」を起こした弥次さん喜多さん、駿州の旅 ~滑稽本と浮世絵が描く東海道旅のガイドブック(道中記)~	p61
95	京都府・滋賀県	京都と大津を繋ぐ希望の水路 琵琶湖疏水~舟に乗り、歩いて触れる明治のひとつき	p62
96	大阪府・奈良県・和歌山県	女性とともに今に息づく女人高野~時を超え、時に合わせて見守り続ける癒しの聖地~	p62
97	兵庫県	「伊丹諸白」と「灘の生一本」下り酒が生んだ銘醸地、伊丹と灘五郷	p63
98	奈良県・大阪府	もう、すべらせない!!~龍田古道の心臓部「亀の瀬」を越えてゆけ~	p63
99	和歌山県・大阪府・奈良県	「葛城修験」-里人とともに守り伝える修験道はじまりの地	p64
100	島根県	中世日本の傑作 益田を味わう-地方の時代に輝き再び-	p64
101	島根県	石見の火山が伝える悠久の歴史~“縄文の森” “銀の山”と出逢える旅へ~	p65
102	岡山県	「ジャパンレッド」発祥の地-弁柄と銅の町・備中吹屋-	p65
103	長崎県・福岡県・佐賀県	砂糖文化を広めた長崎街道~シュガーロード~	p66
104	熊本県	八代を創造した石工たちの軌跡~石工の郷に息づく石造りのレガシー~	p66

# 日本遺産認定ストーリー所在地一覧

各地域の日本遺産をもっと詳しく知りたい方はこちらをご覧ください。

日本遺産ポータルサイト

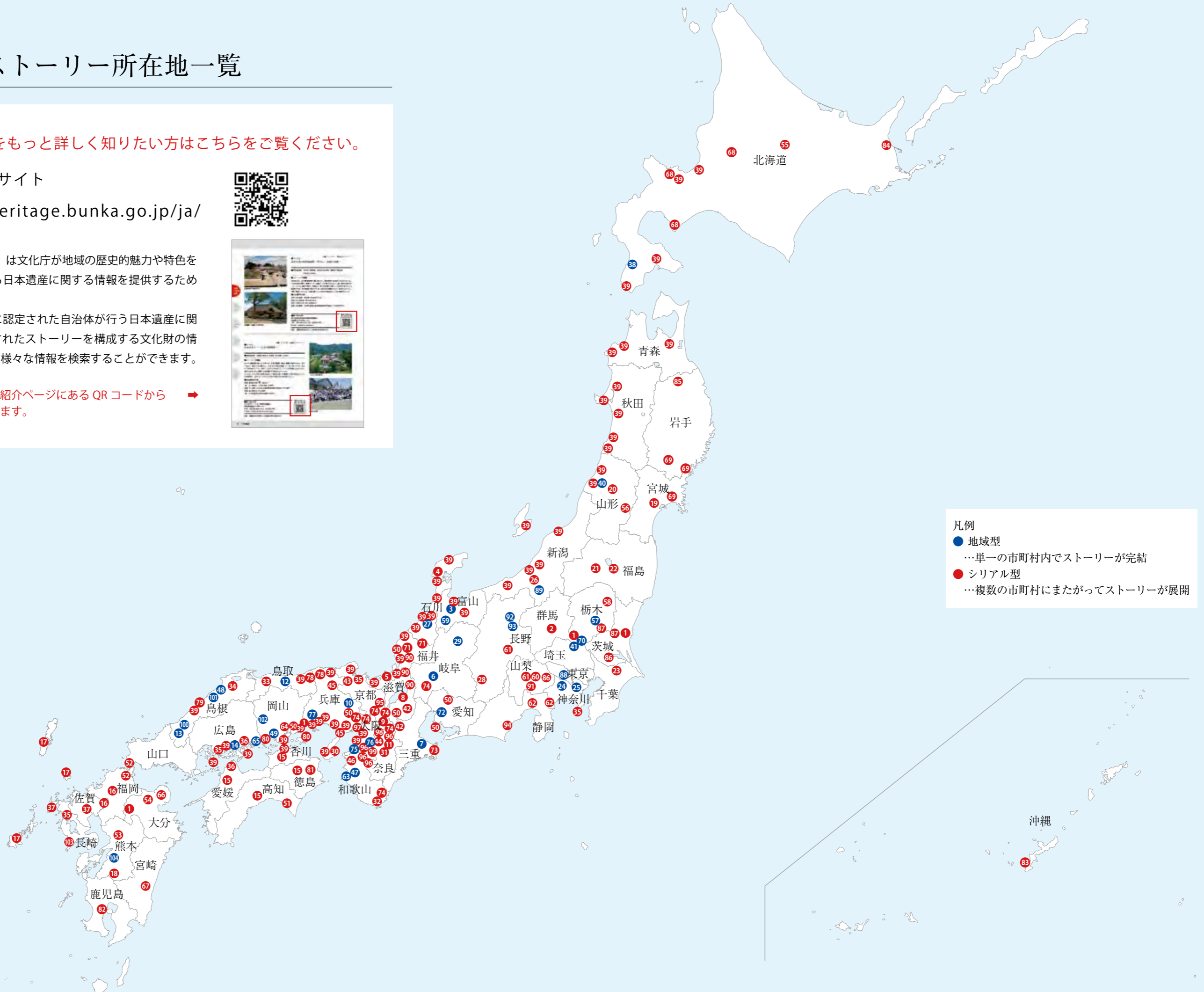
<https://japan-heritage.bunka.go.jp/ja/>



「日本遺産ポータルサイト」は文化庁が地域の歴史的魅力や特色をストーリーとして認定する日本遺産に関する情報を提供するために構築したサイトです。

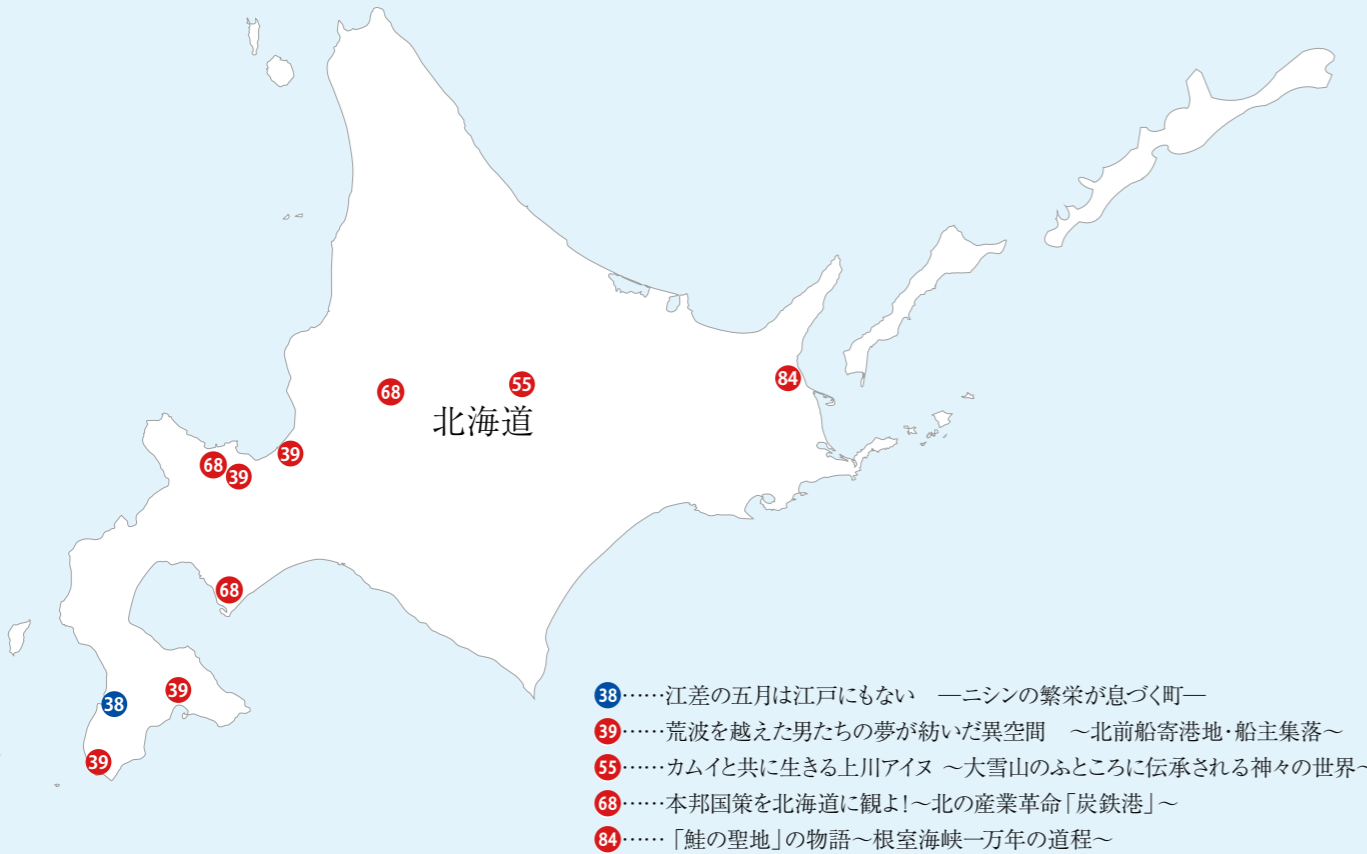
このサイトでは日本遺産に認定された自治体が行う日本遺産に関するイベント情報、認定されたストーリーを構成する文化財の情報やお土産・グルメ情報等、様々な情報を検索することができます。

※本パンフレットの各地域紹介ページにあるQRコードから → 詳細な情報がご覧いただけます。



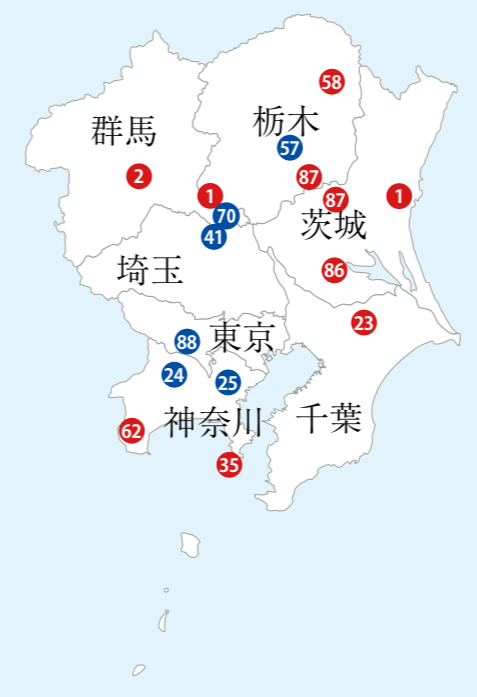
凡例  
● 地域型  
…単一の市町村内でストーリーが完結  
● シリアル型  
…複数の市町村にまたがってストーリーが展開

# 北海道



- 38 ……江差の五月は江戸にもない —ニシンの繁栄が息づく町—
- 39 ……荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間 —北前船寄港地・船主集落—
- 55 ……カムイと共に生きる上川アイヌ —大雪山のふところに伝承される神々の世界—
- 68 ……本邦国策を北海道に観よ! —北の産業革命「炭鉄港」—
- 84 ……「鮭の聖地」の物語—根室海峡—万年の道程—

# 関東



- 24 ……江戸庶民の信仰と行楽の地—巨大な木太刀を担いで「大山詣り」—
- 25 ……「いざ、鎌倉」—歴史と文化が描くモザイク画のまちへ—
- 41 ……和装文化の足元を支え続ける足袋蔵のまち行田
- 57 ……地下迷宮の秘密を探る旅 —大谷石文化が息づくまち宇都宮—
- 70 ……里沼(SATO-NUMA) —「祈り」「実り」「守り」の沼が磨き上げた館林の沼辺文化—
- 88 ……霊気満山 高尾山 —人々の祈りが紡ぐ桑都物語—
- 1 ……近世日本の教育遺産群—学ぶ心・礼節の本源—
- 2 ……かかあ天下—ぐんまの絹物語—
- 23 ……「北総四都市江戸紀行・江戸を感じる北総の町並み」 —佐倉・成田・佐原・銚子:百万都市江戸を支えた江戸近郊の四つの代表的町並み群—
- 35 ……鎮守府 横須賀・呉・佐世保・舞鶴 —日本近代化の躍動を体感できるまち—
- 58 ……明治貴族が描いた未来 —那須野が原開拓浪漫譚—
- 62 ……旅人たちの足跡残る悠久の石畳道 —箱根八里で辿る遥かな江戸の旅路—
- 86 ……日本ワイン140年史—国産ブドウで醸造する和文化の結晶—
- 87 ……かさましこ—兄弟産地が紡ぐ“焼き物語”—

# 東北

- 40 ……サムライゆかりのシルク 日本近代化の原風景に出会うまち鶴岡へ
- 19 ……政宗が育んだ“伊達”な文化
- 20 ……自然と信仰が息づく『生まれかわりの旅』 —樹齢300年を超える杉並木につつまれた2,446段の石段から始まる出羽三山—
- 21 ……会津の三十三観音めぐり—巡礼を通して観た往時の会津の文化—
- 22 ……未来を拓いた「一本の水路」—大久保利通“最期の夢”と開拓者の軌跡 郡山・猪苗代—
- 39 ……荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間 —北前船寄港地・船主集落—
- 56 ……山寺が支えた紅花文化
- 69 ……みちのくGOLD浪漫—黄金の国ジパング、産金はじまりの地をたどる—
- 85 ……“奥南部”漆物語—安比川流域に受け継がれる伝統技術—



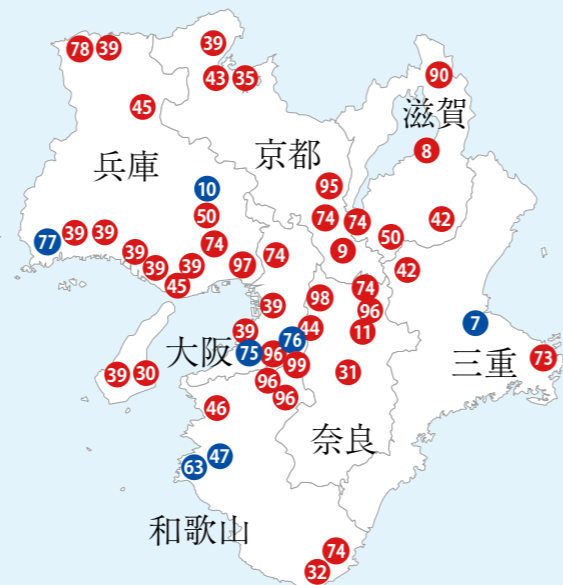
# 中部

- 3 ……加賀前田家ゆかりの町民文化が花咲くまち高岡—人、技、心—
- 6 ……「信長公のおもてなし」が息づく戦国城下町・岐阜
- 27 ……「珠玉と歩む物語」小松 —時の流れの中で磨き上げた石の文化—
- 29 ……飛騨匠の技・こころ —木とともに、今に引き継ぐ1300年—
- 59 ……宮大工の鑿一丁から生まれた木彫刻美術館・井波
- 72 ……江戸時代の情緒に触れる絞りの産地—藍染が風にゆれる町 有松—
- 89 ……究極の雪国とおかまち—真説!豪雪地ものがたり—
- 92 ……月の都 千曲—娘捨の棚田がつくる摩訶不思議な月景色「田毎の月」—
- 93 ……レイラインがつなぐ「太陽と大地の聖地」—龍と生きるまち 信州上田・塩田平—
- 4 ……灯り舞う半島 能登 —熱狂のキリコ祭り—
- 5 ……海と都をつなぐ若狭の往来文化遺産群—御食国(みけつくに) 若狭と鯖街道—
- 26 ……「なんだ、コレは!」信濃川流域の火焰型土器と雪国の文化
- 28 ……木曾路はすべて山の中—山を守り 山に生きる—
- 39 ……荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間 —北前船寄港地・船主集落—
- 50 ……きっと恋する六古窯 —日本生まれ日本育ちのやきもの産地—
- 60 ……葡萄畑が織りなす風景—山梨県峡東地域—
- 61 ……星降る中部高地の縄文世界—数千年を遡る黒曜石鉾山と縄文人に出会う旅—
- 62 ……旅人たちの足跡残る悠久の石畳道 —箱根八里で辿る遥かな江戸の旅路—
- 71 ……400年の歴史の扉を開ける旅—石から読み解く中世・近世のまちづくり 越前・福井—
- 74 ……1300年つづく日本の終活の旅—西国三十三所観音巡礼—
- 86 ……日本ワイン140年史—国産ブドウで醸造する和文化の結晶—
- 90 ……海を越えた鉄道—世界へつながる 鉄道のキセキ—
- 91 ……甲州の匠の源流・御嶽昇仙峡—水晶の鼓動が導いた信仰と技、そして先進技術へ—
- 94 ……日本初「旅ブーム」を起こした弥次さん喜多さん、駿州の旅 —滑稽本と浮世絵が描く東海道旅のガイドブック(道中記)—



- 7 ……祈る皇女斎王のみやこ 斎宮
- 10 ……丹波篠山 デカンショ節 -民謡に乗せて歌い継ぐふるさとの記憶-
- 47 ……「最初の一滴」醤油醸造の発祥の地 紀州湯浅
- 49 ……一輪の綿花から始まる倉敷物語 ~和と洋が織りなす繊維のまち~
- 63 ……「百世の安堵」~津波と復興の記憶が生きる広川の防災遺産~
- 75 ……旅引付と二枚の絵図が伝えるまち—中世日根荘の風景—
- 76 ……中世に出逢えるまち~千年にわたり護られてきた中世文化遺産の宝庫~
- 77 ……「日本第一」の塩を産したまち 播州赤穂
- 8 ……琵琶湖とその水辺景観-祈りと暮らしの水遺産
- 9 ……日本茶800年の歴史散歩
- 11 ……日本国創成のとき~飛鳥を翔(かけ)た女性たち~
- 30 ……『古事記』の冒頭を飾る「国生みの島・淡路」~古代国家を支えた海人の営み~
- 31 ……森に生まれ、森を育んだ人々の暮らしとこころ~美林連なる造林発祥の地「吉野」~
- 32 ……鯨とともに生きる
- 35 ……鎮守府 横須賀・呉・佐世保・舞鶴 ~日本近代化の躍動を体感できるまち~
- 39 ……荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間 ~北前船寄港地・船主集落~
- 42 ……忍びの里 伊賀・甲賀—リアル忍者を求めて—
- 43 ……300年を紡ぐ絹が織り成す丹後ちりめん回廊
- 44 ……1400年に渡る悠久の歴史を伝える「最古の国道」~竹内街道・横大路(大道)~
- 45 ……播但貫く、銀の馬車道 鉱石の道~資源大国日本の記憶をたどる73kmの轍~
- 46 ……絶景の宝庫 和歌の浦
- 50 ……きっと恋する六古窯 —日本生まれ日本育ちのやきもの産地—
- 73 ……海女(Ama)に出逢えるまち 鳥羽・志摩~素潜り漁に生きる女性たち
- 74 ……1300年つづく日本の終活の旅~西国三十三所観音巡礼~
- 78 ……日本海の風が生んだ絶景と秘境—幸せを呼ぶ霊獣・麒麟が舞う大地「因幡・但馬」
- 90 ……海を越えた鉄道~世界へつながる 鉄路のキセキ~
- 95 ……京都と大津を繋ぐ希望の水路 琵琶湖疏水~舟に乗り、歩いて触れる明治のひとつ
- 96 ……女性とともに今に息づく女人高野~時を超え、時に合わせて見守り続ける癒しの聖地~
- 97 ……「伊丹諸白」と「灘の生一本」下り酒が生んだ銘醸地、伊丹と灘五郷
- 98 ……もう、すべらせない!!~龍田古道の心臓部「亀の瀬」を越えてゆけ~
- 99 ……「葛城修験」-里人とともに守り伝える修験道はじまりの地

## 関西

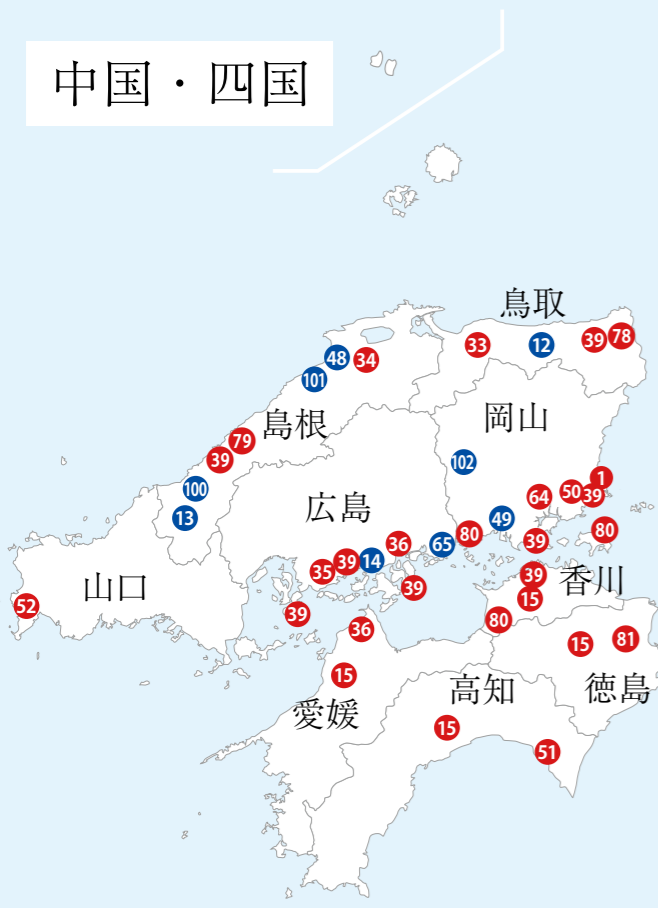


## 九州

- 104 ……八代を創造した石工たちの軌跡~石工の郷に息づく石造りのレガシー~
- 1 ……近世日本の教育遺産群-学ぶ心・礼節の本源-
- 16 ……古代日本の「西の都」~東アジアとの交流拠点~
- 17 ……国境の島 壱岐・対馬・五島 ~古代からの架け橋~
- 18 ……相良700年が生んだ保守と進取の文化 ~日本でもっとも豊かな隠れ里-人吉球磨~
- 35 ……鎮守府 横須賀・呉・佐世保・舞鶴 ~日本近代化の躍動を体感できるまち~
- 37 ……日本磁器のふるさと 肥前 ~百花繚乱のやきもの散歩~
- 52 ……関門「ノスタルジック」海峡 ~時の停車場、近代化の記憶~
- 53 ……米作り、二千年にわたる大地の記憶 ~菊池川流域「今昔「水稻」物語」~
- 54 ……やばけい遊覧~大地に描いた山水絵巻の道をゆく
- 66 ……鬼が仏になった里「くにさき」
- 67 ……古代人のモニュメント -台地に絵を描く 南国宮崎の古墳景観-
- 82 ……薩摩の武士が生きた町~武家屋敷群「麓」を歩く~
- 103 ……砂糖文化を広めた長崎街道~シュガーロード~



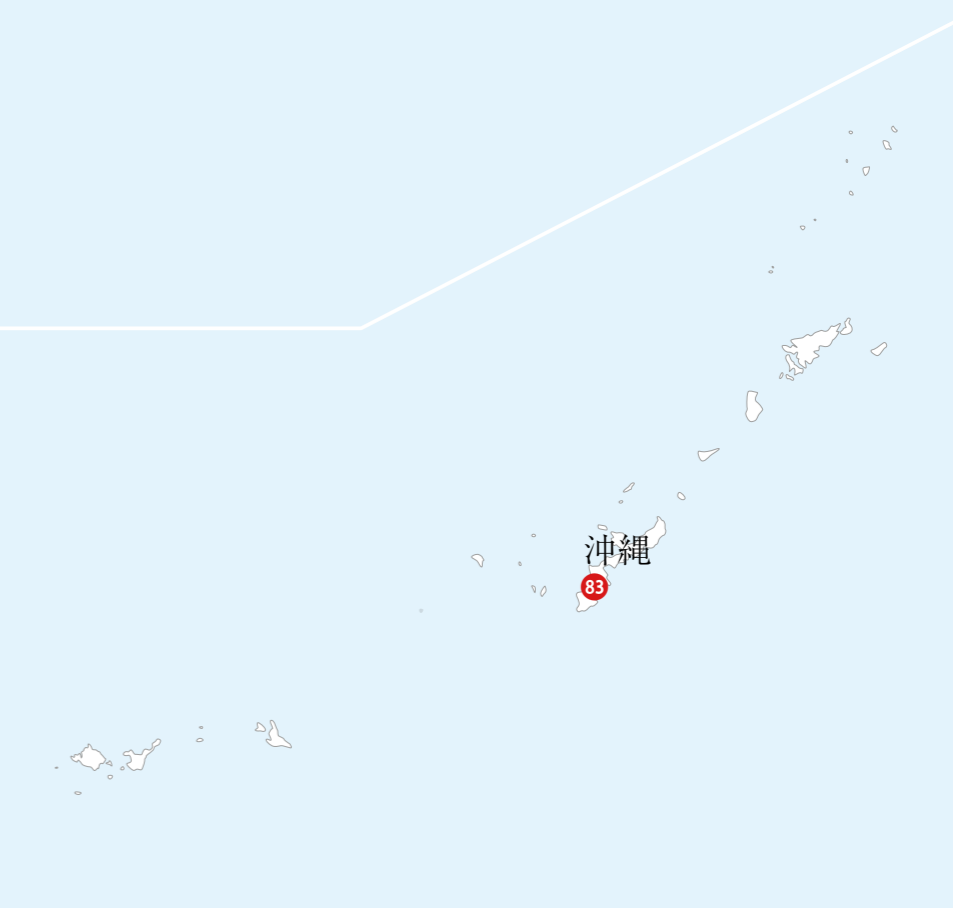
## 中国・四国

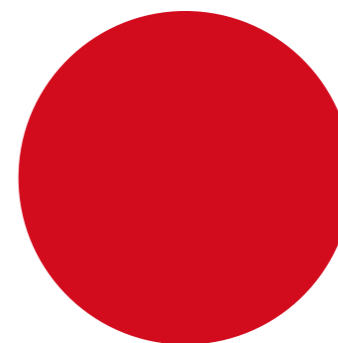


- 12 ……六根清浄と六感治癒の地~日本一危ない国宝鑑賞と世界屈指のラドン泉~
- 13 ……津和野今昔~百景図を歩く~
- 14 ……尾道水道が紡いだ中世からの箱庭的都市
- 48 ……日が沈む聖地出雲 ~神が創り出した地の夕日を巡る~
- 49 ……一輪の綿花から始まる倉敷物語 ~和と洋が織りなす繊維のまち~
- 65 ……瀬戸の夕風が包む 国内随一の近世港町~セピア色の港町に日常が溶け込む瀬戸の浦~
- 100 ……中世日本の傑作 益田を味わう-地方の時代に輝き再び-
- 101 ……石見の火山が伝える悠久の歴史~「縄文の森」"銀の山"と出逢える旅へ~
- 102 ……「ジャパンレッド」発祥の地-弁柄と銅の町・備中吹屋-
- 1 ……近世日本の教育遺産群-学ぶ心・礼節の本源-
- 15 ……「四国遍路」~回遊型巡礼路と独自の巡礼文化~
- 33 ……地藏信仰が育んだ日本最大の大山牛馬市
- 34 ……出雲國たたら風土記 ~鉄づくり千年が生んだ物語~
- 35 ……鎮守府 横須賀・呉・佐世保・舞鶴 ~日本近代化の躍動を体感できるまち~
- 36 ……“日本最大の海賊”の本拠地:芸予諸島 -よみがえる村上海賊“Murakami KAIZOKU”の記憶-
- 39 ……荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間~北前船寄港地・船主集落~
- 50 ……きっと恋する六古窯 —日本生まれ日本育ちの焼きもの産地—
- 51 ……森林鉄道から日本一のゆずロードへ -ゆずが香り彩る南国土佐・中芸地域の景観と食文化-
- 52 ……関門「ノスタルジック」海峡 ~時の停車場、近代化の記憶~
- 64 ……「桃太郎伝説」の生まれたまち おかやま ~古代吉備の遺産が誘う鬼退治の物語~
- 78 ……日本海の風が生んだ絶景と秘境-幸せを呼ぶ霊獣・麒麟が舞う大地「因幡・但馬」
- 79 ……神々や鬼たちが躍動する神話の世界~石見地域で伝承される神楽~
- 80 ……知ってる!?悠久の時間が流れる石の島~海を越え、日本の礎を築いた せとうち備讃諸島~
- 81 ……藍のふるさと 阿波~日本中を染め上げた至高の青を訪ねて~

## 沖縄

- 83 ……琉球王国時代から連続と続く沖縄の伝統的な「琉球料理」と「泡盛」、そして「芸能」





JAPAN HERITAGE

---

## 日本遺産認定ストーリー



平成  
27年度  
認定



弘道館全景 (茨城県水戸市)



咸宜園跡 秋風庵 (大分県日田市)

分類：シリアル / 認定ストーリー 1

■タイトル  
近世日本の教育遺産群 ―学ぶ心・礼節の本源―

■所在自治体 水戸市 (茨城県)・足利市 (栃木県)・備前市 (岡山県)・  
日田市 (大分県)

■ストーリーの概要  
我が国では、近代教育制度の導入前から、支配者層である武士のみならず、多くの庶民も読み書き・算術ができ、礼儀正しさを身に付けるなど、高い教育水準を示した。これは、藩校や郷学、私塾など、様々な階層を対象とした学校の普及による影響が大きく、明治維新以降のいち早い近代化の原動力となり、現代においても、学問・教育に力を入れ、礼節を重んじる日本人の国民性として受け継がれている。

■主な構成文化財  
【国】旧弘道館、偕楽園 (茨城県水戸市)  
【国】足利学校跡 (栃木県足利市)  
【国】旧閑谷学校 (岡山県備前市)  
【国】咸宜園跡、豆田町重要伝統的建造物群保存地区 (大分県日田市)

■問い合わせ先  
教育遺産世界遺産登録推進協議会  
茨城県水戸市中央 1-4-1  
TEL : 029-306-8132 FAX : 029-297-6187  
E-mail : isan@city.mito.lg.jp

構成文化財など  
詳しくはこちら ↓



【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む

平成  
28年度  
認定

平成  
29年度  
認定

平成  
30年度  
認定

令和  
元年度  
認定

令和  
2年度  
認定

分類：シリアル / 認定ストーリー 2

■タイトル  
かかあ天下 ―ぐんまの絹物語―

■所在自治体 群馬県 (桐生市、甘楽町、中之条町、片品村)

■ストーリーの概要  
古くから絹産業の盛んな上州では、女性が養蚕・製糸・織物で家計を支え、近代になると、製糸工女や織手としてますます女性が活躍した。夫 (男) たちは、おれの「かかあは天下」と呼び、これが「かかあ天下」として上州名物になるとともに、現代では内に外に活躍する女性像の代名詞ともなっている。「かかあ」たちの夢や情熱が詰まった養蚕の家々や織物の工場を訪ねることで、日本経済を、まさに天下を支えた日本の女性たちの姿が見えてくる。

■主な構成文化財  
【国】織物参考館「紫」 (桐生市)  
◆ 旧小幡組レンガ造り倉庫 (甘楽町)  
【国】中之条町六合赤岩伝統的建造物群保存地区 (中之条町)  
【国】富沢家住宅 (中之条町)  
◆ 永井流養蚕伝習所実習棟 (片品村)

■問い合わせ先  
かかあ天下ぐんまの絹物語協議会  
群馬県前橋市大手町 1-1-1  
TEL : 027-226-2326 FAX : 027-243-7785  
E-mail : bunshinka@pref.gunma.lg.jp

構成文化財など  
詳しくはこちら ↓



【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む



六合赤岩の養蚕農家群



織物参考館「紫」

分類：地域 / 認定ストーリー 3

■タイトル  
加賀前田家ゆかりの町民文化が花咲くまち高岡 -人、技、心-

■所在自治体 高岡市

■ストーリーの概要  
高岡は商工業で発展し、町民によって文化が興り受け継がれてきた都市である。高岡城が廃城となり、繁栄が危ぶまれたところで加賀藩は商工本位の町への転換政策を実施し、浮足立つ町民に活を入れた。鋳物や漆工などの独自生産力を高める一方、穀倉地帯を控え、米などの物資を運ぶ良港を持ち、米や綿、肥料などの取引拠点として高岡は「加賀藩の台所」と呼ばれる程の隆盛を極める。町民は、固有の祭礼など、地域にその富を還元し、町民自身が担う文化を形成した。純然たる町民の町として発展し続け、現在でも町割り、街道筋、町並み、生業や伝統行事などに、高岡町民の歩みが色濃く残されている。

■主な構成文化財  
【国】瑞龍寺  
【国】前田利長墓所  
【国】高岡城跡  
【国】高岡御車山祭の御車山行事

■問い合わせ先  
高岡市日本遺産推進協議会  
富山県高岡市広小路 7 番 50 号  
TEL : 0766-20-1453 FAX : 0766-20-1667  
E-mail : bunkazai@city.takaoka.lg.jp

構成文化財など  
詳しくはこちら ↓



【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む



金屋町伝統的建造物群保存地区



高岡御車山祭の御車山行事

分類：シリアル / 認定ストーリー 4

■タイトル  
灯り舞う半島 能登 ~熱狂のキリコ祭り~

■所在自治体 石川県 (七尾市、輪島市、珠洲市、志賀町、穴水町、能登町)

■ストーリーの概要  
日本海文化の交流拠点である能登半島は独自の文化を育み、数多くの祭礼が行われてきた。その白眉はキリコ祭りと呼ばれる灯籠神事。夏、約200地区で行われ、能登を照らし出す。日本の原風景である素朴な農漁村で神輿とともに、最大で2トン、高さ15mのキリコを担ぎ上げ、激しく練り回る。祇園信仰や夏越しの神事から発生した祭礼が、地区同士でその威勢を競い合う中で独特な発展をし、そしてこれほどまでに灯籠神事が集積した地域は唯一無二。夏、能登を旅すればキリコ祭りに必ず巡り会えると言っても過言ではなく、それは神々に巡り会う旅ともなる。

■主な構成文化財  
◆ 石崎奉燈祭 (七尾市)  
◆ 輪島大祭 (輪島市)  
◆ 宝立七夕キリコまつり (珠洲市)  
◆ 西海祭り (志賀町)  
◆ 沖波の大漁祭り (穴水町)  
◆ あばれ祭 (能登町)

■問い合わせ先  
日本遺産「灯り舞う半島 能登~熱狂のキリコ祭り~」活性化協議会  
石川県金沢市鞍月 1-1  
TEL : 076-225-1844 FAX : 076-225-1843  
E-mail : bunkazai@pref.ishikawa.lg.jp

構成文化財など  
詳しくはこちら ↓



【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む



あばれ祭 (宇出津のキリコ祭り) ©石川県観光連盟

平成  
27年度  
認定

平成  
28年度  
認定

平成  
29年度  
認定

平成  
30年度  
認定

令和  
元年度  
認定

令和  
2年度  
認定

平成  
27年度  
認定

平成  
28年度  
認定

平成  
29年度  
認定

平成  
30年度  
認定

令和  
元年度  
認定

令和  
2年度  
認定



お水送り(小浜市)



黒川宿(若狭町)

■タイトル

海と都をつなぐ若狭の往来文化遺産群  
～御食国(みけつくに)若狭と鯖街道～

■所在自治体 福井県(小浜市、若狭町)

■ストーリーの概要

若狭は、古代から「御食国」として塩や海産物など豊富な食材を都に運び、都の食文化を支えてきた地である。また、大陸からつながる海の道と都へとつながる陸の道が結節する最大の拠点となった地であり、古代から続く往来の歴史の中で、街道沿いには港、城下町、宿場町が栄え、また往来によりもたらされた祭礼、芸能、仏教文化が街道沿いから農漁村にまで広く伝播し、独自の発展を遂げた。

近年「鯖街道」と呼ばれるこの街道群沿いには、往時の賑わいを伝える町並みとともに、豊かな自然や、受け継がれてきた食や祭礼など様々な文化が今も息づいている。

■主な構成文化財

- ◆ 鯖街道(若狭街道)(小浜市・若狭町)
- 【国】小浜西組(小浜市)
- 【国】熊川宿(若狭町)
- ◆ 小浜の祇園祭礼群 放生祭(小浜市)
- ◆ 瓜割の滝(若狭町)

■問い合わせ先

小浜市・若狭町日本遺産活用推進協議会(小浜市文化交流課内)  
福井県小浜市大手町6-3  
TEL: 0770-64-6019 FAX: 0770-52-1401  
E-mail: rekishi@city.obama.lg.jp

構成文化財など詳しくはこちら ↓



【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む

分類: シリアル / 認定ストーリー 5

平成  
27年度  
認定

平成  
28年度  
認定

平成  
29年度  
認定

平成  
30年度  
認定

令和  
元年度  
認定

令和  
2年度  
認定



斎王の森



斎宮跡

■タイトル

祈る皇女斎王のみやこ斎宮

■所在自治体 明和町

■ストーリーの概要

古代から中世にわたり、天皇に代わって伊勢神宮の天照大神に仕えた「斎王」は、皇女として生まれながら、都から離れた伊勢の地で、人と神との架け橋として、国の平安と繁栄を願い、神への祈りを捧げる日々を送った。

斎王の宮殿である斎宮は、伊勢神宮領の入口に位置し、都さながらの雅な暮らしが営まれていたと言われている。地元の人々によって神聖な土地として守り続けられてきた斎宮跡一帯は、日本で斎宮が存在した唯一の場所として、皇女の祈りの精神を今日に伝えている。

■主な構成文化財

- 【国】斎宮跡
- ◆ 斎王の森
- ◆ 祓川
- ◆ 竹神社
- ◆ 斎王尾野湊御禊場跡

■問い合わせ先

明和町日本遺産活用推進協議会  
三重県多気郡明和町大字馬之上 945 番地  
TEL: 0596-52-7126 FAX: 0596-52-7133  
E-mail: saikuuato@town.mie-meijiwa.lg.jp

構成文化財など詳しくはこちら ↓



【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む

分類: 地域 / 認定ストーリー 7

■タイトル

「信長公のおもてなし」が息づく戦国城下町・岐阜

■所在自治体 岐阜市

■ストーリーの概要

戦国時代、岐阜城を拠点に天下統一を目指した織田信長。彼は戦いを進める一方、城内に「地上の楽園」と称される宮殿を建設、軍事施設である城に「魅せる」という独創性を加え、城下町を最高のおもてなし空間としてまとめあげる。

自然景観を活かした城内外の眺望や長良川での鵜飼観覧による接待。冷徹なイメージを覆すような信長のおもてなしは、宣教師ルイス・フロイスら世界の賓客をも魅了した。信長が形作った城・町・川文化は城としての役割を終えた後も受け継がれ、現在の岐阜の町に息づいている。

■主な構成文化財

- 【国】岐阜城跡
- 【国】長良川の鵜飼漁の技術
- 【国】長良川中流域における岐阜の文化的景観
- ◆ 正法寺(岐阜大仏)
- ◆ 船上の遊宴文化

■問い合わせ先

ぎふ歴史遺産活用推進協議会  
岐阜県岐阜市司町40番地1  
TEL: 058-214-2365 FAX: 058-263-6631  
E-mail: bunkazai@city.gifu.gifu.jp

構成文化財など詳しくはこちら ↓



【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む



正法寺(岐阜大仏)

分類: 地域 / 認定ストーリー 6

■タイトル

琵琶湖とその水辺景観 一祈りと暮らしの水遺産

■所在自治体 滋賀県(大津市、彦根市、近江八幡市、高島市、東近江市、米原市、長浜市、草津市、守山市、野洲市)

■ストーリーの概要

穢れを除き、病を癒すものとして祀られてきた水。仏教の普及とともに東方にあっては、瑠璃色に輝く「水の浄土」の教主・薬師如来が広く信仰されてきた。琵琶湖では、「水の浄土」を臨んで多くの寺社が建立され、今日も多くの人々を惹きつけている。また、くらしには、山から水を引いた古式水道や湧き水を使いながら汚さないルールが伝わっている。湖辺の集落や湖中の島では、米と魚を活用した鮒ずしなどの独自の食文化やエリなどの漁法が育まれた。多くの生き物を育む水郷や水辺の景観は、芸術や庭園に取り上げられてきたが、近年では、水と人の営みが調和した文化的景観として、多くの現代人をひきつけている。ここには、日本人の高度な「水の文化」の歴史が集積されている。

■主な構成文化財

- 【国】比叡山延暦寺(大津市)
- 【国】竹生島(長浜市)
- 【国】白鬚神社(高島市)
- 【国】永源寺と奥永源寺の山村景観(東近江市)

■問い合わせ先

日本遺産「水の文化」ツーリズム推進協議会  
滋賀県大津市打出浜2番1号「コラボしが21」6階  
TEL: 077-511-1530 FAX: 077-526-4393  
E-mail: nihonisan@biwako-visitors.jp

構成文化財など詳しくはこちら ↓



【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む

分類: シリアル / 認定ストーリー 8



近江八幡の水郷



近江のケンケト祭り・長刀振りの鮒ずし切りの神事



永谷宗門生家 (宇治田原町)



山なり茶園 (和東町石寺)

■タイトル

日本茶800年の歴史散歩

分類：シリアル / 認定ストーリー 9

■所在自治体 京都府 (宇治市、城陽市、八幡市、京田辺市、木津川市、久御山町、井手町、宇治田原町、笠置町、和束町、精華町、南山城村)

■ストーリーの概要

お茶が中国から日本に伝えられて以降、京都・南山城は、お茶の生産技術を向上させ、茶の湯に使用される「抹茶」、今日広く飲まれている「煎茶」、高級茶として世界的に広く知られる「玉露」を生み出した。この地域は、約800年間にわたり最高級の多種多様なお茶を作り続け、日本の特徴的文化である茶道など、我が国の喫茶文化の展開を生産、製茶面からリードし、発展をとげてきた歴史と、その発展段階毎の景観を残しつつ今に伝える独特で美しい茶畑、茶間屋、茶まつりなどの代表例が優良な状態で揃って残っている唯一の場所である。

■主な構成文化財

- 【国】宇治上神社 (宇治市)
- 【国】海住山寺 (木津川市)
- ◆ 流れ橋と両岸上津屋・浜台の「浜茶」 (八幡市・久御山町・城陽市)
- ◆ 童仙房・高尾・田山・今山の茶畑 (南山城村)

■問い合わせ先

お茶の京都DMO (一般社団法人京都山城地域振興社)  
京都府宇治市宇治乙方7-13京阪宇治ビル1F  
TEL : 0774-25-3239 FAX : 0774-25-3238  
E-mail : dmo@ochanokyoto.jp

構成文化財など詳しくはこちら ↓



【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む

■タイトル

丹波篠山 デカンショ節  
—民謡に乗せて歌い継ぐふるさとの記憶—

分類：地域 / 認定ストーリー 10

■所在自治体 丹波篠山市

■ストーリーの概要

かつて城下町として栄えた丹波篠山の地は、江戸時代の民謡を起源とするデカンショ節によって、地域のその時代ごとの風土や人情、名所、名産品が歌い継がれている。地元の人々はこぞこれに愛唱し、民謡の世界そのままにふるさとの景色を守り伝え、地域への愛着を育んできた。その流れは、今日においても、新たな歌詞を生み出し新たな丹波篠山を更に後世に歌い継ぐ取組として脈々と生き続けており、今や300番にも上る「デカンショ節」を通じ、丹波篠山の街並みや伝統をそこかしこで体験できる世界が展開している。

■主な構成文化財

- ◆ デカンショ節
- 【国】篠山城跡
- 【国】篠山城下町地区
- 【国】丹波篠山市福住伝統的建造物群保存地区
- 【国】丹波立杭窯・丹波立杭登窯

■問い合わせ先

丹波篠山市観光交流部商工観光課  
兵庫県丹波篠山市北新町41  
TEL: 079-552-6907 FAX : 079-552-2090  
E-mail : kanko\_div@city.sasayama.hyogo.jp

構成文化財など詳しくはこちら ↓



【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む



丹波篠山デカンショ節



波々伯部神社祭礼



日本国創成のとき-飛鳥を翔(かけ)た女性たち- イラスト



持統天皇行幸再現

■タイトル

日本国創成のとき  
～飛鳥を翔(かけ)た女性たち～

分類：シリアル / 認定ストーリー 11

■所在自治体 明日香村・橿原市・高取町

■ストーリーの概要

日本が「国家」として歩み始めた飛鳥時代。この日本の黎明期を牽引したのは女性であった。この時代の天皇の半数は女帝であり、彼女たちの手によって、新たな都の造営、外交、大宝律令を始めとする法制度が整備された。また、文化面では、女流歌人が感性豊かな万葉歌を高らかに詠い上げ、宗教面では、尼僧が仏教の教えを広め、発展させるなど、政治・文化・宗教の各方面で女性が我が国の新しい「かたち」を生み出し、成熟させていった。日本国創成の地である飛鳥は、日本史上、女性が最も力強く活躍した場所であり、その痕跡が色濃く残る地である。

■主な構成文化財

- 【国】高松塚古墳壁画 (明日香村)
- 【国】藤原宮跡 (橿原市)
- ◆ 町指定文化財 高取城跡猿石 (高取町)
- 【国】飛鳥寺跡 (明日香村)
- 【国】飛鳥宮跡 (伝飛鳥板蓋宮跡) (明日香村)

■問い合わせ先

日本遺産「飛鳥」魅力発信事業推進協議会  
奈良県高市郡明日香村大字川原91-3  
TEL : 0744-54-5600 FAX : 0744-54-5602  
E-mail : bunkazai@tobutori-asuka.jp

構成文化財など詳しくはこちら ↓



【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む

■タイトル

六根清浄と六感治癒の地  
～日本一危ない国宝鑑賞と世界屈指のラドン泉～

分類：地域 / 認定ストーリー 12

■所在自治体 三朝町

■ストーリーの概要

『三徳山』は、山岳修験の場としての急峻な地形と神仏習合の特異の意匠・構造を持つ建築とが織りなす独特の景観を有しており、その人を寄せ付けぬ厳かさは1,000年にわたって畏怖の念を持って守られ続けている。参拝の前に心身を清める場所として三徳山参詣の拠点となった『三朝温泉』は、三徳山参詣の折に白狼により示されたとの伝説が残り、温泉発見から900年を経て、なお、三徳山信仰と深くつながっている。今日、三徳山参詣は、断崖絶壁での参拝により「六根(眼、耳、鼻、舌、身、意)」を清め、湯治により「六感(観、聴、香、味、触、心)」を癒すという、ユニークな世界を具現化している。

■主な構成文化財

- 【国】三仏寺奥院(投入堂)
- ◆ 三朝温泉
- 【国】三朝のジンショ
- ◆ 三徳山火渡り神事
- ◆ 精進料理と三徳豆腐

■問い合わせ先

三朝町日本遺産活用推進協議会  
鳥取県東伯郡三朝町大瀬999 番地2  
TEL : 0858-43-3514 FAX : 0858-43-0647  
E-mail : kankou@town.misasa.tottori.jp

構成文化財など詳しくはこちら ↓



【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む



三仏寺奥院(投入堂)



三朝温泉(河原風呂)



津和野百景図 第17図 祇園會鷺舞



鷺舞

■タイトル

津和野今昔 ～百景図を歩く～

分類：地域／認定ストーリー 13

■所在自治体 津和野町

■ストーリーの概要

幕末の津和野藩の風景などを記録した「津和野百景図」には、藩内の名所、自然、伝統芸能、風俗、人情などの絵画と解説が100枚描かれている。明治以降、不断の努力によって町民は多くの開発から街を守るとともに、新しい時代の風潮に流されることなく古きよき伝統を継承してきた。百景図に描かれた当時の様子と現在の様子を対比させつつ往時の息吹が体験できる稀有な城下町である。

■主な構成文化財

- 【国】津和野城跡
- 【国】津和野弥栄神社の鷺舞
  - ◆ 高津川の鮎
  - ◆ 鷺原八幡宮の流鎗馬
- 【国】山陰道（野坂峠越・徳城峠越）

■問い合わせ先

津和野町日本遺産センター  
鳥根県鹿足郡津和野町後田口 253  
TEL：0856-72-1901 FAX：0856-72-1902  
E-mail：kankou@town.tsuwano.lg.jp

構成文化財など詳しくはこちら ↓



【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む

平成27年度認定

平成28年度認定

平成29年度認定

平成30年度認定

令和元年度認定

令和2年度認定

■タイトル

尾道水道が紡いだ中世からの箱庭的都市

分類：地域／認定ストーリー 14

■所在自治体 尾道市

■ストーリーの概要

尾道三山と対岸の島に囲まれた尾道は、町の中心を通る「海の川」とも言うべき尾道水道の恵みによって、中世の開港以来、瀬戸内唯一の良港として繁栄し、人・もの・財が集積した。その結果、尾道三山と尾道水道の間の限られた生活空間に多くの寺社や庭園、住宅が造られ、それらを結ぶ入り組んだ路地・坂道とともに中世から近代の趣を今に残す箱庭的都市が生み出された。迷路に迷い込んだかのような路地や、坂道を抜けた先に突如として広がる風景は、限られた空間ながら実に様々な顔を見せ、今も昔も多くの人を惹きつけてやまない。

■主な構成文化財

- 【国】天寧寺塔婆
- 【国】浄土寺本堂及び境内地、多宝塔等
- 【国】みはらし亭
  - ◆ 坂道と路地の景観
  - ◆ 住吉祭

■問い合わせ先

尾道市歴史文化まちづくり推進協議会  
広島県尾道市 久保一丁目15番1号  
TEL：0848-20-7425 FAX：0848-37-2740  
E-mail：bunkazai@city.onomichi.hiroshima.jp

構成文化財など詳しくはこちら ↓



【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む



西国寺



天寧寺塔婆越しに見る尾道水道



第60番札所横峰寺からの石鐘山の眺望



第88番札所大窪寺への参拝の風景

■タイトル

「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

分類：シリアル／認定ストーリー 15

■所在地

徳島県（徳島市、鳴門市、小松島市、阿南市、吉野川市、阿波市、三好市、勝浦町、神山町、牟岐町、美波町、海陽町、板野町、上板町）、高知県（高知市、室戸市、安芸市、南国市、土佐市、須崎市、宿毛市、土佐清水市、四万十市、香南市、香美市、東洋町、奈半利町、田野町、安田町、芸西村、中土佐町、四万十町、大月町、三原村、黒潮町）、愛媛県（松山市、今治市、宇和島市、八幡浜市、新居浜市、西条市、大洲市、四国中央市、西予市、久万高原町、砥部町、内子町、愛南町）、香川県（高松市、丸亀市、坂出市、善通寺市、観音寺市、さぬき市、東かがわ市、三豊市、宇多津町、多度津町）

■ストーリーの概要

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1,400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1,200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

■主な構成文化財

- 【国】第21番札所 太龍寺（徳島県）
- 【国】第31番札所 竹林寺（高知県）
- 【国】第43番札所 明石寺（愛媛県）
- 【国】第75番札所 善通寺（香川県）

■問い合わせ先

四国遍路日本遺産協議会事務局  
高知県高知市丸ノ内一丁目2番20号  
TEL：088-823-9052 FAX：088-823-9063  
E-mail：142001@ken.pref.kochi.lg.jp

構成文化財など詳しくはこちら ↓



【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む

平成27年度認定

平成28年度認定

平成29年度認定

平成30年度認定

令和元年度認定

令和2年度認定

■タイトル

古代日本の「西の都」  
～東アジアとの交流拠点～

分類：シリアル／認定ストーリー 16

■所在自治体 福岡県（筑紫野市、春日市、大野城市、太宰府市、那珂川市、宇美町）、佐賀県（基山町）

■ストーリーの概要

大宰府政庁を中心としたこの地域は、東アジアからの文化、宗教、政治、人などが流入・集積するのみならず、古代日本にとって東アジアとの外交、軍事の拠点でもあり、軍事施設や都市機能を建設するのに地の利を活かした理想の場所であった。現在においても大宰府跡とその周辺環境は当時の面影を残し、宗教施設、迎賓施設、直線的な道や碁盤目の地割跡は、1,300年前の古代国際都市「西の都」を現代において体感できる場所である。

■主な構成文化財

- 【国】大宰府跡（太宰府市）
- 【国】観世音寺・戒壇院（太宰府市）
- 【国】水城跡（春日市・大野城市・太宰府市）
- 【国】大野城跡（大野城市・太宰府市・宇美町）
- 【国】太宰府天満宮（太宰府市）

■問い合わせ先

「西の都」日本遺産活性化協議会  
福岡県福岡市博多区東公園7-7  
TEL：092-643-3875 FAX：092-643-3878  
E-mail：kbunkazai@pref.fukuoka.lg.jp

構成文化財など詳しくはこちら ↓



【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む



観世音寺仏像

平成  
27年度  
認定

平成  
28年度  
認定

平成  
29年度  
認定

平成  
30年度  
認定

令和  
元年度  
認定

令和  
2年度  
認定



原の辻遺跡—夕景(杵岐) 金金城跡(対馬)



辞本涯の碑(五島) 山王山(新上五島町)

分類：シリアル / 認定ストーリー 17  
■タイトル  
国境の島 杵岐・対馬・五島 ～古代からの架け橋～

■所在自治体 長崎県(杵岐市、対馬市、五島市、新上五島町)

■ストーリーの概要

日本本土と大陸の間に位置することから、長崎県の島は、古代よりこれらをつなぐ海上交通の要衝であり、交易・交流の拠点であった。特に朝鮮との関わりは深く、杵岐は弥生時代、海上交易で王都を築き、対馬は中世以降、朝鮮との貿易と外交実務を独占し、中継貿易の拠点や迎賓地として栄えた。その後、中継地の役割は希薄になったが、古代住居跡や城跡、庭園等は当時の興隆を物語り、焼酎や麺類等の特産品、民俗行事等にも交流の痕跡が窺える。国境の島ならではの融和と衝突を繰り返しながらも、連綿と交流が続くこれらの島は、国と国、民と民の深い絆が感じられる稀有な地域である。

■主な構成文化財

- 【国】 金田城跡(対馬市)
- 【国】 原の辻遺跡(杵岐市)
- 【国】 三井楽(みみらくのしま)(五島市)
- ◆ 日島の石塔群(新上五島町)

■問い合わせ先

日本遺産「国境の島」推進協議会  
長崎県長崎市尾上町3-1  
TEL : 095-895-2762 FAX : 095-829-2336  
E-mail : s38080@pref.nagasaki.lg.jp

構成文化財など  
詳しくはこちら ↓



【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む

分類：シリアル / 認定ストーリー 19

■タイトル  
政宗が育んだ“伊達”な文化

■所在自治体 宮城県(仙台市、塩竈市、多賀城市、松島町)

■ストーリーの概要

仙台藩を築いた伊達政宗は、戦国大名として政治・軍事面での活躍は広く知られるところであるが、時代を代表する文化人でもあり、文化的にも上方に負けない気概で、自らの“都”仙台を創りあげようとした。政宗は、その気概をもって、古代以来東北の地に根付いてきた文化の再興・再生を目指す中で、伊達家で育まれた伝統的な文化を土台に、上方の桃山文化の影響を受けた豪華絢爛、政宗の個性ともいべき意表を突く粋な斬新さ、さらには海外の文化に触発された国際性といった時代の息吹を汲み取りながら、これまでにない新しい“伊達”な文化を仙台の地に華開かせていった。そして、その文化は政宗だけに留まらず、時代を重ねるにつれ、後の藩主に、さらには仙台から全国へ、武士から庶民にまで、さまざまな方面へ広がり、定着し、熟成を加えていった。

■主な構成文化財

- 【国】 大崎八幡宮(仙台市)
- 【国】 黒漆五枚胴具足 伊達政宗所用
- 【国】 瑞巖寺本堂・庫裡及び廊下・障壁画(松島町)

■問い合わせ先

「伊達」な文化」魅力発信推進事業実行委員会  
宮城県仙台市青葉区本町3丁目8番1号  
TEL : 022-211-3683 FAX : 022-211-3693  
E-mail : bunzaih@pref.miyagi.lg.jp

構成文化財など  
詳しくはこちら ↓



【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む



仙台城本丸大広間障壁画鳳凰図



仙台城跡と伊達政宗騎馬像

分類：シリアル / 認定ストーリー 20  
■タイトル  
自然と信仰が息づく『生まれかわりの旅』～樹齢300年を超える杉並木につつまれた2,446段の石段から始まる出羽三山～

■所在自治体 山形県(鶴岡市、西川町、庄内町)

■ストーリーの概要

山形県の中央に位置する出羽三山の雄大な自然を背景に生まれた羽黒修験道では、羽黒山は人々の現世利益を叶える現在の山、月山はその高く秀麗な姿から祖霊が鎮まる過去の山、湯殿山はお湯の湧き出る赤色の巨岩が新しい生命の誕生を表す未来の山と言われます。三山を巡ることは、江戸時代に庶民の間で『生まれかわりの旅』として広がり、地域の人々に支えられながら、日本古来の、山の自然と信仰の結び付きを今に伝えていきます。羽黒山の杉並木につつまれた石段から始まるこの旅は、訪れる者に自然の霊気と自然への畏怖を感じさせ、心身を潤し明日への新たな活力を与えます。

■主な構成文化財

- 【国】 羽黒山五重塔(鶴岡市)
- ◆ 六十里越街道(鶴岡市、西川町)
- 【国】 旧日月寺本堂(西川町)
- ◆ 清川関所跡(庄内町)

■問い合わせ先

出羽三山「生まれかわりの旅」推進協議会  
山形市松波二丁目8番1号  
TEL : 023-630-2284 FAX : 023-624-9908  
E-mail : ybunkazai@pref.yamagata.jp

構成文化財など  
詳しくはこちら ↓



【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む

分類：シリアル / 認定ストーリー 18

■タイトル  
相良700年が生んだ保守と進取の文化  
～日本でもっとも豊かな隠れ里 一人吉球磨～

■所在自治体 人吉市・錦町・あさぎり町・多良木町・湯前町・水上村・相良村・五木村・山江村・球磨村

■ストーリーの概要

人吉球磨の領主相良氏は、急峻な九州山地に囲まれた地の利を生かして外敵の侵入を拒み、日本史上稀な「相良700年」と称される長きにわたる統治を行った。その中で領主から民衆までが一体となったまちづくりの精神が形成され、社寺や仏像群、神楽等をともに信仰し、楽しみ、守る文化が育まれた。同時に進取の精神をもってしたたかに外来の文化を吸収し、独自の食文化や遊戯、交通網が整えられた。保守と進取、双方の精神から昇華された文化の証が集中して現存している地域は他になく、日本文化の縮図を今に見ることができる地域であり、司馬遼太郎はこの地を「日本でもっとも豊かな隠れ里」と記している。

■主な構成文化財

- 【国】 人吉城跡(熊本県人吉市)
- ◆ タイ捨流剣法(熊本県球磨郡錦町)
- ◆ 球磨焼酎(熊本県人吉市・球磨郡)

■問い合わせ先

人吉球磨日本遺産活用協議会  
熊本県人吉市下城本町1578-1  
TEL : 0966-22-2324 FAX : 0966-24-3519  
E-mail : bunka@hitoyoshi.kumamoto.jp

構成文化財など  
詳しくはこちら ↓



【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む



白太鼓踊り



国宝青井阿蘇神社



羽黒山の峰入り

平成  
27年度  
認定

平成  
28年度  
認定

平成  
29年度  
認定

平成  
30年度  
認定

令和  
元年度  
認定

令和  
2年度  
認定



さざえ堂

■タイトル

会津の三十三観音めぐり  
～巡礼を通して観た往時の会津の文化～

■所在自治体 会津若松市・喜多方市・南会津町・下郷町・檜枝岐村・只見町・北塩原村・西会津町・磐梯町・猪苗代町・会津坂下町・湯川村・柳津町・会津美里町・三島町・金山町・昭和村

■ストーリーの概要

東北地方で最も早く仏教文化が開いた会津は、今も平安初期から中世、近世の仏像や寺院が多く残り「仏都会津」とよばれる。その中でも三十三観音巡りは、古来のおおらかな信仰の姿を今に残し、広く会津の人々に親しまれている。会津藩祖、名君保科正之が定めた会津三十三観音巡りは広く領民に受け入れられ、のちに会津各地に様々な三十三観音がつくられた。会津の三十三観音は、国宝を蔵する寺院から山中に竹むひなびた石仏までいたるところにその姿をとどめており、これら三十三観音を巡った道を、道中の宿場や門前町で一服しながらたどることで、往時の会津の人々のおおらかな信仰と娯楽を体験することができるのである。

■主な構成文化財

【国】旧正宗寺三匠堂 さざえ堂（会津若松市）  
【国】慧日寺跡（磐梯町）

■問い合わせ先

極上の会津プロジェクト協議会事務局  
福島県会津若松市東栄町3-46 会津若松市観光課内  
TEL : 0242-39-1251 FAX : 0242-39-1433  
E-mail : gokujou-aizu@tw.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp

構成文化財など詳しくはこちら ↓



【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む

分類：シリアル / 認定ストーリー 21

平成  
27年度  
認定

平成  
28年度  
認定

平成  
29年度  
認定

平成  
30年度  
認定

令和  
元年度  
認定

令和  
2年度  
認定



伝統的な町並み（香取市佐原重要伝統的建造物群保存地区）



大勢の参拝客で賑わう成田山新勝寺の大本堂

■タイトル

「北総四都市江戸紀行・江戸を感じる北総の町並み」—佐倉・成田・佐原・銚子:百万都市江戸を支えた江戸近郊の四つの代表的町並み群—

■所在自治体 千葉県（佐倉市、成田市、香取市、銚子市）

■ストーリーの概要

北総地域は、百万都市江戸に隣接し、関東平野と豊かな漁場の太平洋を背景に、利根川東遷により発達した水運と江戸に続く街道を利用して江戸に東国の物産を供給し、江戸のくらしや経済を支えた。こうした中、江戸文化を取り入れることにより、城下町の佐倉、成田山の門前町成田、利根水運の河岸、香取神宮の参道の起点の佐原、漁港・港町、そして磯巡りの観光客で賑わった銚子という4つの特色ある都市が発展した。これら四都市では、江戸庶民も訪れた4種の町並みや風景が残り、今も東京近郊にありながら江戸情緒を体感することができる。成田空港からも近いこれらの都市は、世界から一番近い「江戸」といえる。

■主な構成文化財

◆ 佐倉の武家屋敷群 旧河原家住宅・旧但馬家住宅（佐倉市）  
【国】成田山新勝寺（成田市）  
【国】香取市佐原伝統的建造物群保存地区（香取市）  
◆ 銚子外川の町並み（銚子市）

■問い合わせ先

日本遺産北総四都市江戸紀行活用協議会  
千葉県千葉市中央区市場町1番1号  
TEL : 043-223-4082 FAX : 043-221-8126  
E-mail : hokuso-4cities@mz.pref.chiba.lg.jp

構成文化財など詳しくはこちら ↓



【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む

分類：シリアル / 認定ストーリー 23

■タイトル

未来を拓いた「一本の水路」  
—大久保利通「最期の夢」と開拓者の軌跡 郡山・猪苗代—

■所在自治体 郡山市・猪苗代町

■ストーリーの概要

明治維新後、武士の救済と、新産業による近代化を進めるため、安積地方の開拓に並々ならぬ想いを抱いていた大久保利通。夢半ばで倒れた彼の想いは、郡山から西の天空にある猪苗代湖より水を引く「安積開拓・安積疏水開さく事業」で実現した。奥羽山脈を突き抜ける「一本の水路」は、外国の最新技術の導入、そして、この地域と全国から、モノ、技を結集し、苦難を乗り越え完成した。この事業は、猪苗代湖の水を治め、米や鯉など食文化を一層豊かにし、さらには水力発電による紡績等の新たな産業の発展をもたらした。未来を拓いた「一本の水路」は、多様性と調和し共生する風土と、開拓者の未来を想う心、その想いが込められた桜とともに、今なおこの地に受け継がれている。

■主な構成文化財

◆ 十六橋水門（猪苗代町）  
【国】旧福島県尋常中学校本館（郡山市）  
◆ 大久保神社（郡山市）  
【国】郡山市公会堂（郡山市）

■問い合わせ先

日本遺産「一本の水路」プロモーション協議会  
福島県郡山市朝日一丁目23番7号 郡山市国際政策課内  
TEL : 024-924-3711 FAX : 024-924-0059  
E-mail : kokusaisaisaku@city.koriyama.lg.jp

構成文化財など詳しくはこちら ↓



【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む

分類：シリアル / 認定ストーリー 22



猪苗代湖



旧福島県尋常中学校本館

■タイトル

江戸庶民の信仰と行楽の地  
～巨大な木太刀を担いで「大山詣り」～

■所在自治体 伊勢原市

■ストーリーの概要

大山詣りは、鷹などの職人たちが巨大な木太刀を江戸から担いで運び、滝で身を清めてから奉納と山頂を目指すといった、他に例をみない庶民参拝である。そうした姿は歌舞伎や浮世絵にとりあげられ、また手形が不要な小旅行であったことから人々の興味関心呼び起こし、江戸の人口が100万人の頃、年間20万人もの参拝者が訪れた。大山詣りは、今も先導師たちにより脈々と引き継がれている。首都近郊に残る豊かな自然とふれあいながら歴史を巡り、山頂から眼下に広がる景色を目にしたとき、大山にあげられた先人の思いと満足を感じることができる。

■主な構成文化財

◆ 大山  
◆ 阿夫利神社（現・大山阿夫利神社）  
◆ 大山や大山詣りの様子が描かれた浮世絵  
◆ 大山阿夫利神社の倭舞・巫子舞  
◆ 大山寺

■問い合わせ先

伊勢原市日本遺産協議会  
神奈川県伊勢原市田中348  
TEL : 0463-94-4729 FAX : 0463-95-7613  
E-mail : syoukou@isehara-city.jp

構成文化財など詳しくはこちら ↓



【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む

分類：地域 / 認定ストーリー 24



大山詣り（本坂）

浮世絵に描かれた納め太刀



大山と参道



鶴岡八幡宮



鎌倉文学館

■タイトル

「いざ、鎌倉」  
～歴史と文化が描くモザイク画のまちへ～

■所在自治体 鎌倉市

■ストーリーの概要

鎌倉は、源頼朝によって幕府が開かれた後、急速に都市整備が進められ、まちの中心には鶴岡八幡宮、山には切通、山裾には禅宗寺院をはじめとする大寺院が造られた。この地に活きた武士たちの歴史と哀愁を感じられる古都鎌倉は、近世には信仰と遊山の対象として脚光を浴び、近代には多くの別荘が建てられたが、歴史的遺産と自然とが調和したまちの姿は守り伝えられてきた。このような歴史を持つ古都鎌倉は、自然と一体となった中世以来の社寺が醸し出す雰囲気の中に、各時代の建築や土木遺構、鎌倉文士らが残した芸術文化、生業や行事など様々な要素が、まるでモザイク画のように組み合わせられた特別なまちとなったのである。

■主な構成文化財

- 【国】 鶴岡八幡宮
- 【国】 鎌倉文学館
- 【国】 建長寺
- 【国】 円覚寺

■問い合わせ先

日本遺産いざ鎌倉協議会  
神奈川県鎌倉市御成町 18-10  
TEL:0467-61-3884 FAX:0467-23-7505  
E-mail: kankou@city.kamakura.kanagawa.jp

構成文化財など詳しくはこちら ↓

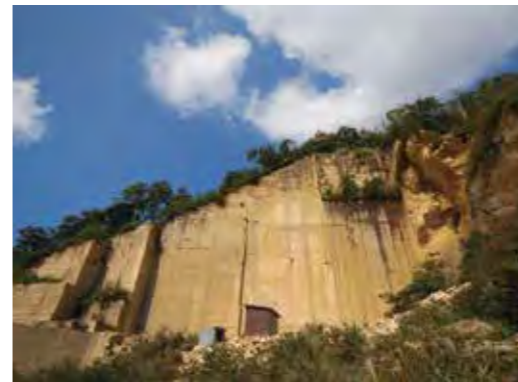


【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む

分類：地域／認定ストーリー 25



碧玉アクセサリー（八日市地方遺跡出土品）



観音下石切り場

■タイトル

『珠玉と歩む物語』小松  
～時の流れの中で磨き上げた石の文化～

■所在自治体 小松市

■ストーリーの概要

小松の人々は、弥生時代の碧玉の玉づくりを始まりとして2300年にわたり、金や銅の鉱石、メノウ、オパール、水晶、碧玉の宝石群、良質の凝灰岩石材、九谷焼原石の陶石などの石の資源を見出し、時代のニーズに応じて、現代の技術をもってしても再現が困難な高度な加工技術を磨き上げ、ヤマト王権の諸王たちが権威の象徴として挙げて求めるなど、人・モノ・技術が交流する豊かな石の文化を築き上げてきている。

■主な構成文化財

- 【国】 八日市地方遺跡出土品（製玉資料）
  - ◆ 滝ヶ原石切り場
  - ◆ 小松城本丸櫓台石垣
  - ◆ 九谷焼製土場
  - ◆ 尾小屋鉱山

■問い合わせ先

一般社団法人こまつ観光物産ネットワーク  
石川県小松市小馬出町91番地  
TEL：0761-24-8130 FAX：0761-23-6404  
E-mail：bunkaka@city.komatsu.lg.jp

構成文化財など詳しくはこちら ↓



【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む

分類：地域／認定ストーリー 27

■タイトル

「なんだ、コレは!」  
信濃川流域の火焰型土器と雪国の文化

■所在自治体 新潟市・三条市・長岡市・魚沼市・十日町市・津南町

■ストーリーの概要

日本一の大河・信濃川の流域は、8,000年前に気候が変わり、世界有数の雪国となった。この雪国から5,000年前に誕生した「火焰型土器」は大仰な4つの突起があり、縄文土器を代表するものである。火焰型土器の芸術性を発見した岡本太郎は、この土器を見て「なんだ、コレは!」と叫んだという。火焰型土器を作った人々のムラは信濃川流域を中心としてあり、その規模と集中度は日本有数である。このムラの跡に佇めば、5000年前と変わらぬ独特の景観を体験できる。また、山・川・海の幸とその加工・保存の技術、アンギン、火焰型土器の技を継承するようなモノづくりなど、信濃川流域には縄文時代に起源をもつ文化が息づいている。火焰型土器は日本文化の源流であり、浮世絵、歌舞伎と並ぶ日本文化そのものなのである。

■主な構成文化財

- 【国】 笹山遺跡出土品（十日町市）
- 【国】 馬高・三十稲場遺跡（長岡市）
- 【国】 堂平遺跡出土品（津南町）

■問い合わせ先

信濃川火焰街道連携協議会  
新潟県新潟市中央区古町通7番町1010番地古町ルフル5階  
TEL：025-226-2580 FAX：025-226-0013  
E-mail：rekishi@city.niigata.lg.jp

構成文化財など詳しくはこちら ↓



【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む

分類：シリアル／認定ストーリー 26



河岸段丘群（津南町教育委員会提供）



国宝・新潟県十日町市笹山遺跡出土土器群（十日町市教育委員会提供）

■タイトル

木曾路はすべて山の中 ～山を守り 山に生きる～

■所在自治体 南木曾町・大桑村・上松町・木曾町・木祖村・王滝村・塩尻市（長野県）、中津川市（岐阜県）

■ストーリーの概要

戦国時代が終わり新たな町づくりがすすめられると、城郭・社寺建築の木材需要の急増は全国的な森林乱伐をもたらした。森林資源が地域の経済を支えていた木曾谷も江戸時代初期に森林資源の枯渇という危機に陥る。所管する尾張藩は、禁伐を主体とする森林保護政策に乗り出し、木曾谷の人々は、新たな地場産業に誇りの活路を見出した。そして、江戸時代後期、木曾漆器などの特産品は、折しも街道整備がすすみ増大した御嶽登拝の人々などによって、宿場から木曾路を辿り全国に広められた。江戸時代、全国に木曾の名を高めた木曾檜や木曾馬、木曾漆器など伝統工芸品は、今も木曾谷に息づく木曾の代名詞である。

■主な構成文化財

- ◆ 木曾の森林鉄道
- 【国】 南木曾ろくろ細工
- ◆ 木曾の朴葉巻
- ◆ 島崎藤村宅（馬籠宿本陣）跡

■問い合わせ先

木曾地域文化遺産活性化協議会  
長野県木曾郡木曾町日義 4898-37  
TEL：0264-23-1050 FAX：0264-23-1052  
E-mail：ciikisinkou@kisoji.com

構成文化財など詳しくはこちら ↓



【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む

分類：シリアル／認定ストーリー 28



朝の妻籠宿



中山道

平成27年度認定

平成28年度認定

平成29年度認定

平成30年度認定

令和元年度認定

令和2年度認定

平成27年度認定

平成28年度認定

平成29年度認定

平成30年度認定

令和元年度認定

令和2年度認定

平成  
27年度  
認定

平成  
28年度  
認定

平成  
29年度  
認定

平成  
30年度  
認定

令和  
元年度  
認定

令和  
2年度  
認定



飛騨匠が残した技術が民家建築の中に息づく「吉島家住宅」



飛騨匠の技を伝える「高山祭屋台」

■タイトル

飛騨匠の技・こころ  
—木とともに、今に引き継ぐ1300年—

分類：地域／認定ストーリー 29

■所在自治体 高山市

■ストーリーの概要

「飛騨工制度」は古代に木工技術者を都へ送ることで税に充てる全国唯一の制度で、飛騨の豊かな自然に育まれた「木を生かす」技術や感性と、実直な気質は古代から現代まで受け継がれ、高山の文化の基礎となっている。市内には中世の社寺建築群や近世・近代の大工一門の作品群、伝統工芸など、現在も様々なところで飛騨匠の技とこころに触れることができる。

これは私たちが木と共に生きてきた1300年の高山の歴史を体感する物語である。

■主な構成文化財

- 【国】安国寺経蔵
- 【国】照蓮寺本堂
- ◆ 高山城跡
- 【国】日下部家住宅
- 【国】飛騨国分寺塔跡

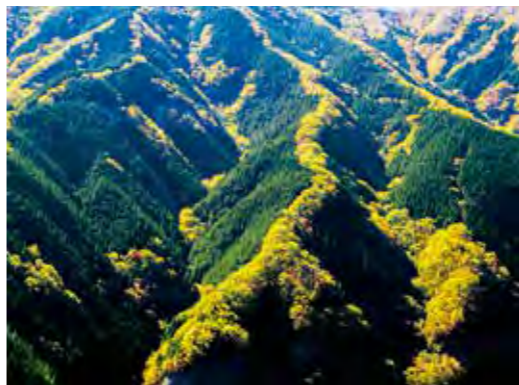
■問い合わせ先

高山市教育委員会事務局文化財課  
岐阜県高山市花園町2丁目18番地  
TEL : 0577-35-3156 FAX : 0577-35-3172  
E-mail : bunkazai@city.takayama.lg.jp

構成文化財など詳しくはこちら ↓



【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む



吉野の天然林と人工林



金峯山寺本堂 (吉野町)

■タイトル

森に生まれ、森を育んだ人々の暮らしとこころ  
～美林連なる造林発祥の地“吉野”～

分類：シリアル／認定ストーリー 31

■所在自治体 吉野町、下市町、黒滝村、天川村、下北山村、上北山村、川上村、東吉野村

■ストーリーの概要

我が国造林発祥の地である奈良県吉野地域には、約500年にわたり培われた造林技術により育まれた重厚な深緑の絨毯の如き日本一の人工の森と、森に暮らす人々が神仏坐す地として守り続ける野趣溢れる天然の森が、訪れる人々を圧倒する景観で迎えてくれる。ここに暮らす人々が、それらの森を長きに亘って育み、育まれる中で作りあげた暮らしや食の文化が今に伝わり、訪れる者はそれを体感して楽しむことができる。

■主な構成文化財

- 【国】金峯山寺本堂 (吉野町)
- ◆ 下多古村有林 (川上村)
- ◆ 前鬼のトチノキ巨樹群 (下北山村)
- ◆ 吉野の天然林と人工林 (上北山村)
- ◆ 柿の葉寿司

■問い合わせ先

吉野地域日本遺産活性化協議会  
奈良県吉野郡吉野町上市 80-1  
TEL : 0746-32-3081 FAX : 0746-32-8875  
E-mail : kankou\_s@town.yoshino.lg.jp

構成文化財など詳しくはこちら ↓



【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む

分類：シリアル／認定ストーリー 30

■タイトル

『古事記』の冒頭を飾る「国生みの島・淡路」  
～古代国家を支えた海人の営み～

■所在自治体 淡路市・洲本市・南あわじ市

■ストーリーの概要

わが国最古の歴史書『古事記』の冒頭を飾る「国生み神話」。この壮大な天地創造の神話の中で最初に誕生する“特別な島”が淡路島である。その背景には、新たな時代の幕開けを告げる金属器文化をもたらし、後に塩づくりや巧みな航海術で畿内の王権や都の暮らしを支えた“海人”と呼ばれる海の民の存在があった。畿内の前面に浮かぶ瀬戸内最大の島は、古代国家形成期の中枢を支えた“海人”の歴史を今に伝える島である。

■主な構成文化財

- ◆ 鳴門海峡とうずしお (南あわじ市)
- ◆ 伊弉諾神宮 (淡路市)
- 【国】先山千光寺 (洲本市)
- ◆ 沼島 (南あわじ市)
- 【国】五斗長垣内遺跡と出土品 (淡路市)
- ◆ 松帆銅鐸 (南あわじ市)

■問い合わせ先

淡路島日本遺産委員会  
兵庫県洲本市港2-26洲本市健康福祉館1階 (一般社団法人淡路島観光協会内)  
TEL : 0799-22-0742 FAX : 0799-24-4470  
E-mail : awajishima-kankou@awaji-kankou.or.jp

構成文化財など詳しくはこちら ↓



【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む



松帆銅鐸



伊弉諾神宮

■タイトル

鯨とともに生きる

分類：シリアル／認定ストーリー 32

■所在自治体 和歌山県 (新宮市、那智勝浦町、太地町、串本町)

■ストーリーの概要

鯨は、日本人にとって信仰の対象となる特別な存在であった。人々は、大海原を悠然と泳ぐ巨体を畏れたものの、時折浜辺に打ち上げられた鯨を食料や道具の素材などに利用していたが、やがて生活を安定させるため、捕鯨に乗り出した。熊野灘沿岸地域では、江戸時代に入り、熊野水軍の流れを汲む人々が捕鯨の技術や流通方法を確立し、これ以降、この地域は鯨に感謝しつつ捕鯨とともに生きてきた。当時の捕鯨の面影を残す旧跡が町中や周辺に点在し、鯨にまつわる祭りや伝統芸能、食文化が今も受け継がれている。

■主な構成文化財

- 【国】河内祭の御舟行事 (串本町)
- 【国】九龍島 (串本町)
- ◆ 燈明崎 燈明台跡・山見台跡 (太地町)
- ◆ 三輪崎の鯨踊 (新宮市)
- ◆ 和田の岩門 (太地町)

■問い合わせ先

熊野灘捕鯨文化継承協議会  
和歌山県和歌山市小松原通一丁目1番地  
TEL : 073-441-2424 FAX : 073-432-8313  
E-mail : e0624001@pref.wakayama.lg.jp

構成文化財など詳しくはこちら ↓



【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む



熊野灘が一望できる『燈明台』



古式捕鯨の様子を伝える『熊野太地捕鯨図』

平成  
27年度  
認定

平成  
28年度  
認定

平成  
29年度  
認定

平成  
30年度  
認定

令和  
元年度  
認定

令和  
2年度  
認定





大山(だいせん)



大山御幸

■タイトル

地蔵信仰が育んだ日本最大の大山牛馬市

分類：シリアル／認定ストーリー 33

■所在自治体 大山町・伯耆町・江府町・米子市

■ストーリーの概要

大山の山頂に現れた万物を救う地蔵菩薩への信仰は、平安時代末以降、牛馬のご加護を願う人々を大山寺に集めた。江戸時代には、大山寺に庇護され信仰に裏打ちされた全国唯一の「大山牛馬市」が隆盛を極め、明治時代には日本最大の牛馬市へと発展した。西国諸国からの参詣者や牛馬の往来で賑わった大山道沿いには、今も往時を偲ぶ石畳道や宿場の町並み、所子に代表される農村景観、「大山おこわ」など独特の食文化、大山の水にまつわる「もひとり神事」などの行事、風習が残されている。ここには、人々が日々「大山さんのおかげ」と感謝の念を捧げながら大山を仰ぎ見る暮らしが息づいている。

■主な構成文化財

- ◆ 大山(大山町・伯耆町・江府町)
- ◆ 大神山神社奥宮の石畳道(大山町)
- ◆ 地蔵滝の泉と地蔵滝地蔵(伯耆町)
- ◆ 旧加茂川の地蔵(米子市)

■問い合わせ先

日本遺産大山山麓魅力発信推進協議会  
鳥取県西伯郡大山町末長 500  
TEL: 0859-53-3110 FAX: 0859-53-3163  
E-mail: kankou@town.daisen.lg.jp

構成文化財など詳しくはこちら ↓



【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む



東京湾要塞跡  
猿島砲台跡(横須賀市)

本庄水源地堰堤水道施設(呉市)



佐世保要塞及び関連施設  
丸出山堡壘砲台跡・観測所跡(佐世保市)

舞鶴赤れんがパーク(舞鶴市)

■タイトル

鎮守府 横須賀・呉・佐世保・舞鶴  
～日本近代化の躍動を体感できるまち～

分類：シリアル／認定ストーリー 35

■所在自治体 横須賀市(神奈川県)、呉市(広島県)、佐世保市(長崎県)、舞鶴市(京都府)

■ストーリーの概要

明治期の日本は、近代国家として西欧列強に渡り合うための海防力を備えることが急務であった。このため、国家プロジェクトにより天然の良港を四つ選り軍港を築いた。静かな農漁村に人と先端技術を集積し、海軍諸機関と共に水道、鉄道などのインフラが急速に整備され、日本の近代化を推し進めた四つの軍港都市が誕生した。百年を超えた今もお現役で稼働する施設も多く、躍動した往時の姿を残す旧軍港都市は、どこか懐かしさも逞しく、今も訪れる人々を惹きつけてやまない。

■主な構成文化財

- 【国】東京湾要塞跡 千代ヶ崎砲台跡(横須賀市)
- 【国】旧呉鎮守府司令長官官舎(呉市)
- 【国】旧佐世保無線電信所(針尾送信所)施設(佐世保市)
- 【国】舞鶴赤れんがパーク1号棟～5号棟(舞鶴市)

■問い合わせ先

旧軍港市日本遺産活用推進協議会  
東京都港区虎ノ門1-16-8 飯島ビル6階  
TEL: 03-5510-3260 FAX: 03-5510-0030  
Email: kyugun@theia.ocn.ne.jp

構成文化財など詳しくはこちら ↓



【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む

■タイトル

出雲國たたら風土記  
～鉄づくり千年が生んだ物語～

分類：シリアル／認定ストーリー 34

■所在自治体 雲南市、安来市、奥出雲町

■ストーリーの概要

日本古来の鉄づくり「たたら製鉄」で繁栄した出雲の地では、今日もお世界で唯一たたら製鉄の炎が燃え続けています。たたら製鉄は、優れた鉄の生産だけでなく、原料砂鉄の採取跡地を広大な稲田に再生し、燃料の木炭山林を永続的に循環利用するという、人と自然とが共生する持続可能な産業として日本社会を支えてきました。また、鉄の流通は全国各地の文物をもたらし、都のような華やかな地域文化をも育みましました。今もこの地は、神代の時代から先人たちが刻んできた鉄づくり千年の物語が終わることなく紡がれています。

■主な構成文化財

- 【国】菅谷たたら山内(雲南市)
- ◆ 金屋子神社(安来市)
- 【国】奥出雲たたら製鉄及び棚田の文化的景観(奥出雲町)
- ◆ 民謡安来節(安来市)

■問い合わせ先

鉄の道文化圏推進協議会  
島根県仁多郡奥出雲町三成358-1奥出雲町役場まちづくり産業課  
TEL: 0854-54-2524 FAX: 0854-54-0052  
E-mail: oku-kanko@town.okuizamo.shimane.jp

構成文化財など詳しくはこちら ↓



【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む



玉鋼製造(たたら吹き)伝承



金屋子神社

■タイトル

“日本最大の海賊”の本拠地:芸予諸島  
—よみがえる村上海賊“Murakami KAIZOKU”の記憶—

分類：シリアル／認定ストーリー 36

■所在自治体 今治市(愛媛県)、尾道市(広島県)

■ストーリーの概要

戦国時代、宣教師ルイス・フロイスをして“日本最大の海賊”と言わしめた「村上海賊」“Murakami KAIZOKU”。理不尽に船を奪い、金品を略奪する「海賊」(パイレーツ)とは対照的に、村上海賊は掟に従って航海の安全を保障し、瀬戸内海の交易・流通の秩序を支える海上活動を生業とした。その本拠地「芸予諸島」には、活動拠点として築いた「海城」群など、海賊達の記憶が色濃く残っている。尾道・今治をつなぐ芸予諸島をゆけば、急流が渦巻くこの地の利を活かし、中世の瀬戸内海航路を支配した村上海賊の生きた姿を現代において体感できる。

■主な構成文化財

- 【国】能島城跡(今治市)
- ◆ 因島村上家伝来資料群(尾道市)
- ◆ 能島村上家伝来資料群(今治市)
- ◆ 白滝山(五百羅漢像)(尾道市)
- 【国】大山祇神社の文化財(今治市)

■問い合わせ先

村上海賊魅力発信推進協議会  
愛媛県今治市別宮町1丁目4番地1  
TEL: 0898-36-1608 FAX: 0898-24-2008  
E-mail: bunka@imabari-city.jp

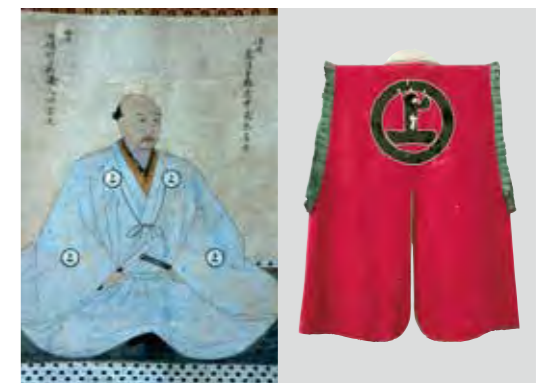
構成文化財など詳しくはこちら ↓



【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む



能島城跡



村上新蔵人吉充像

能島村上家伝来猩々陣羽織

平成27年度認定

平成28年度認定

平成29年度認定

平成30年度認定

令和元年度認定

令和2年度認定

平成27年度認定

平成28年度認定

平成29年度認定

平成30年度認定

令和元年度認定

令和2年度認定

平成  
27年度  
認定

平成  
28年度  
認定

平成  
29年度  
認定

平成  
30年度  
認定

令和  
元年度  
認定

令和  
2年度  
認定



泉山磁石場(佐賀県有田町)



桜陶祭(長崎県波佐見町)

■タイトル

日本磁器のふるさと 肥前  
～百花繚乱のやきもの散歩～

■所在自治体 佐賀県(唐津市、伊万里市、武雄市、嬉野市、有田町)、  
長崎県(佐世保市、平戸市、波佐見町)

■ストーリーの概要

陶石、燃料(山)、水(川)など窯業を営む条件が揃う自然豊かな九州北西部の地「肥前」で、陶器生産の技を活かし誕生した日本磁器。肥前の各産地では、互いに切磋琢磨しながら、個性際立つ独自の華を開かせていった。その製品は全国に流通し、我が国の暮らしの中に磁器を浸透させるとともに、海外からも賞賛された。今でも、その技術を受け継ぎ特色あるやきものが生み出される「肥前」。青空に向かってそびえる窯元の煙突やトンバイ塀は脈々と続く窯業の営みを物語る。この地は、歴史と伝統が培った技と美、景観を五感で感じることのできる磁器のふるさとである。

■主な構成文化財

- ◆ 大川内山(佐賀県伊万里市)
- ◆ 三川内の磁器製作技術(長崎県佐世保市)
- 【国】 柿右衛門(濁手)(佐賀県有田町)
- ◆ 志田焼の里博物館(旧志田陶磁株式会社工場)(佐賀県嬉野市)

■問い合わせ先

「肥前窯業圏」活性化推進協議会  
佐賀県佐賀市 城内一丁目 1番59号  
TEL: 0952-25-7236 FAX: 0952-25-7179  
E-mail: culture\_art@pref.saga.lg.jp

構成文化財など  
詳しくはこちら ↓



【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む

分類: シリアル/認定ストーリー 37



日和山公園(酒田市)



加賀市加賀橋立伝統的建造物群保存地区(加賀市)

■タイトル

荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間  
～北前船寄港地・船主集落～

■所在自治体 北海道(函館市・松前町・小樽市・石狩市)・青森県(鯉ヶ沢町・深浦町・野辺地町)・秋田県(秋田市・にかほ市・男鹿市・能代市・由利本荘市)・山形県(酒田市・鶴岡市)・新潟県(新潟市・長岡市・佐渡市・上越市・出雲崎町)・富山県(富山市・高岡市)・石川県(加賀市・輪島市・小松市・金沢市・白山市・志賀町)・福井県(敦賀市・南越前町・坂井市・小浜市)・京都府(宮津市)・大阪府(大阪市・泉佐野市)・兵庫県(神戸市・高砂市・新温泉町・赤穂市・洲本市・姫路市・たつの市)・鳥取県(鳥取市)・島根県(浜田市)・岡山県(倉敷市・備前市)・広島県(尾道市・呉市・竹原市)・香川県(多度津町)

■ストーリーの概要

日本海や瀬戸内海沿岸には、山を風景の一部に取り込む港町が点々とみられます。そこには、港に通じる小路が随所に走り、通りには広大な商家や豪大な船主屋敷が建っています。また、社寺には奉納された船の絵馬や模型が残り、京など遠方に起源がある祭礼が行われ、節回しの似た民謡が唄われています。これらの港町は、荒波を越え、動く総合商社として巨万の富を生み、各地に繁栄をもたらした北前船の寄港地・船主集落で、時を重ねて彩られた異空間として今も人々を惹きつけてやみません。

■問い合わせ先

北前船日本遺産推進協議会  
石川県加賀市大聖寺南町二41番地  
TEL: 0761-72-7988 FAX: 0761-72-7991  
E-mail: bunkasuishin@city.kaga.lg.jp

構成文化財など  
詳しくはこちら ↓



分類: シリアル/認定ストーリー 39

■タイトル

江差の五月は江戸にもない —ニシンの繁栄が息づく町—

■所在自治体 江差町

■ストーリーの概要

江差の海岸線に沿った段丘の下側を通っている町並みの表通りに、切妻屋根の建物が建ち並び、暖簾・看板・壁にはその家ごとの屋号が掲げられている。緩やかに海側へ下っている地形にあわせて蔵が階段状に連なり、海と共に生きてきた地域であることがうかがえる。この町並みは、江戸時代から明治時代にかけてのニシン漁とその加工品の取引によって形成されたもので、その様は「江差の五月は江戸にもない」と謳われるほどであった。ニシンによる繁栄は、江戸時代から伝承されている文化とともに、今でもこの地域に色濃く連綿と息づいている。

■主な構成文化財

- ◆ かめめ島
- ◆ 姥神大神宮
- ◆ 江差追分
- ◆ 江差の町並み
- ◆ 姥神大神宮渡御祭

■問い合わせ先

江差町観光まちづくり協議会  
北海道檜山郡江差町字中歌町193-1  
TEL: 0139-52-6716 FAX: 0139-52-5666  
E-mail: taisai.kitajima@town.hiyama-esashi.lg.jp

構成文化財など  
詳しくはこちら ↓



【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む



かめめ島



いにしえ街道

分類: 地域/認定ストーリー 38

■タイトル

サムライゆかりのシルク  
日本近代化の原風景に会うまち鶴岡へ

■所在自治体 鶴岡市

■ストーリーの概要

山形県鶴岡市を中心とする庄内地域は、地域一円からの支援のもと旧庄内藩士らが刀を鋏に替えて開拓した、松ヶ岡開墾場の日本最大の蚕室群建設をきっかけに国内最北限の絹産地として発展。今も養蚕から絹織物まで一貫工程が残る国内唯一の地です。鶴岡市では、松ヶ岡以外にも六十里越古道沿いの田麦俣集落に、暮らし・養蚕などが一つの建物にまとまった四層構造の多層民家が現存しています。さらに、国内ではここだけの精練工程が明治時代創業の工場で行われるなど、絹産業の歴史、文化を保存継承するとともに、新たな絹の文化価値の創出にも取り組んでいます。鶴岡を訪れると、先人たちの努力の結晶である我が国近代化の原風景を街並み全体を通じて体感することができます。

■主な構成文化財

- 【国】 松ヶ岡開墾場
- 【国】 旧西田川郡役所
- 【国】 庄内藩校致道館

■問い合わせ先

鶴岡「サムライゆかりのシルク」推進協議会  
山形県鶴岡市馬場町9番25号  
TEL: 0235-25-2111 FAX: 0235-25-2990  
E-mail: seisakukikaku@city.tsuruoka.yamagata.jp

構成文化財など  
詳しくはこちら ↓



【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む

分類: 地域/認定ストーリー 40



松ヶ岡開墾場



旧西田川郡役所

平成  
27年度  
認定

平成  
28年度  
認定

平成  
29年度  
認定

平成  
30年度  
認定

令和  
元年度  
認定

令和  
2年度  
認定

平成  
27年度  
認定

平成  
28年度  
認定

平成  
29年度  
認定

平成  
30年度  
認定

令和  
元年度  
認定

令和  
2年度  
認定



旧忍町信用組合店舗



行田足袋

■タイトル

和装文化の足元を支え続ける足袋蔵のまち行田

分類：地域／認定ストーリー 41

■所在自治体 行田市

■ストーリーの概要

忍城の城下町行田の裏通りを歩くと、時折ミシンの音が響き、土蔵、石蔵、モルタル蔵など多彩な足袋の倉庫「足袋蔵」が姿を現す。行田足袋の始まりは約300年前。武士の妻たちの内職であった行田足袋は、やがて名産品として広く知れ渡り、最盛期には全国の約8割の足袋を生産するまでに発展した。それと共に明治時代後半から足袋蔵が次々と建てられていった。今も日本一の足袋産地として和装文化の足元を支え続ける行田には、多くの足袋蔵等歴史的建築物が残り、趣きある景観を形づくっている。

■主な構成文化財

- ◆ 旧忍町信用組合店舗
- ◆ 足袋蔵まちづくりミュージアム(栗代蔵)
- ◆ 牧野本店蔵・主屋・土蔵・足袋とくらしの博物館
- ◆ 行田足袋
- ◆ 忍城跡

【国】 行田の足袋製造用具及び関係資料

■問い合わせ先

行田市日本遺産推進協議会  
埼玉県行田市本丸2-20  
TEL: 048-553-3581 FAX: 048-556-0770  
E-mail: bunka@city.gyoda.lg.jp

構成文化財など詳しくはこちら ↓



【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む

■タイトル

忍びの里 伊賀・甲賀 ―リアル忍者を求めて―

分類：シリアル／認定ストーリー 42

■所在自治体 甲賀市(滋賀県)・伊賀市(三重県)

■ストーリーの概要

忍者は今やテレビやアニメを通じて海外にまで広く知れ渡り、奇抜なアクションで人々を魅了している。忍者の名は広く知られていても、真の姿を知る人は少ない。伊賀・甲賀は忍者の発祥地として知られ、その代表格とされてきた。複雑な地形を利用して数多くの城館を築き、互いに連携し自らの地を治め、地域の平和を守り抜いた集団であり、伊賀・甲賀流忍術は、豊かな宗教文化や多彩な生活の中から育まれた。忍びの里に残る数々の足跡を訪ねれば、リアルな忍者の姿が浮かび上がる。伊賀・甲賀、そこには、戦乱の時代を駆け抜けた忍者の伝統が今も息づいている。

■主な構成文化財

- 【国】 史跡上野城跡(平楽寺跡)(伊賀市)
- 【国】 油日神社の文化財群(甲賀市)
- ◆ 手力神社と手力の花火(伊賀市)
- ◆ 甲賀忍術博物館建物群(甲賀市)
- ◆ 伊賀流忍者博物館(伊賀市)

■問い合わせ先

忍びの里伊賀甲賀忍者協議会(甲賀市観光企画推進課内)  
滋賀県甲賀市水口町水口6053 番地  
TEL: 0748-69-2190 FAX: 0748-63-4087  
E-mail: koka10352000@city.koka.lg.jp

構成文化財など詳しくはこちら ↓



【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む



伊賀上野城



油日神社



ちりめん街道



機織り見学

■タイトル

300年を紡ぐ絹が織り成す丹後ちりめん回廊

分類：シリアル／認定ストーリー 43

■所在自治体 京都府(宮津市、京丹後市、与謝野町、伊根町)

■ストーリーの概要

京都府北部の丹後を訪れると、どこからか聞こえてくるガチャガチャという機織りの音。丹後は古くから織物の里であり、江戸時代に発祥した絹織物「丹後ちりめん」は、しなやかで染色性に優れ、友禅染などの着物の代表的な生地として、我が国の和装文化を支えてきた。この地は今も着物の生地の約6割を生産する国内最大の絹織物産地であり、織物の営みが育んだ、住居と機場が一体となった機屋や商家、三角屋根の織物工場の町並みと、民謡宮津節で歌い継がれた天橋立などの象徴的な風景を巡れば、約300年に渡る織物の歴史と文化を体感できる。

■主な構成文化財

- 【国】 ちりめん街道(与謝野町)
- ◆ 吉村家別荘(桜山荘)(京丹後市)
- ◆ 金刀比羅神社(京丹後市)
- ◆ 丹後ばらすし(宮津市・京丹後市・伊根町・与謝野町)
- 【国】 天橋立(宮津市)

■問い合わせ先

一般社団法人京都府北部地域連携都市圏振興社  
京都府京丹後市大宮町口大野226  
TEL: 0772-68-5055 FAX: 0772-68-5056  
E-mail: info@uminokiyoto.jp

構成文化財など詳しくはこちら ↓



【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む

■タイトル

1400年に渡る悠久の歴史を伝える「最古の国道」  
～竹内街道・横大路(大道)～

分類：シリアル／認定ストーリー 44

■所在自治体 大阪府(大阪市、堺市、松原市、羽曳野市、太子町)、  
奈良県(葛城市、大和高田市、橿原市、桜井市、明日香村)

■ストーリーの概要

春分と秋分の日、太陽は三輪山から昇り、二上山を超えて大阪湾に沈む。このことから、推古天皇21年(613年)に東西の直線で敷設された幅20mを越える大道(竹内街道・横大路)は、太陽の道と言われる。古代には、大陸からの使節団が難波宮から飛鳥京を訪れ、先進技術や仏教文化を伝えた。中世には経済都市を結び、近世には伊勢参りの宿場町としての賑わいを見せ、場所ごとに様々な表情を浮かべる。1400年の歴史の移り変わりを周辺の歴史遺産を通して感じさせる日本最古の国道。それが竹内街道・横大路(大道)なのである。

■主な構成文化財

- ◆ 竹内街道(大阪府堺市、松原市、羽曳野市、南河内郡太子町、奈良県葛城市)
- ◆ 横大路(奈良県葛城市、大和高田市、橿原市、桜井市)
- 【国】 叡福寺(太子町)

■問い合わせ先

竹内街道・横大路  
～難波から飛鳥へ日本最古の官道「大道」～活性化実行委員会  
大阪府中央区大手前2丁目  
TEL: 06-6941-0351 FAX: 06-6944-6773  
E-mail: jigyokikaku-g03@gbox.pref.osaka.lg.jp

構成文化財など詳しくはこちら ↓



【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む



【太子町】竹内街道灯路祭り



【葛城市】當麻寺練供養会式

平成  
27年度  
認定

平成  
28年度  
認定

平成  
29年度  
認定

平成  
30年度  
認定

令和  
元年度  
認定

令和  
2年度  
認定

平成  
27年度  
認定

平成  
28年度  
認定

平成  
29年度  
認定

平成  
30年度  
認定

令和  
元年度  
認定

令和  
2年度  
認定



飾磨津物揚場跡(姫路市)



生野鉱山坑道内(朝来市)

■タイトル

播但貫く、銀の馬車道鉱石の道  
～資源大国日本の記憶をたどる73kmの轍～

■所在自治体 朝来市・姫路市・福崎町・市川町・神河町・養父市

■ストーリーの概要

兵庫県中央部の播但地域。そこに姫路・飾磨港から生野鉱山へと南北一直線に貫く道があります。「銀の馬車道」です。さらに明延鉱山、中瀬鉱山へと「鉱石の道」が続きます。わが国屈指の鉱山群をめざす全長73kmのこの道は、明治の面影を残す宿場町を経て鉱山まちへ、さらに歩を進めると各鉱山の静謐とした坑道にたどり着きます。近代化の始発点にして、この道の終着点となる鉱山群へと向かう旅は、鉱山まちが放ついぶし銀の景観と生活の今昔に触れることができ、鉱物資源大国日本の記憶へとつながります。

■主な構成文化財

- 【国】生野鉱山関連遺構(朝来市)
  - ◆ 飾磨津物揚場跡(姫路市)
- 【国】神子畑鉄橋・羽淵鉄橋(朝来市)
  - ◆ 明延鉱山関連遺構・明延鉱山町(養父市)
  - ◆ 中瀬鉱山関連遺構・中瀬鉱山町(養父市)

■問い合わせ先

日本遺産「銀の馬車道・鉱石の道」推進協議会  
朝来市和田山町東谷213-1  
TEL: 079-672-6100 FAX: 079-672-4041  
E-mail: bunkazai@city.asago.lg.jp

構成文化財など  
詳しくはこちら ↓



【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む

分類：シリアル／認定ストーリー 45

平成  
27年度  
認定

平成  
28年度  
認定

平成  
29年度  
認定

平成  
30年度  
認定

令和  
元年度  
認定

令和  
2年度  
認定



醤油づくり



大仙堀

■タイトル

「最初一滴」醤油醸造の発祥の地 紀州湯浅

■所在自治体 湯浅町

■ストーリーの概要

醤油の起源は、遙か中世の時代、中国に渡り修行を積んだ禅僧が伝えた特別な味噌に始まる。この味噌の桶に溜まった汁に紀州湯浅の人々が工夫を重ね、生まれたのが現在の醤油であるという。醤油の醸造業で栄えた町並みには、重厚な瓦葺の屋根と繊細な格子が印象的な町家や、白壁の土蔵が建ち並ぶ。通りや小路を歩けば、老舗醸造家から漂ってくる醤油の芳香が鼻をくすぐり、醤油造りの歴史と伝統が、形、香り、味わいとなって人々の暮らしの中に生き続けている。

■主な構成文化財

- 【国】湯浅町湯浅伝統的建造物群保存地区
  - ◆ 醤油の製造技術
  - ◆ 栖原家(旧栖原家住宅)
  - ◆ 大仙堀
  - ◆ 顯國神社の祭礼

■問い合わせ先

紀州湯浅日本遺産協議会  
和歌山県有田郡湯浅町大字湯浅1982番地  
TEL: 0737-64-1112 FAX: 0737-22-6500  
E-mail: kanko@town.yuasa.lg.jp

構成文化財など  
詳しくはこちら ↓



【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む

分類：地域／認定ストーリー 47

分類：シリアル／認定ストーリー 46

■タイトル

絶景の宝庫 和歌の浦

■所在自治体 和歌山県(和歌山市・海南市)

■ストーリーの概要

潮が引けば干潟が現れ刻一刻と輝きながら変化し、潮が満ちれば一面の海となり、陽光をうけて古い石橋が影を落とす。入り江を取り巻く山の桜が寺社を彩り、潮入りの庭園を新緑が包み、紅葉の峠越しにみる入り江は碧く、風景にとけ込んだ町並みに色鮮やかな祭礼行列が練り歩く。ここ和歌の浦の情景は一時として同じではない。このまま持ち帰りたいと万葉歌人は和歌にうたい、和歌の神様がこの地に宿った。そして数多くの文化芸術を育んできた歴史の厚みを湛え、和歌の浦は今も人々を魅了している。

■主な構成文化財

- 【国】玉津島神社(和歌山市)
- 【国】紀州東照宮(和歌山市)
- 【国】和歌浦天満神社(和歌山市)
  - ◆ 雑賀崎の町並み(和歌山市)
- 【国】黒江の町並み(海南市)

■問い合わせ先

和歌の浦日本遺産活用推進協議会  
和歌山県和歌山市小松原通一丁目1番地  
TEL: 073-441-2777 FAX: 073-432-8313  
E-mail: e0624001@pref.wakayama.lg.jp

構成文化財など  
詳しくはこちら ↓



【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む



和歌の浦の夜明け



和歌祭

分類：地域／認定ストーリー 48

■タイトル

日が沈む聖地出雲 ～神が創り出した地の夕日を巡る～

■所在自治体 出雲市

■ストーリーの概要

島根半島西端の海岸線は、出雲神話の舞台となった「稲佐の浜」と「日御碕」の名で親しまれ、そこから見る夕日は絶景です。しかしこの海岸線に、夕日にちなんだお社である「天日隅宮」(出雲大社)と「日沉宮」(日御碕神社)が祀られていることはあまり知られていません。古来、大和の北西にある出雲は、日が沈む聖地として認識されてきました。とりわけ、出雲の人々は夕日を神聖視して、畏敬の念を抱いていたと考えられます。海に沈むこの地の美しい夕日は、日が沈む聖地出雲の祈りの歴史を語り継いでいます。

■主な構成文化財

- 【国】出雲大社本殿ほか
- 【国】日御碕神社社殿
  - ◆ 神迎神事
  - ◆ 神幸神事
- 【国】猪目洞窟遺物包含層

■問い合わせ先

出雲市日本遺産推進協議会  
島根県出雲市大津町2760 出雲弥生の森博物館内  
TEL: 0853-21-6893 FAX: 0853-21-6617  
E-mail: higashizumu@city.izumo.shimane.jp

構成文化財など  
詳しくはこちら ↓



【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む



夕暮れの稲佐の浜



大土地神楽(国指定重要無形民俗文化財)

平成  
27年度  
認定



児島ジーンズストリート



トワイライトタイムの倉敷美観地区

■タイトル

一輪の綿花から始まる倉敷物語  
～和と洋が織りなす繊維のまち～

■所在自治体 倉敷市

■ストーリーの概要

400年前まで倉敷周辺は一面の海だった。近世からの干拓は人々の暮らしの場を広げ、そこで栽培された綿やイ草は足袋や花菱などの織物生産を支えた。明治以降、西欧の技術を取り入れて開花した繊維産業は「和」の伝統と「洋」の技術を融合させながら発展を続け、現在、倉敷は年間出荷額日本一の「繊維のまち」となっている。倉敷では広大な干拓地の富を背景に生まれた江戸期の白壁商家群の中に、近代以降、紡績により町を牽引した人々が建てた洋風建築が発展のシンボルとして風景にアクセントを加え、訪れる人々を魅了している。

■主な構成文化財

- 【国】 倉敷川畔伝統的建造物群保存地区
- ◆ 下津井町並み保存地区
- ◆ 玉島町並み保存地区
- ◆ 繊維製品
- ◆ 錦苳苳

■問い合わせ先

倉敷市日本遺産推進協議会  
岡山県倉敷市西中野田640番地  
TEL: 086-426-3018 FAX: 086-426-5131  
E-mail: kura-story@city.kurashiki.okayama.jp

構成文化財など  
詳しくはこちら ↓



【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む

分類：地域／認定ストーリー 49

平成  
28年度  
認定

平成  
29年度  
認定

平成  
30年度  
認定

令和  
元年度  
認定

令和  
2年度  
認定

分類：シリアル／認定ストーリー 50

■タイトル

きっと恋する六古窯  
—日本生まれ日本育ちのやきもの産地—

■所在自治体 備前市(岡山県)・越前町(福井県)・瀬戸市・常滑市(愛知県)・  
甲賀市(滋賀県)・丹波篠山市(兵庫県)

■ストーリーの概要

瀬戸、越前、常滑、信楽、丹波、備前のやきものは「日本六古窯」と呼ばれ、縄文から続いた世界に誇る日本古来の技術を継承している、日本生まれ日本育ちの、生粋のやきもの産地である。中世から今も連続とやきものづくりが続くまちは、丘陵地に残る大小様々の窯跡や工房へ続く細い坂道が迷路のように入り組んでいる。恋しい人を探すように煙突の煙を目印に陶片や窯道具を利用した堀沿いに進めば、「わび・さび」の世界へと自然と誘い込まれ、時空を超えてセピア調の日本の原風景に出会うことができる。

■主な構成文化財

- ◆ 神明ヶ谷須恵器窯跡(福井県越前町)
- 【国】 瀬戸窯跡 小長曾陶器窯跡(愛知県瀬戸市)
- 【国】 登窯(愛知県常滑市)
- ◆ 信楽焼窯跡群(滋賀県甲賀市)
- 【国】 丹波立杭焼(作窯技法)
- 【国】 備前陶器窯跡(岡山県備前市)

■問い合わせ先

六古窯日本遺産活用協議会(事務局 備前市文化観光課)  
岡山県備前市東片上126  
TEL: 0869-64-1832 FAX: 0869-64-1850  
E-mail: bzkan kou@city.bizen.lg.jp

構成文化財など  
詳しくはこちら ↓



【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む



ロクロ成型



窯焼き

分類：シリアル／認定ストーリー 51

■タイトル

森林鉄道から日本一のゆずロードへ  
—ゆずが香り彩る南国土佐・中芸地域の景観と食文化—

■所在自治体 奈半利町・田野町・安田町・北川村・馬路村

■ストーリーの概要

南国土佐の東に位置する中芸地域。かつて西日本最大の森林鉄道が駆け巡った中芸は、林業に代わる産業としてゆず栽培に力を注ぎ、今や日本一の生産量を誇っている。木材を運んだ森林鉄道の軌道は、ゆず畑の風景広がる「ゆずロード」に生まれ変わったのである。川沿いや山間に広がるゆず畑を、小さくかわいい白い花、深く鮮やかな緑の葉、熟すととも濃くなる黄色の果実が季節ごとに彩る景観。ゆず寿司などの風味豊かな郷土料理。中芸のゆずロードをめくれば、ゆずの彩りに満ちた景観と、ゆずの香り豊かな食文化を堪能することができる。

■主な構成文化財

- ◆ 柚子の古木(北川村)
- ◆ 千本山(馬路村)
- 【国】 立岡二号棧道(田野町)
- 【国】 明神口橋(安田町)
- 【国】 法恩寺跨線橋(奈半利町)

■問い合わせ先

中芸のゆずと森林鉄道日本遺産協議会  
高知県安芸郡安田町大字安田1850番地  
TEL: 0887-30-1865 FAX: 0887-30-1866  
E-mail: yuzurintetsu@mk.pikara.ne.jp

構成文化財など  
詳しくはこちら ↓



【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む



ゆず畑



堀ヶ生橋(ほりがをばし)

分類：シリアル／認定ストーリー 52

■タイトル

関門“ノスタルジック”海峡  
～時の停車場、近代化の記憶～

■所在自治体 福岡県(北九州市)・山口県(下関市)

■ストーリーの概要

古来より陸上・海上交通の要衝であった関門地域は、幕末の下関戦争を契機とした下関・門司両港の開港以降、海峡の出入口には双子の洋式灯台が設置され、沿岸部には重厚な近代建築が続々と建設された。狭隘な海峡を外国船が行き交う景観の中、日本が近代国家建設へ向け躍動した時代のレトロな建造物群が、時が停止したかのように現在も残されている。渡船や海底トンネルを使って両岸を巡れば、まるで映画のワンシーンに紛れ込んだような、ノスタルジックな街並みに出会うことができる。

■主な構成文化財

- 【国】 門司港駅本屋
- 【国】 旧下関英国領事館
- 【国】 旧古河鉱業若松ビル
- 【国】 旧門司三井倶楽部本館、附属屋
- ◆ 旧秋田商会ビル

■問い合わせ先

関門海峡日本遺産協議会(北九州市 文化企画課)  
北九州市小倉北区城内1-1  
TEL: 093-582-2391 FAX: 093-581-5755  
E-mail: shi-bunkakikaku@city.kitakyushu.lg.jp

構成文化財など  
詳しくはこちら ↓



【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む



門司港レトロ地区の夜景(北九州市)



下関南部町郵便局と旧秋田商会ビル(下関市)

平成  
27年度  
認定

平成  
28年度  
認定

平成  
29年度  
認定

平成  
30年度  
認定

令和  
元年度  
認定

令和  
2年度  
認定

平成  
27年度  
認定

平成  
28年度  
認定

平成  
29年度  
認定

平成  
30年度  
認定

令和  
元年度  
認定

令和  
2年度  
認定



菊池渓谷(菊池市)



番所地区の棚田(山鹿市)

■タイトル

米作り、二千年にわたる大地の記憶  
～菊池川流域「今昔『水稻』物語」～

分類：シリアル／認定ストーリー 53

■所在自治体 山鹿市・玉名市・菊池市・和水町

■ストーリーの概要

菊池川流域には、二千年にわたる米作りによる大地の記憶が残っている。平地には古代から受け継がれた条里、山間には高地での米作りを可能にした井手(用水路)と棚田、そして海辺には広大な耕作地を生み出した干拓。米作りを支えた先人たちによる土地利用の広がり、今も姿を留め、その全てをコンパクトに見ることができる。更に賑やかな祭りや豊かな食という無形の文化も息づくなど、菊池川流域は古代から現代までの日本の米作り文化の縮図であり、その文化的景観や米作りがもたらした芸能・食文化に出会える稀有な場所なのである。

■主な構成文化財

- ◆ 菊池渓谷
- 【国】 八千代座
- 【国】 菊池川流域の装飾古墳群
- 【国】 旧玉名干拓施設
- ◆ 菊池川流域の酒造り

■問い合わせ先

菊池川流域日本遺産協議会事務局(菊池市経済部商工観光課)  
熊本県菊池市隈府888  
TEL: 0968-25-7223 FAX: 0968-25-1123  
E-mail: shoukan@city.kikuchi.lg.jp

構成文化財など  
詳しくはこちら ↓



【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む

分類：シリアル／認定ストーリー 55

■タイトル

カムイと共に生きる上川アイヌ  
～大雪山のふとこに伝承される神々の世界～



カムイノミ



大雪山

■所在自治体 上川町、旭川市、富良野市、愛別町、上士幌町、上富良野町、  
鹿追町、士幌町、新得町、当麻町、東川町、比布町

■ストーリーの概要

美しく厳しい大雪山のふとこに、カムイ神～を見出し共に生きた“上川アイヌ”。彼らは激流を渡る奇岩の渓谷に魔神と英雄神の戦いの伝説を残し、神々への祈りの場として崇めた上川アイヌの聖地には、クマ笹で葺かれた家などによりコタンを形成し祈りを捧げ続ける。上川アイヌは「川は山へ 潮る生き物」と考え、最上流の大雪山を最も神々の国に近く、自然の恵みをもたらす、カムイミタラ～神々の遊ぶ庭～として崇拝してきた。神々と共に生き、伝承してきた上川アイヌの文化は、この大地に今も息づいている。

■主な構成文化財

- 【国】 大雪山
- ◆ 川村カ子トアイヌ記念館(上川アイヌに関する資料一式)
- ◆ 神居古潭
- ◆ 嵐山

■問い合わせ先

上川町役場産業経済課商工観光グループ  
北海道上川郡上川町南町 180 番地  
TEL: 01658-2-4058 FAX: 01658-2-1220  
E-mail: jhk@town.hokkaido-kamikawa.lg.jp

構成文化財など  
詳しくはこちら ↓



【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む

分類：シリアル／認定ストーリー 54

■タイトル

やばけい遊覧 ～大地に描いた山水絵巻の道をゆく～

■所在自治体 中津市・玖珠町

■ストーリーの概要

耶馬溪とは、川が溶岩台地を浸食した奇岩の渓谷で、石柱の断崖、岩窟、滝、巨石が大パノラマをつくっています。その深く神秘的な地形は伝説と祈りの場所となり、山水画のような風景は文人画人憧れの地でもありました。1000年以上の昔から、人々は岩から仏、石橋、洞門、庭園と、優れた作品を生み出し、広大な大地に配しては回遊路でつないでいき、大正時代つい一本の絵巻物のようにまとめあげました。次々と場面が展開する「耶馬溪」という山水絵巻に入り込み、空から、谷底から、遊覧の旅をお楽しみください。

■主な構成文化財

- 【国】 羅漢寺と羅漢寺探勝道
- 【国】 旧豊後森機関庫
- 【国】 古羅漢と古羅漢探勝道
- 【国】 旧久留島氏庭園
- 【国】 猿飛千壺峡

■問い合わせ先

中津玖珠日本遺産推進協議会  
大分県中津市1290番地中津市歴史博物館  
TEL: 0979-23-8615 FAX: 0979-23-8616  
E-mail: bunka@city.nakatsu.lg.jp

構成文化財など  
詳しくはこちら ↓



【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む



耶馬溪への旅の入り口-旧豊後森機関庫-



岩窟の寺院-羅漢寺-

分類：シリアル／認定ストーリー 56

■タイトル

山寺が支えた紅花文化

■所在自治体 山形県(山形市、寒河江市、天童市、尾花沢市、山辺町、中山町、  
河北町、大石田町、白鷹町)

■ストーリーの概要

鬱蒼と茂る木々に囲まれた参道石段と奇岩怪石の景勝地「山寺」。この山寺が深く関わった紅花栽培と紅花交易は莫大な富と豊かな文化をこの地にもたらした。石積の堀と板黒塀に囲まれた広大な敷地を持つ豪農・豪商屋敷には白壁の蔵座敷が立ち並び、上方文化とのつながりを示す雅な雛人形や、紅花染の衣装を身につけて舞う舞楽が今なお受け継がれ、華やかな彩りを添える。この地の隆盛を支えた山寺を訪れ、この地域に今も息づく紅花畑そして紅花豪農・豪商の蔵座敷を通して、芭蕉も目にした当地の隆盛を偲ぶことができる。

■主な構成文化財

- 【国】 山寺(山形市)
- ◆ 紅花畑の景観
- 【国】 林家舞楽(河北町)
- 【国】 旧柏倉家住宅及び収蔵資料(中山町)

■問い合わせ先

「山寺と紅花」推進協議会  
山形市松波二丁目8番1号  
TEL: 023-630-2284 FAX: 023-624-9908  
E-mail: ybunkazai@pref.yamagata.jp

構成文化財など  
詳しくはこちら ↓



【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む



山寺



紅花と旧柏倉家住宅

平成  
27年度  
認定

平成  
28年度  
認定

平成  
29年度  
認定

平成  
30年度  
認定

令和  
元年度  
認定

令和  
2年度  
認定

平成  
27年度  
認定

平成  
28年度  
認定

平成  
29年度  
認定

平成  
30年度  
認定

令和  
元年度  
認定

令和  
2年度  
認定



大谷観音(大谷磨崖仏・特別史跡)



カネイリヤマ採石場跡地(大谷資料館)

■タイトル

地下迷宮の秘密を探る旅  
～大谷石文化が息づくまち宇都宮～

■所在自治体 宇都宮市

■ストーリーの概要

冷気が張りつめるこの空間は一体、どこまで続き、降りていくのだろうか。壁がせり立つ巨大な空間には、柱が整然と並び、灯された明かりと柱の影が幾重にも続く。柱と柱の間を曲がると、同じ光景がまた目前に広がり、しだいに方向感覚が失われていく。江戸時代に始まった大谷石採掘は、最盛期に年間89万トンを出荷する日本屈指の採石産業として発展し、地下に巨大な迷宮を産み出していった。大谷石の産地・宇都宮では、石を「ほる」文化、掘り出された石を变幻自在に使いこなす文化が連綿と受け継がれ、この地を訪れる人々を魅了する。

■主な構成文化財

- ◆ カネイリヤマ採石場跡地(大谷資料館)
- 【国】大谷磨崖仏
- 【国】カトリック松が峰教会
- 【国】旧篠原家住宅
- ◆ カネホン採石場(高橋佑知商店)

■問い合わせ先

宇都宮市教育委員会事務局文化課  
宇都宮市旭1丁目1番5号  
TEL: (028) 632-2766 FAX: (028) 632-2765  
E-mail: u4607@city.utsunomiya.tochigi.jp

構成文化財など  
詳しくはこちら ↓



【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む

分類：地域／認定ストーリー 57

平成  
27年度  
認定

平成  
28年度  
認定

平成  
29年度  
認定

平成  
30年度  
認定

令和  
元年度  
認定

令和  
2年度  
認定



瑞泉寺へと伸びる石畳の八日町通り

■タイトル

宮大工の鑿一丁から生まれた木彫刻美術館・井波

■所在自治体 南砺市

■ストーリーの概要

瑞泉寺の再建に端を発し、宮大工の鑿一丁から生まれた華麗にして豪壮な井波彫刻と、その木彫刻職人たちが造りあげたまち井波。彫刻工房と町家が軒を連ねる石畳の通りには、木槌の音が響き、木々の薫りが漂う。通りには至るところに七福神や十二支などの木彫刻が飾られ、まちはさながらに木彫刻の美術館である。春には井波彫刻で飾られた曳山や屋台、獅子舞がまちを練り歩き、地域の安泰や五穀豊穡を祈る。地域の暮らしに根づく井波彫刻は、その高い技術力や芸術性を広く全国から認められ、今や日本の木彫刻文化の護り手となっている。

■主な構成文化財

- ◆ 井波彫刻
- ◆ 井波別院瑞泉寺
- ◆ 雲水一疋龍(瑞泉寺山門の彫刻欄間)
- 【国】越中五箇山相倉集落
- 【国】城端神明宮祭の曳山行事

■問い合わせ先

南砺市ブランド戦略部 文化・世界遺産課  
富山県南砺市荒木1550  
TEL: 0763-23-2014 FAX: 0763-52-5349  
E-mail: bunkaka@city.nanto.lg.jp

構成文化財など  
詳しくはこちら ↓



【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む

分類：地域／認定ストーリー 59

分類：シリアル／認定ストーリー 58

■タイトル

明治貴族が描いた未来 ～那須野が原開拓浪漫譚～

■所在自治体 那須塩原市、矢板市、大田原市、那須町

■ストーリーの概要

わずか140年前まで人の住めない荒野が広がっていた日本最大の扇状地「那須野が原」。明治政府の中枢にあった貴族階級は、この地に私財を投じ大規模農場の経営に乗り出します。近代国家建設の情熱と西欧貴族への憧れを胸に荒野の開拓に挑んだ貴族たち。その遺志は長い闘いを経て、那須連山を背景に広がる豊饒の大地に結実しました。ここは、知られざる近代化遺産の宝庫。那須野が原に今も残る華族農場の別荘を訪ねると、近代日本黎明期の熱気と、それを牽引した明治貴族たちの足跡を垣間見ることができます。

■主な構成文化財

- 【国】旧青木家那須別邸(那須塩原市)
- ◆ 松方別邸(那須塩原市)
- ◆ 山縣有朋記念館(矢板市)
- ◆ 西郷神社(大田原市)
- ◆ 那須町共同利用模範牧場(那須町)

■問い合わせ先

那須塩原市教育委員会事務局教育部生涯学習課文化振興係  
栃木県那須塩原市あご町2番3号  
TEL: (0287) 37-5419 FAX: (0287) 37-5479  
E-mail: shougai@city.nasushiobara.lg.jp

構成文化財など  
詳しくはこちら ↓



【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む



旧塩原御用邸新御座所(廊下)



旧青木家那須別邸(俯瞰)

分類：シリアル／認定ストーリー 60

■タイトル

葡萄畑が織りなす風景-山梨県峡東地域-

■所在自治体 山梨県(山梨市、笛吹市、甲州市)

■ストーリーの概要

甲府盆地の東部は平坦地から傾斜地まで葡萄畑が広がり、初夏には深碧の絨緞、秋には紅葉の濃淡が日に映え、季節ごとに様々な風景を魅せてくれます。奈良時代から始まったと伝えられる葡萄栽培は、先人たちの知恵と工夫により、かつて水田や桑畑だった土地を一面の葡萄畑に変え、またその葡萄畑に育まれたワインは日常のお酒として地域に根付きました。今も歴史を語る技術や建物は受け継がれ、葡萄畑の風景の中に溶け込んでいます。

■主な構成文化財

- ◆ 葡萄畑
- ◆ 甲州式棚栽培
- ◆ 歴史的ワイナリー
- ◆ 甲州ワイン
- ◆ 葡萄酒

■問い合わせ先

峡東地域ワインリゾート推進協議会(山梨県観光文化部観光資源課)  
甲府市丸の内1丁目6番1号  
TEL: 055-223-1573 FAX: 055-223-1558  
E-mail: kankou-sgn@pref.yamanashi.lg.jp

構成文化財など  
詳しくはこちら ↓



【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む



紅葉の葡萄畑



ブドウ棚と養蚕農家の特徴を持つ和風建築ワイナリー



縄文人が掘った鉱山跡が今も窪んでいるのを見ることができる星糞峠遺跡と黒曜石(左下)



縄文の芸術品

■タイトル

星降る中部高地の縄文世界  
—数千年を遡る黒曜石鉱山と縄文人に出会う旅—

■所在自治体 長野県(茅野市、富士見町、原村、諏訪市、岡谷市、下諏訪町、長和町、川上村) 山梨県(甲府市、北杜市、韮崎市、南アルプス市、笛吹市、甲州市)

■ストーリーの概要

日本の真ん中、八ヶ岳を中心とした中部高地には、ほかでは見られない縄文時代の黒曜石鉱山がある。鉱山の森に足を踏み入ると、そこには縄文人が掘り出したキラキラ輝く黒曜石のカケラが一面に散らばり、星降る里として言い伝えられてきた。日本最古のブランド「黒曜石」は、最高級の矢じりの材料として日本の各地にもたらされた。麓のムラで作られたヒトや森に生きる動物を描いた土器やヴィーナス土偶を見ると、縄文人の高い芸術性に驚かされ、黒曜石や山の幸に恵まれて繁栄した縄文人を身近に感じることができる。

■主な構成文化財

- 【国】土偶「縄文のビーナス」 【国】深鉢形土器(殿林遺跡出土)
- 【国】土偶「仮面の女神」 【国】星糞峠黒曜石原産地遺跡

■問い合わせ先

甲信縄文文化発信・活性化協議会  
(山梨県観光文化振興・文化財課)  
山梨県甲府市丸の内1-6-1  
TEL: 055-223-1791 FAX: 055-223-1793  
E-mail: bunka@pref.yamanashi.lg.jp

構成文化財など詳しくはこちら ↓



【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む

分類: シリアル / 認定ストーリー 61



広村堤防が築かれた広川町の海岸



濱口家住宅の御風楼

■タイトル

「百世の安堵」～津波と復興の記憶が生きる広川の防災遺産～

■所在自治体 広川町

■ストーリーの概要

広川町の海岸は、松が屏風のように立ち並び、見上げる程の土盛りの堤防が海との緩衝地を形作り、沖の突堤、海沿いの石堤と多重防御システムを構築しています。堤防に添う町並みは、豪壮な木造三階建の楼閣がそびえ、重厚な瓦屋根、漆喰や船板の外壁が印象的な町家が、高台に延びる通りや小路に面して軒を連ね、避難を意識した町が築かれています。江戸時代、津波に襲われた人々は、復興を果たし、この町に日本の防災文化の縮図を浮び上らせた。防災遺産は、世代から世代へと災害の記憶を伝え、今も暮らしの中に息づいています。

■主な構成文化財

- 【国】広村堤防
- 【国】濱口家住宅
- 【国】廣八幡宮
- ◆ 津浪祭

■問い合わせ先

広川町企画政策課  
和歌山県有田郡広川町大字広1500番地  
TEL: (0737) 23-7731 FAX: (0737) 62-2407  
E-mail: kikaku7@town.hirogawa.wakayama.jp

構成文化財など詳しくはこちら ↓



【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む

分類: 地域 / 認定ストーリー 63

■タイトル  
旅人たちの足跡残る悠久の石畳道  
—箱根八里で辿る遙かな江戸の旅路—

■所在自治体 静岡県(三島市、函南町)、神奈川県(小田原市、箱根町)

■ストーリーの概要

『天下の嶮』と歌に唄われた箱根山を東西に越える一筋の道、東海道「箱根八里」。江戸時代の大幹線であった「箱根八里」には、繁華な往来を支えるために当時の日本で随一の壮大な石畳が敷かれました。西国大名やオランダ商館長、朝鮮通信使や長崎奉行など、歴史に名を残す旅人たちの足跡残る街道をひととき辿れば、宿場町や茶屋、関所や並木、一里塚と、道沿いに次々と往時のままの情景が立ち現われてきて、遙か時代を超え、訪れる者を江戸の旅へと誘います。

■主な構成文化財

- 【国】箱根旧街道(石畳) 願合寺地区
- 【国】箱根旧街道(杉並木)
- 【国】箱根旧街道(石畳) 笹原地区
- 【国】小田原城跡
- 【国】三嶋大社

■問い合わせ先

箱根八里街道観光推進協議会事務局  
(三島市産業文化振興課)  
静岡県三島市北田町4-47  
TEL: 055-983-2656 FAX: 055-983-2754  
E-mail: syoukou@city.mishima.shizuoka.jp

構成文化財など詳しくはこちら ↓



【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む



箱根旧街道 石畳道



芦ノ湖と富士山

分類: シリアル / 認定ストーリー 62

■タイトル  
「桃太郎伝説」の生まれたまち おかやま  
～古代吉備の遺産が誘う鬼退治の物語～

■所在自治体 岡山市、倉敷市、総社市、赤磐市

■ストーリーの概要

いにしえに吉備と呼ばれた岡山。この地には鬼ノ城と呼ばれる古代山城や巨大墓に立ち並ぶ巨石などの遺跡が現存する。これら遺跡の特徴から吉備津彦命が温羅と呼ばれた鬼を退治する伝説の舞台となった。絶壁にそびえる古代山城は、その名の通り温羅の居城とされ、巨石は命の楯となった。勝利した命は巨大神殿に祀られ、敗れた温羅の首はその側に埋められた。鬼退治伝説は、古代吉備の繁栄と屈辱の歴史を背景とし、桃太郎伝説の原型になったとされ、吉備の多様な遺産は今も訪れる人々を神秘的な物語へと誘ってくれる。

■主な構成文化財

- 【国】鬼ノ城(総社市)
- 【国】吉備津神社(岡山市)
- ◆ 吉備津彦神社(岡山市)
- 【国】楯築遺跡(倉敷市)
- 【国】両宮山古墳(赤磐市)

■問い合わせ先

日本遺産「桃太郎伝説の生まれたまち おかやま」推進協議会  
(岡山市産業観光局観光部プロモーション・MICE推進課内)  
岡山県岡山市北区大供一丁目1-1  
TEL: (086) 803-1333 FAX: (086) 803-1871  
E-mail: promotion@city.okayama.lg.jp

構成文化財など詳しくはこちら ↓



【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む

分類: シリアル / 認定ストーリー 64



吉備津神社



鬼城山(鬼の城)

平成30年度認定

令和元年度認定

令和2年度認定

令和3年度認定

令和4年度認定

令和5年度認定

平成27年度認定

平成28年度認定

平成29年度認定

平成30年度認定

令和元年度認定

令和2年度認定

令和3年度認定

令和4年度認定

令和5年度認定



平成  
27年度  
認定

平成  
28年度  
認定

平成  
29年度  
認定

平成  
30年度  
認定

令和  
元年度  
認定

令和  
2年度  
認定



夕暮れ時の常夜燈と雁木



町並み保存地区

■タイトル

瀬戸の夕風が包む 国内随一の近世港町  
～セピア色の港町に日常が溶け込む鞆の浦～

■所在自治体 福山市

■ストーリーの概要

夕暮れ時になると灯りのともる石造りの「常夜燈」は、港をめざす船と港の人々を160年間見守ってきた鞆の浦のシンボル。

「雁木」と呼ばれる瀬戸内海の干満に合わせて見え隠れする石段が、常夜燈の袂から円形劇場のように港を包み、その先端には大波を阻む石積みの防波堤「波止」が横たわる。

瀬戸内の多島美に囲まれた鞆の浦は、これら江戸期の港湾施設がまともって現存する国内唯一の港町。潮待ちの港として繁栄を極めた頃の豪商の屋敷や小さな町家がひしめく町並みと人々の暮らしの中に、近世港町の伝統文化が息づいている。

■主な構成文化財

【国】福山市鞆町伝統的建造物群保存地区

【国】鞆公園

- ◆ 常夜燈
- ◆ お手火神事

■問い合わせ先

広島県福山市経済環境局文化観光振興部文化振興課  
広島県福山市東桜町3番5号  
TEL: 084-928-1278 FAX: 084-928-1736  
E-mail: bunkazai@city.fukuyama.hiroshima.jp

構成文化財など詳しくはこちら ↓



【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む

分類：地域／認定ストーリー 65



西都原 -鬼の窟とひまわり himawari



西都古墳まつり

■タイトル

古代人のモニュメント  
—台地に絵を描く 南国宮崎の古墳景観—

■所在自治体 西都市、宮崎市、新富町、高鍋町

■ストーリーの概要

日本独自の形である前方後円墳という古墳が造られた時代。宮崎平野でも西都原古墳群を始め多くの古墳が造られました。列島各地であまた造られた古墳のある景観(風景)は、時の移ろいの中で様変わりしますが、宮崎平野には繁栄した当時に近い景観が今も保たれています。台地に広がる古墳の姿が損なわれることなく、古墳の周りには建築物がほとんどない景観は全国で唯一です。古墳を横から、上から斜めから、いろんな形と古墳のある景観を楽しんでみませんか？

■主な構成文化財

【国】西都原古墳群

【国】新田原古墳群

【国】生目古墳群

【国】蓮ヶ池横穴墓群

【国】持田古墳群

- ◆ 古墳への小径(記紀の道)

■問い合わせ先

西都市教育委員会社会教育課  
宮崎県西都市聖陵町2丁目1番地  
TEL: 0983-35-3009 FAX: 0983-43-2067  
E-mail: syakyo@city.saito.lg.jp

構成文化財など詳しくはこちら ↓



【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む

分類：シリアル／認定ストーリー 67

分類：シリアル／認定ストーリー 66

■タイトル

鬼が仏になった里「くにさき」

■所在自治体 大分県(豊後高田市・国東市)

■ストーリーの概要

「くにさき」の寺には鬼がいる。一般に恐ろしいものの象徴である鬼だが、「くにさき」の鬼は人々に幸せを届けてくれる。

おどろおどろしい岩峰の洞穴に棲む「鬼」は不思議な法力を持つとされ、鬼に憧れる僧侶達によって「仏(不動明王)」と重ねられていった。「くにさき」の岩峰につくられた寺院や岩屋を巡れば、様々な表情の鬼面や優しい不動明王と出見え、「くにさき」の鬼に祈る文化を体感できる。

修正鬼会の晩、共に笑い、踊り、酒を酌み交わす——。「くにさき」では、人と鬼とが長年の友のように繋がれる。

■主な構成文化財

【国】修正鬼会(豊後高田市、国東市)

【国】中山仙境(豊後高田市)

- ◆ 大不動岩屋(国東市)

【国】熊野磨崖仏(豊後高田市)

■問い合わせ先

豊後高田市教育委員会 文化財室  
大分県豊後高田市中真玉 2144 番地 12  
TEL: 0978-53-5112 FAX: 0978-53-4731  
E-mail: bunkazai@city.bungotakada.lg.jp

構成文化財など詳しくはこちら ↓



【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む



鬼が棲む奇岩霊窟「鬼城」



馴染みの鬼と杯を交わす(岩戸寺集落)

■タイトル

本邦国策を北海道に観よ!  
～北の産業革命「炭鉄港」～

■所在自治体 北海道夕張市、岩見沢市、美瑛市、芦別市、赤平市、三笠市、栗山町、月形町、沼田町、室蘭市、安平町、小樽市

■ストーリーの概要

明治の初めに命名された広大無辺の大地「北海道」。その美しくも厳しい自然の中で、「石炭」・「鉄鋼」・「港湾」とそれらを繋ぐ「鉄道」を舞台に繰り広げられた北の産業革命「炭鉄港」は、北海道の発展に大きく貢献してきました。当時の繁栄の足跡は、空知の炭鉱遺産、室蘭の工場景観、小樽の港湾そして各地の鉄道施設など、見る者を圧倒する本物の産業景観として今でも数多く残っています。100km圏内に位置するこの3地域を原動力として、北海道の人口は約100年で100倍になりました。その急成長と衰退、そして新たなチャレンジを描くダイナミックな物語は、これまでにない北海道の新しい魅力として、訪れる人に深い感慨と新たな価値観をもたらします。

■主な構成文化財

- ◆ 住友赤平炭鉱立坑櫓・周辺施設(赤平市)

【国】旧手宮鉄道施設(小樽市)

【国】室蘭市旧室蘭駅舎

■問い合わせ先

北海道空知総合振興局地域創生部地域政策課  
北海道岩見沢市8条西5丁目  
TEL: 0126-20-0034 FAX: 0126-25-8144  
E-mail: sorachi.chiseil@pref.hokkaido.lg.jp

構成文化財など詳しくはこちら ↓



【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む

分類：シリアル／認定ストーリー 68



住友赤平炭鉱立坑櫓(赤平市)

工場景観と企業城下町のまちなみ(室蘭市)



小樽港北防波堤(小樽市)

蒸気機関車 D51 320号機(安平町)

平成  
27年度  
認定

平成  
28年度  
認定

平成  
29年度  
認定

平成  
30年度  
認定

令和  
元年度  
認定

令和  
2年度  
認定



黄金の国ジパングの礎となった砂金



大谷鉱山巨大精錬所跡(宮城県気仙沼市)

■タイトル

みちのくGOLD浪漫  
—黄金の国ジパング、産金をはじめの地をたどる—

■所在自治体 岩手県(平泉町・陸前高田市)宮城県(気仙沼市・南三陸町・涌谷町・石巻市)

■ストーリーの概要

日本で初めて“金”が産出されたのは奈良時代の陸奥国。現在の岩手県や宮城県を含み「みちのく」とも呼ばれるこの地が生んだ“金”は富の象徴のみならず、奈良・東大寺の大仏や平泉・中尊寺金色堂を彩り、祈りの対象として人々の心に光を灯し続けてきました。私たちは、時代とともに幾重にも結び付き、独自の文化や信仰、産業へと昇華した“金”と人々の縁を“みちのくGOLD”と名付け、価値や魅力の掘り起しを始めました。日々の生活や風土に溶け込んだ“みちのくGOLD”との出会いは、悠長の時を経ても色褪せることのない浪漫に満ち溢れています。

■主な構成文化財

- 【国】 黄金山産金遺跡(宮城県涌谷町) 【国】 中尊寺金色堂(岩手県平泉町)
- ◆ 田東山経塚群(宮城県南三陸町)
- ◆ 玉山金山遺跡(岩手県陸前高田市)
- ◆ 鹿折金山跡(宮城県気仙沼市)
- ◆ 金華山詣(宮城県石巻市)

■問い合わせ先

涌谷町教育委員会生涯学習課文化財保護班  
宮城県遠田郡涌谷町字下道69-1  
TEL: 0229-43-3001 FAX: 0229-43-3536  
E-mail: gr-bunkazai@town.wakuya.miyagi.jp

構成文化財など詳しくはこちら ↓



【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む

分類: シリアル/認定ストーリー 69

分類: シリアル/認定ストーリー 71



一乗谷朝倉氏遺跡 復原町並



白山寺白山神社 拝殿

■タイトル

400年の歴史の扉を開ける旅  
～石から読み解く中世・近世のまちづくり 越前・福井～

■所在自治体 福井県(福井市、勝山市)

■ストーリーの概要

越前・福井では、中世期に地方に生まれ、大量の石を用いて計画的につくられた都市が今も独特の空間を醸し出しています。また、近世期の城下町では、風景に溶け込んだ美しい青色の石が天候によって街並みの色合いを変化させ、自然の力が大地を階段状につくり上げた街の中心部には石の壁が続きます。様々な形に姿を変えて時代を越えてきた石が私たちを迎える越前・福井は、日本人と石との共生の歴史や屈指の石づくり文化を体感させてくれる地です。

■主な構成文化財

- 【国】 一乗谷朝倉氏遺跡(福井市)
- 【国】 白山平泉寺旧境内(勝山市)
- ◆ 福井城址(福井市)
- ◆ 七里壁(勝山市)

■問い合わせ先

福井県交流文化部文化課  
福井県福井市大手3丁目17-1  
TEL: 0776-20-0572 FAX: 0776-20-0661  
E-mail: bunka@pref.fukui.lg.jp

構成文化財など詳しくはこちら ↓



【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む

分類: 地域/認定ストーリー 72

■タイトル

江戸時代の情緒に触れる絞りの産地  
～藍染が風にゆれる町 有松～

■所在自治体 名古屋市

■ストーリーの概要

どこまでも広がる藍色の空の下、藍で染められた絞り暖簾が風にゆれる古い商家の落ち着いた佇まい。絞りの町「有松」には、江戸時代の浮世絵さながらの景観が今も静かに広がっています。

「ほしもの 有松染めよ 人の身の あぶら絞りし 金にかえても」  
この歌を詠んだ『東海道中膝栗毛』の主人公の弥次さんは、絞りの素晴らしさに魅せられて手拭いを買いました。旅のお土産として、世界に知られている有松の絞りはいかがですか。四百年の歴史を持つ有松の江戸文化は、今も多くの人々を魅了しています。

■主な構成文化財

- ◆ 服部家住宅(井桁屋)
- ◆ 服部幸平家住宅倉
- ◆ 岡家住宅
- ◆ 竹田家住宅(竹田嘉兵衛商店)

■問い合わせ先

名古屋市教育委員会文化財保護室  
愛知県名古屋市中区三の丸三丁目1番1号  
TEL: 052-972-3220 FAX: 052-972-4202  
E-mail: a3268@kyoiku.city.nagoya.lg.jp

構成文化財など詳しくはこちら ↓



【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む

分類: 地域/認定ストーリー 70

■タイトル

里沼(SATO-NUMA)  
—「祈り」「実り」「守り」の沼が磨き上げた館林の沼辺文化—

■所在自治体 館林市

■ストーリーの概要

関東の山々が一望できる館林では、今も多くの沼と出会うことができる。館林の沼は人里近くにあり、「里山」と同様に人々の暮らしと深く結び付き、人が沼辺を活かすことで良好な環境が保たれ、文化が育まれてきた「里沼(SATO-NUMA)」であった。館林の里沼は、沼ごとに特性が異なる。その歴史を紐解くと、里沼の原風景と信仰が共存する茂林寺沼は「祈りの沼」、沼の恵みが暮らしを支えた多々良沼は「実りの沼」、館林城とつつじの名勝地を守ってきた城沼は「守りの沼」と言い換えることができる。館林の里沼を辿れば、それぞれの沼によって磨き上げられた館林の沼辺文化を味わい、体感することができる。

■主な構成文化財

- ◆ 茂林寺沼及び低地湿原
- ◆ 多々良沼
- ◆ 城沼
- 【国】 躑躅ヶ岡(躑躅)[つつじが岡公園]
- ◆ 川魚料理(鯰・鯉・鮒・鰻料理)

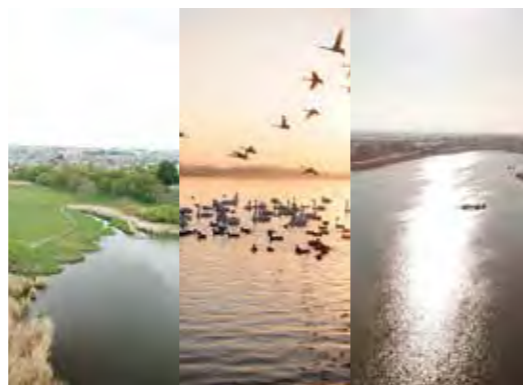
■問い合わせ先

館林市役所日本遺産プロジェクト(館林市教育委員会文化振興課)  
群馬県館林市城町3番1号  
TEL: 0276-71-4111 FAX: 0276-74-4113  
E-mail: nihonisan@city.tatebayashi.gunma.jp

構成文化財など詳しくはこちら ↓



【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む



里沼(「祈りの沼・茂林寺沼」、「実りの沼・多々良沼」、「守りの沼・城沼」)



田山花袋旧居



有松の町並み



絞りの実演



漁をする海女



海女小屋体験での海女とのふれあい

■タイトル

海女(Ama)に出逢えるまち 鳥羽・志摩  
～素潜り漁に生きる女性たち

■所在自治体 三重県(鳥羽市・志摩市)

■ストーリーの概要

豊かな海産物に恵まれた鳥羽・志摩は、全国の約半数の海女が活躍する日本一の「海女に出逢えるまち」である。この地域で、女性が素潜りでアワビ、サザエや海藻を獲る海女漁の始まりは約2000年前まで遡り、世界でも日本と韓国のみ希少な漁法である。海女が獲った海産物は伊勢神宮に「神饌(神様に捧げる供物)」として奉納され続けており、海女が中心となる祭も継承されているなど、海女ならではの風習や信仰などの「海女文化」が今も色濃く息づいている。鳥羽・志摩をめぐる海女文化を「五感」で体感でき、元気な海女からパワーをもらえるに違いない。

■主な構成文化財

【国】 鳥羽志摩の海女漁の技術

- ◆ しろご祭り(鳥羽市)
- ◆ 伊雑宮(志摩市)
- ◆ 潮かけ祭(志摩市)
- ◆ 青峯山正福寺(鳥羽市)

■問い合わせ先

鳥羽市教育委員会生涯学習課  
三重県鳥羽市大明東町1-6  
TEL: 0599-25-1268 FAX: 0599-25-1263  
E-mail: syakai@city.toba.lg.jp

構成文化財など詳しくはこちら ↓



【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む

分類: シリアル / 認定ストーリー 73



重要文化的景観「日根荘大木の農村景観」

■タイトル

旅引付と二枚の絵図が伝えるまち  
—中世日根荘の風景—

■所在自治体 泉佐野市

■ストーリーの概要

今から800年前、泉佐野市は上級貴族、九条家の領地「日根荘」でした。ここには二枚の荘園絵図と九条政基が書いた「旅引付」という日記が残されています。絵図には緑豊かな風景に、田畑に恵の水を注ぐため池や水路、社寺などが描かれ、日記には500年前の村の生活や人々の様子がいきいきと記されています。荘園の地を創り、中世から受け継がれてきた現在のこの風景は、絵図や日記に描かれた魅力ある農村景観へと誘ってくれるのです。

■主な構成文化財

- 【国】 日根荘遺跡
- 【国】 日根荘大木の農村景観
- 【国】 慈眼院 多宝塔
- ◆ 日根神社まくら祭り
- ◆ 犬鳴山七宝瀧寺

■問い合わせ先

日本遺産日根荘推進協議会(泉佐野市教育委員会文化財保護課内)  
大阪府泉佐野市市場東1丁目1-1  
TEL: 072-447-6766 FAX: 072-469-0577  
E-mail: bunkazai@city.izumisano.lg.jp

構成文化財など詳しくはこちら ↓



【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む

分類: 地域 / 認定ストーリー 75

■タイトル

1300年つづく日本の終活の旅  
～西国三十三所観音巡礼～

■所在自治体 滋賀県(大津市)、和歌山県(那智勝浦町、和歌山市、紀の川市) 大阪府(和泉市、藤井寺市、茨木市、箕面市) 奈良県(高取町、明日香村、桜井市、奈良市) 京都府(宇治市、京都市、亀岡市、宮津市、舞鶴市) 兵庫県(宝塚市、加東市、加西市、姫路市) 滋賀県(長浜市、近江八幡市) 岐阜県(揖斐川町)

■ストーリーの概要

究極の終活とは、ただ死に向かって人生の整理をすることではない。人生を通して、いかに充実した心の生活を送れるかを考えることが、日本人にとっての究極の終活である。そして、それを達成できるのが西国三十三所観音巡礼である。日本人は海外の人から「COOL!」だと言われる。そのように評価されるのは、優しさ、心遣い、勤勉さといった日本人の本来の心であり、実はそれは日本人が親しんできた「観音さん」の教えそのものである。観音を巡り日本人本来の豊かな心で生きるきっかけとなる旅、それが西国三十三所観音巡礼なのだ。

■主な構成文化財

- 【国】 石山寺 木造如意輪観世音菩薩(滋賀県大津市)
- ◆ 勝尾寺 十一面千手観世音菩薩(大阪府箕面市)
- 【国】 中山寺 木造十一面観世音菩薩(兵庫県宝塚市)

■問い合わせ先

大津市産業観光部観光振興課  
滋賀県大津市御陵町3番1号  
TEL: 077-528-2756 FAX: 077-523-4053  
E-mail: otsu1604@city.otsu.lg.jp

構成文化財など詳しくはこちら ↓



【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む

分類: シリアル / 認定ストーリー 74



長谷寺 木造十一面観世音菩薩

■タイトル

中世に出逢えるまち  
～千年にわたり護られてきた中世文化遺産の宝庫～

■所在自治体 河内長野市

■ストーリーの概要

河内長野市は京と高野山を結ぶ街道の中間地に位置し、檜尾山観心寺、天野山金剛寺の2大寺院が隆盛したまちである。街道沿いの白壁の塀、銀色に輝く瓦葺きの屋根、朱・緑・黄色などの鮮やかな柱、優雅で美しいその建物の中は凛とした静けさに包まれ、金色に光り輝く仏像が安置されている。この2大寺院の隆盛により市域では多くの社殿、お堂や仏像が造られ、また交通の要衝となったことから山城も築かれた。ここは、悠久の時を超えて千年にわたり護られてきた中世文化遺産の宝庫であり、訪れる人がまちじゅうで中世を体感できるまちである。

■主な構成文化財

- 【国】 観心寺
- 【国】 天野山金剛寺
- 【国】 烏帽子形城跡
- 【国】 延命寺
- ◆ 高野街道

■問い合わせ先

河内長野市 環境経済部産業観光課  
大阪府河内長野市原町一丁目1番1号  
TEL: 0721-53-1111 FAX: 0721-55-1435  
E-mail: kankou@city.kawachinagano.lg.jp

構成文化財など詳しくはこちら ↓



【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む

分類: 地域 / 認定ストーリー 76



観心寺金堂



天野山金剛寺金堂

平成 27年度 認定

平成 28年度 認定

平成 29年度 認定

平成 30年度 認定

令和 元年度 認定

令和 2年度 認定

平成  
27年度  
認定

平成  
28年度  
認定

平成  
29年度  
認定

平成  
30年度  
認定

令和  
元年度  
認定

令和  
2年度  
認定



赤穂市立海洋科学館・塩の国 復元塩田



旧日本専売公社赤穂支局(赤穂塩務局)

分類：地域／認定ストーリー **77**

■タイトル

「日本第一」の塩を産したまち 播州赤穂

■所在自治体 赤穂市

■ストーリーの概要

江戸時代、システムティックな入浜塩田による塩づくりが確立された播州赤穂。瀬戸内の穏やかな海と気候に抱かれ、千種川が中国山地からもたらした良質の砂からできた広大な干潟は、入浜塩田の開発に適していた。その製塩技術は、瀬戸内海沿岸に広がり、市場を席巻するまでに成長した。中でも赤穂の塩は、国内きってのブランドとして名を馳せ、赤穂に多彩な恵みをもたらした。このまちには瀬戸内海から生み出される塩とともに歩んできた歴史文化が蓄積され、現在に息づいている。赤穂は今なお「塩の国」なのである。

■主な構成文化財

- ◆ 旧日本専売公社赤穂支局(赤穂塩務局) 事務所
- 【国】 赤穂の製塩用具
- 【国】 田淵氏庭園
- 【国】 坂越の船祭
- ◆ 西浜塩田資料

■問い合わせ先

赤穂市日本遺産推進協議会事務局(赤穂市産業振興部観光課)  
兵庫県赤穂市加里屋81番地  
TEL: 0791-43-6839 FAX: 0791-46-3400  
E-mail: kankou@city.ako.lg.jp

構成文化財など  
詳しくはこちら ↓



【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む

分類：シリアル／認定ストーリー **78**

■タイトル

日本海の風が生んだ絶景と秘境  
—幸せを呼ぶ霊獣・麒麟が舞う大地「因幡・但馬」

■所在自治体 鳥取県(鳥取市、岩美町、若桜町、智頭町、八頭町)  
兵庫県(香美町、新温泉町)

■ストーリーの概要

日本海から吹きつける季節風が創り上げた日本最大級の鳥取砂丘。目に見えぬ風の姿がさざ波模様の風紋に映し出され、海岸を進むと風が起す荒波に削り出された奇岩が連なる。鳥取砂丘の砂を生み出す中国山地へと急流を辿ると、風がもたらす豪雪に育まれた杉林を背に豪邸が佇む。さらに源流へと分け入ると岩窟の中に古堂が姿を現す。これらは日本海の風が生んだ絶景と秘境である。

人々は、厳しい風の季節での無事とそれを乗り越えた感謝を胸に、古来より幸せを呼ぶ麒麟獅子を舞い続け、麒麟に出会う旅人にも幸せを分け与えている。

■主な構成文化財

- 【国】 浦富海岸
- 【国】 不動院岩屋堂
- 【国】 太田家主屋・新建・門長屋
- ◆ 余部橋梁
- 【国】 但馬御火浦

■問い合わせ先

日本遺産「麒麟のまち」推進協議会(鳥取市文化交流課)  
鳥取県鳥取市幸町71番地  
TEL: 0857-30-8021 FAX: 0857-20-3040  
E-mail: bunka@city.tottori.lg.jp

構成文化財など  
詳しくはこちら ↓



【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む



鳥取砂丘の風紋と麒麟獅子



石谷家住宅

分類：シリアル／認定ストーリー **80**

■タイトル

知ってる!?悠久の時間が流れる石の島  
～海を越え、日本の礎を築いた せとうち備讃諸島～

■所在自治体 笠岡市、丸亀市、土庄町、小豆島町

■ストーリーの概要

瀬戸内備讃諸島の花崗岩と石切り技術は長きにわたり日本の建築文化を支えてきた。日本の近代化を象徴する日本銀行本店本館などの西洋建築、また古くは近世城郭の代表である大坂城の石垣など、日本のランドマークとなる建造物が、ここから切り出された石で築かれている。島々には、400年に渡って巨石を切り、加工し、海を通じて運び、石と共に生きてきた人たちの希有な産業文化が息づいている。世紀を越えて石を切り出した丁場は独特の壮観な景観を形成し、船を操り巨石を運んだ民は、富と迷路の様な集落を遺した。今なお、石にまつわる信仰や生活文化、芸能が継承されている。

■主な構成文化財

- 【国】 大坂城石垣石丁場跡(小豆島町)
- ◆ 北木石の丁場(笠岡市北木島)
- 【国】 笠島集落(丸亀市本島)
- 【国】 小豆島農村歌舞伎及び舞台、石の棧敷席(土庄町・小豆島町)
- 【国】 塩飽動番所(丸亀市本島)

■問い合わせ先

笠岡市産業部商工観光課日本遺産推進室  
岡山県笠岡市中央町1-1  
TEL: 0865-69-1177 FAX: 0865-69-2185  
E-mail: syoukoukankou@city.kasaoka.okayama.jp

構成文化財など  
詳しくはこちら ↓



【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む



神が宿る巨石「重岩」(小豆島)



1892年から石を切り続ける北木石の丁場(北木島)

分類：シリアル／認定ストーリー **79**

■タイトル

神々や鬼たちが躍動する神話の世界  
～石見地域で伝承される神楽～

■所在自治体 浜田市、益田市、大田市、江津市、川本町、美郷町、邑南町、津和野町、吉賀町

■ストーリーの概要

島根県西部、石見地域一円に根付く神楽は、地域の伝統芸能でありながらも、時代の変化を受容し発展を続けてきた。その厳かさや華やかさは、人の心を惹きつけて離さない。神へささげる神楽を大切にしながら、現在は地域のイベントなどでも年間を通じて盛んに舞われ、週末になればどこからか神楽囃子が聞こえてくる。老若男女、観る者を魅了する石見地域の神楽。それは古来より地域とともに歩み発展してきた、石見人が世界に誇る宝なのだ。

■主な構成文化財

- 【国】 大元神楽(江津市、川本町、美郷町、邑南町)
- ◆ 石見神楽(浜田市、益田市、大田市、江津市、川本町、美郷町、邑南町、津和野町、吉賀町)
- ◆ 石見神楽面(浜田市、大田市、江津市、邑南町)
- ◆ 石見神楽衣裳(浜田市、江津市)

■問い合わせ先

石見観光振興協議会  
島根県浜田市片庭町254番地  
TEL: 0855-29-5647 FAX: 0855-22-5306  
E-mail: seibu-kankou@pref.shimane.lg.jp

構成文化財など  
詳しくはこちら ↓



【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む

平成  
27年度  
認定

平成  
28年度  
認定

平成  
29年度  
認定

平成  
30年度  
認定

令和  
元年度  
認定

令和  
2年度  
認定



藍屋敷(田中家住宅)



美馬市脇町南町伝統的建造物群保存地区(うだつの町並み)

■タイトル

藍のふるさと 阿波～日本中を染め上げた至高の青を訪ねて～

分類：シリアル／認定ストーリー 81

■所在自治体 徳島市、吉野川市、阿波市、美馬市、石井町、北島町、  
藍住町、板野町、上板町

■ストーリーの概要

古くから日本人の生活に深くかかわり、神秘的なブルーといわれた「藍」。徳島県の北部を雄大に流れる吉野川の流域は、藍染料の日本一の産地です。この地域の平野部に見られる高い石垣と白壁の建物に囲まれた豪農屋敷や脇町の豪華な「うだつ」がある町並み、「阿波おどり」のリズムからは藍染料の流通を担い、全国を雄飛した藍商人のかつての栄華をうかがい知ることができます。この地域では、今も藍染料が伝統的な技法で生み出されており、その色彩は人々を魅了し続けています。

■主な構成文化財

- 【国】阿波藍製造(上板町、石井町、徳島市)
- 【国】田中家住宅(石井町)
- 【国】美馬市脇町南町伝統的建造物群保存地区(美馬市)
  - ◆ 奥村家住宅(藍住町)
  - ◆ 灰汁発酵建藍染

■問い合わせ先

藍住町教育委員会社会教育課  
徳島県板野郡藍住町奥野字矢上前52-1  
TEL: 088-637-3128 FAX: 088-637-3153  
E-mail: syakaikyoku@ aizumi. i-tokushima. jp

構成文化財など詳しくはこちら ↓



【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む

■タイトル

薩摩の武士が生きた町  
～武家屋敷群「籠」を歩く～

分類：シリアル／認定ストーリー 82

■所在自治体 鹿児島県(鹿児島市、出水市、垂水市、薩摩川内市、  
いちき串木野市、南さつま市、志布志市、南九州市、始良市)

■ストーリーの概要

勇猛果敢な薩摩の武士を育んだ地、鹿児島。そこには本城の鹿児島城跡や、県内各地の山城跡の周辺に配置された籠と呼ばれる外城の武家屋敷群が数多く残っています。籠は、防御に適した場所に作られ、門と玄関の間に生垣を配置する等、まるで城の中のように敵に備えた構造を持っていました。そこでは武士達が、心身を鍛え、農耕に従事し、平和な世にありながら武芸の鍛錬に励みました。鹿児島城跡や籠を歩けば、薩摩の武士達の往時の生き様が見えてきます。

■主な構成文化財

- 【国】鹿児島城跡(鹿児島市)
- 【国】知覧籠(南九州市)
- 【国】出水籠(出水市)
- 【国】入来籠(薩摩川内市)
- 【国】加世田籠(南さつま市)

■問い合わせ先

日本遺産「薩摩の武士が生きた町」魅力推進協議会(鹿児島県教育庁文化財課内)  
鹿児島県鹿児島市鴨池新町10番1号  
TEL: 099-286-5357 FAX: 099-286-5675  
E-mail: maizou@pref.kagoshima. lg. jp

構成文化財など詳しくはこちら ↓



【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む



鹿児島城跡



出水籠



東道盆



琉球舞踊◎一般財団法人 沖縄美ら島財団

■タイトル

琉球王国時代から連綿と続く  
沖縄の伝統的な「琉球料理」と「泡盛」、そして「芸能」

分類：シリアル／認定ストーリー 83

■所在自治体 沖縄県(那覇市、浦添市)

■ストーリーの概要

沖縄県はかつて琉球王国と呼ばれ、独自の文化を形成してきた。琉球王国は「守礼の邦=礼節を重んじる国」を掲げ、訪れる外国の賓客をもてなすために礼遇を行った。特に、中国皇帝から派遣された冊封使節団は滞在期間が約半年間に及ぶほど大規模だった。宴は国を挙げての重要な行事で、冊封使をもてなす料理や芸能に力を注いだ。そこで供された宮廷料理や御用酒泡盛、宴を盛り上げた芸能は、今も沖縄の誇りとして県民に親しまれている。琉球王国時代に育まれた食文化と芸能は、「世替わり」の歴史を映しながら、連綿と続く「守礼の心」で受け継がれている。

■主な構成文化財

- 【国】浦添城跡(浦添市)
- 【国】識名園(那覇市)
  - ◆ 豆腐よう
  - ◆ 琉球泡盛
- 【国】組踊

■問い合わせ先

琉球文化日本遺産推進協議会(沖縄県文化観光スポーツ部文化振興課内)  
沖縄県那覇市泉崎1丁目2番2号  
TEL: 098-866-2768 FAX: 098-866-2122  
E-mail: aa058106@pref.okinawa. lg. jp

構成文化財など詳しくはこちら ↓



【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む

■タイトル

「鮭の聖地」の物語～根室海峡一万年の道程～

分類：シリアル／認定ストーリー 84

■所在自治体 北海道(標津町、根室市、別海町、羅臼町)

■ストーリーの概要

北海道最東の海、根室海峡。この地では、遥か一万年の昔から、絶えず人々の暮らしが続いてきました。その支えとなったのは、大地と海を往来し、あらゆる生命の糧となった鮭です。毎年秋に繰り返される鮭の遡上という自然の摂理の下、当地では人と自然、文化と文化の共生と衝突が起こり、数々の物語と共に、海路、陸路、鉄道、道路という、根室海峡に続く「道」が生まれます。一万年に及ぶ時の流れの中で、鮭に笑い、鮭に泣いた根室海峡沿岸。ここはいまも、人と自然、あらゆるものが鮭とつながる「鮭の聖地」です。

■主な構成文化財

- ◆ 野付半島(別海町・標津町)
- 【国】松法川北岸遺跡出土品(羅臼町)
- 【国】標津遺跡群伊茶仁カリカリウス遺跡(標津町)
- 【国】根室半島チャシ跡群(根室市)
- 【国】旧奥行白駅遺所(別海町)

■問い合わせ先

標津町ポーツ川史跡自然公園  
北海道標津町字伊茶仁2784番地  
TEL: 0153-82-3674 FAX: 0153-82-3674  
E-mail: po-gawa@shibetsutown.jp

構成文化財など詳しくはこちら ↓



【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む



鮭山漬け寒風干し



野付半島

平成  
27年度  
認定

平成  
28年度  
認定

平成  
29年度  
認定

平成  
30年度  
認定

令和  
元年度  
認定

令和  
2年度  
認定

平成  
27年度  
認定

平成  
28年度  
認定

平成  
29年度  
認定

平成  
30年度  
認定

令和  
元年度  
認定

令和  
2年度  
認定



漆器



漆掻き

分類：シリアル／認定ストーリー **85**  
■タイトル  
“奥南部”漆物語 ～安比川流域に受け継がれる伝統技術～

■所在自治体 岩手県(二戸市, 八幡平市)

■ストーリーの概要

日本民俗学の祖・柳田國男は著書で、この安比川流域を、“奥南部”と称しています。安比川流域には、木地師や塗師、漆掻きが多く住み、地域で一体的な漆器製作を行ってきました。生漆や漆工芸品の特産地としての誇りを胸に、漆産業を現在まで守り続けています。特に浄法寺漆は、とても良質で、日光東照宮陽明門などの日本を代表する国宝建造物の修復に使われ、日本の文化を支えています。この物語は、安比川流域の人々が、漆を大切にそして誇りに思い、伝統技術・漆文化を繋いできた物語です。“奥南部”漆物語に想いを馳せながら、地元漆器で地元食材の料理と酒を味わう贅沢なひと時を過ごしてみたいかでしょうか。

■主な構成文化財

- 【国】浄法寺の漆掻きと浄法寺漆の用具及び製品
- 【国】日本産漆生産・精製技術
- 【国】天台寺(本堂・仁王門)
- ◆ 安比川上流域の木地師関係資料(民俗資料)

■問い合わせ先

事務局 奥南部漆物語推進協議会(二戸市政策推進課内)  
岩手県二戸市福岡字川又47番地  
TEL: 0195-23-3111 FAX: 0195-25-5160  
E-mail: seisaku@city.ninohe.iwate.jp

構成文化財など詳しくはこちら ↓



【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む

分類：シリアル／認定ストーリー **86**  
■タイトル  
日本ワイン140年史 ～国産ブドウで醸造する和文化の結晶～

■所在自治体 茨城県(牛久市), 山梨県(甲州市)

■ストーリーの概要

国産ブドウを原料とし、日本国内で醸造される「日本ワイン」。その140年にわたる歴史において重要な地位を占めるのが山梨県甲州市と茨城県牛久市である。甲州市は地元のブドウ農家との共存繁栄をはかり、広大なブドウ畑と新旧30ものワイナリーを誕生させるに至った。牛久市の「牛久シャトー」は、ブドウ栽培から醸造までの一貫した工程を構築し、大規模な醸造体制を確立した。明治の文明開化期、国営では果たせなかったワイン醸造を、それぞれの地域の特性を生かして民間の力で成し遂げたのである。切磋琢磨して日本のワイン文化の広まりに貢献した二つのまちに息づく歴史を知れば、ワインの味わいもより深くなる。

■主な構成文化財

- 【国】龍憲セラー(建造物)
- 【国】シャトーカミヤ旧醸造場施設(建造物)
- ◆ 旧宮崎葡萄醸造場施設(建造物)
- 【国】柏尾山大善寺本堂 ブドウ発祥の伝承

■問い合わせ先

ワイン文化日本遺産協議会  
茨城県牛久市中央3丁目20-1(牛久シャトー内)  
TEL: 029-874-3121 FAX: 029-874-3441  
E-mail: bunkazai@city.ushiku.ibaraki.jp

構成文化財など詳しくはこちら ↓



【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む



シャトーカミヤ旧醸造場施設事務室(牛久市)



宮光園主屋(甲州市)



窯焚き(益子町)



笠間の陶炎祭(笠間市)

分類：シリアル／認定ストーリー **87**  
■タイトル  
かさましこ ～兄弟産地が紡ぐ“焼き物語”～

■所在自治体 栃木県(益子町), 茨城県(笠間市)

■ストーリーの概要

東日本屈指の窯業地「かさましこ」(茨城県笠間市と栃木県益子町)は、窯業や統治者によって古代から同じ文化圏でした。江戸時代に入り別々の道を歩みますが、18世紀後半から再び、製陶を通じてつながり合った地域です。使い勝手のいい日用品を作り続けていたこの地は、存続の危機に陥ると時代に合わせた革新に挑み、多様な作風を許容する産地へと変化しました。自由でおおらかな環境が創造する者を惹きつけ、今では600名を超える陶芸家が活躍しています。美意識を追求し美しい生活造形を生み出す「かさましこ」は、訪れる人の五感をも刺激し、暮らしに寄り添う独自の陶文化を醸成しているのです。

■主な構成文化財

- 【国】地蔵院本堂
- 【国】西明寺(三重塔、楼門、本堂内厨子)
- ◆ 根古屋窯(旧益子陶器伝習所)
- 【国】楞嚴寺(山門、木造千手観音立像)
- ◆ 久野陶園

■問い合わせ先

かさましこ日本遺産活性化協議会  
茨城県笠間市中央3-2-1  
TEL: 0296-77-1101 FAX: 0296-71-3220  
E-mail: n\_isan@city.kasama.lg.jp

構成文化財など詳しくはこちら ↓



【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む

分類：地域／認定ストーリー **88**  
■タイトル  
霊気満山 高尾山 ～人々の祈りが紡ぐ桑都物語～

■所在自治体 東京都(八王子市)

■ストーリーの概要

八王子は、養蚕や織物が盛んだったことから「桑都」と称されました。甲州道中最大の宿場町となり、さまざまな文化を育みながら発展してきたまちの礎は、戦国時代末期に関東の覇権を握った北条氏の名将・北条氏照が、城下町を築いたことに遡ります。桑都の発展を支えた養蚕農家や絹商人は、氏照が武運を祈願し、いにしえより人々が霊山として崇めてきた高尾山を信仰し、大切に護ってきました。高尾山では、今も人々の祈りとともに、江戸時代に花開いた桑都の伝統文化が連続と受け継がれています。

■主な構成文化財

- 【国】八王子城跡
- 【国】滝山城跡
- ◆ 高尾山
- ◆ 桑都日記稿本
- 【国】八王子車人形および説経浄瑠璃

■問い合わせ先

日本遺産「桑都物語」推進協議会  
東京都八王子市元本郷町三丁目24番1号  
TEL: 042-620-7434 FAX: 042-626-8554  
E-mail: japan-heritage-soto@city.hachioji.tokyo.jp

構成文化財など詳しくはこちら ↓



【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む



火渡り祭



八王子城跡

平成  
27年度  
認定

平成  
28年度  
認定

平成  
29年度  
認定

平成  
30年度  
認定

令和  
元年度  
認定

令和  
2年度  
認定



婿投げ



清津峡 マ・ヤンソン/MADアーキテクツ「Tunnel of Light」

分類：地域／認定ストーリー 89

■タイトル  
究極の雪国とおかまち ー真説!豪雪地ものがたりー

■所在自治体 新潟県(十日町市)

■ストーリーの概要

世界有数の豪雪地として知られる十日町市。ここには豪雪に育まれた「着もの・食べもの・建もの・まつり・美」のものがたりが揃っている。人々は雪と闘いながらもその恵みを活かして暮らし、雪の中を楽しみさえも見出してこの地に住み継いできた。ここは真の豪雪地ものがたりを体感できる究極の雪国である。

■主な構成文化財

- 【国】 越後縮の紡織用具及び関連資料(有形民俗)
- 【国】 十日町の積雪期用具(有形民俗)
- 【国】 清津峡(名勝・天然記念物)
- ◆ 婿投げ(風俗慣習)

■問い合わせ先

十日町市文化観光推進協議会  
新潟県十日町市千歳町3丁目3番地  
TEL:025-755-5133 FAX:025-757-2285  
E-mail:t-bunka-kanko@city.tokamachi.lg.jp

構成文化財など  
詳しくはこちら ↓



【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む

分類：シリアル／認定ストーリー 91

■タイトル  
甲州の匠の源流・御嶽昇仙峡  
～水晶の鼓動が導いた信仰と技、そして先進技術へ～

■所在自治体 山梨県(甲府市,甲斐市)

■ストーリーの概要

昇仙峡一帯の山地は、水の塊と信じられていた水晶を産出する水源信仰の地であり、地域を流れる荒川上流を訪ねると、悠久の時をかけた浸食により形成された大小の滝や巨石、奇岩に驚かされます。水が作った芸術品ともいえるこの渓谷美は、江戸時代末期に行われた新道開削により奇跡的に出現したのですが、地域の人々の熱意により日本有数の景勝地として磨きあげられてきました。そして、昇仙峡一帯で産出された豊富な水晶とその加工技術は、匠の技として日本一のジュエリー産業の基盤となり、更には人工水晶製造技術へと繋がってスマートフォンなどの電子機器に使用されるなど、過去から現代に至る私たちの生活を支えているのです。

■主な構成文化財

- 【国】 御嶽昇仙峡(甲府市・甲斐市)
- 【国】 燕岩岩脈(甲府市)
- ◆ 金峰山五丈岩(甲府市)
- ◆ 木造五百羅漢像(甲斐市)

■問い合わせ先

昇仙峡地域活性化推進協議会  
山梨県甲府市丸の内1-18-1  
TEL:055-237-5702 FAX:055-227-8065  
E-mail:sangkaka@city.kofu.lg.jp

構成文化財など  
詳しくはこちら ↓



【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む



御嶽昇仙峡(甲府市・甲斐市)



金峰山 五丈岩(甲府市)

分類：地域／認定ストーリー 92

■タイトル  
月の都 千曲  
ー姨捨の棚田がつくる摩訶不思議な月景色「田毎の月」ー

■所在自治体 長野県(千曲市)

■ストーリーの概要

日本人の美意識を表す「月見」。中でも、歴史的に文学や絵画の題材となってきた「姨捨山に照る月」、「田毎の月」は、日本を代表する月見の名所である。姨捨は、地名の響きから、棄老物語を語り伝えてきた。それは、月見にちなむ文芸への遊び心を鼓舞する一方、棚田での耕作や伝統行事を通じて古老の知恵と地域の絆を大切に育ててきた。すべての棚田に映る月影を一枚の浮世絵に表した歌川広重の摩訶不思議な「田毎の月」。そんな「古来の月見」や、「月の都 千曲」が奏でる「新しい月見」に出かけよう。

■主な構成文化財

- 【国】 長楽寺境内と歌碑群
- 【国】 姨捨の棚田
- ◆ 冠着山(姨捨山)
- ◆ 姨捨駅 駅舎(建造物)

■問い合わせ先

千曲市日本遺産推進協議会  
千曲市杭瀬下2丁目1番地千曲市役所内  
TEL:026-273-1111 FAX:026-273-8787  
E-mail:jh-suishin@city.chikumaj.lg.jp

構成文化財など  
詳しくはこちら ↓



【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む

分類：シリアル／認定ストーリー 90

■タイトル  
海を越えた鉄道 ～世界へつながる 鉄道のキセキ～

■所在自治体 福井県(南越前町,敦賀市),滋賀県(長浜市)

■ストーリーの概要

ここに1枚の切符がある。今から約100年前に運行されていた欧亜国際連絡列車は、この切符で東京からベルリンまでの渡航が可能であった。シベリア鉄道の発着地であるウラジオストクと敦賀を結ぶ鉄道連絡船の就航により、鉄道は海を越え欧州へとつながった。なぜ敦賀駅に国際列車が発着していたのか?それは、長浜市・敦賀市・南越前町の明治時代の鉄道の歴史と密接な関係がある。物語は、トンネルで日本海と琵琶湖を繋いだことから始まる。

■主な構成文化財

- ◆ 旧長浜駅舎(建造物)
- ◆ D51形793号蒸気機関車(美術工芸品)
- 【国】 山中トンネル(建造物)
- ◆ シベリア経由欧亜連絡切符(歴史資料)

■問い合わせ先

長浜市・敦賀市・南越前町観光連携協議会(長浜市観光振興課)  
滋賀県長浜市八幡東町632番地  
TEL:0749-65-6521 FAX:0749-64-0396  
E-mail:kankouka@city.nagahama.lg.jp

構成文化財など  
詳しくはこちら ↓



【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む



旧長浜駅舎



山中トンネル



棚田に映る田毎の月



月の駅 姨捨駅

平成  
27年度  
認定

平成  
28年度  
認定

平成  
29年度  
認定

平成  
30年度  
認定

令和  
元年度  
認定

令和  
2年度  
認定



安楽寺八角三重塔 (©岡田光司)



生島足島神社 (冬至の落陽)

■タイトル

レイラインがつなぐ「太陽と大地の聖地」  
～龍と生きるまち 信州上田・塩田平～

■所在自治体 長野県 (上田市)

■ストーリーの概要

独鈷山と夫神岳から扇状に開ける地・塩田平は、古来「聖地」として、多くの神社仏閣が建てられている。山のおもとにある信州最古の温泉といわれる別所温泉、「国土・大地」を御神体とする「生島足島神社」、「大日如来・太陽」を安置する「信濃国分寺」は、1本の直線状に配置され、レイラインをつないでいる。夏至と冬至に、鳥居の中を太陽の光が通り抜け、神々しくぬくもりのある輝きを享受できるのだ。先人たちが、この地が特別であると後世に伝えようと遺した様々な仕掛けは、今も、訪れる人びとにパワーをチャージさせる。

■主な構成文化財

- 【国】安楽寺八角三重塔
- 【国】別所温泉の岳の轍行事
- 【国】信濃国分寺三重塔
- ◆ 生島足島神社本殿内殿

■問い合わせ先

上田市日本遺産推進協議会事務局 (上田市交流文化スポーツ課内)  
長野県上田市大手一丁目11番16号  
TEL: 0268-75-2005 FAX: 0268-22-4131  
E-mail: japanheritage\_ueda@city.ueda.nagano.jp

構成文化財など詳しくはこちら ↓



【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む

分類: 地域 / 認定ストーリー 93



遊覧船「びわ湖疏水船」



南禅寺水路閣

■タイトル

京都と大津を繋ぐ希望の水路 琵琶湖疏水  
～舟に乗り、歩いて触れる明治のひととき

■所在自治体 京都府 (京都市), 滋賀県 (大津市)

■ストーリーの概要

今も京都に「命の水」を運び続ける琵琶湖疏水。明治維新における事実上の東京遷都によって、人口が大きく減少した京都の人々は、琵琶湖疏水の建設に、まちの再生の望みを託し、多くの困難を乗り越え、日本で初めて、日本人のみの手によって、この大土木事業を成し遂げました。豊富な水は水力発電、舟運、防火用水、庭園群、水道などに利用され、経済や産業、文化を発展させました。京都を再生と飛躍に導き、現在のまちの姿を形づくった琵琶湖疏水は、今も京都と大津を繋ぎ、まちと暮らしを潤し続けています。琵琶湖疏水を舟で遊覧し、沿線や施設を歩くことで、明治の時代のこの壮大な事業が、時を超えて今に息づいていることを、感じることができるでしょう。

■主な構成文化財

- 【国】旧御所水道ポンプ室
- 【国】蹴上インクライン
- 【国】南禅寺水路閣
- 【国】扇額

■問い合わせ先

京都市上下水道局総務部総務課  
京都市南区上鳥羽鉾立町11番地3  
TEL: 075-672-7709 FAX: 075-682-2711  
E-mail: biwako\_sosui@suido.city.kyoto.lg.jp

構成文化財など詳しくはこちら ↓



【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む

分類: シリアル / 認定ストーリー 95

平成  
27年度  
認定

平成  
28年度  
認定

平成  
29年度  
認定

平成  
30年度  
認定

令和  
元年度  
認定

令和  
2年度  
認定

分類: シリアル / 認定ストーリー 94

■タイトル

日本初「旅ブーム」を起こした弥次さん喜多さん、駿州の旅  
～滑稽本と浮世絵が描く東海道旅のガイドブック (道中記)～

■所在自治体 静岡県 (藤枝市, 静岡市)

■ストーリーの概要

日本初の「旅の大ブーム」の火付け役は、十返舎一九の滑稽本「東海道中膝栗毛」であり、歌川広重の描いた「東海道五十三次」の浮世絵であった。「滑稽さ」「怖いもの見たさ」そして美味しい「名物」に引き寄せられるのは人の世の常。日本の「ガイドブックの原典」とも言われる「浮世絵」「滑稽本」に惹かれ、自由な移動が制限される江戸時代でも人々は物見遊山の旅へいそいそと出かけて行った。弥次さん喜多さんの「旅の楽しさ」は今も駿州で体感できる。富士山を仰ぎ見ながら江戸時代の「ガイドブック (道中記)」を片手に「東海道五十三次」の「真ん中」、駿州を巡る旅に出よう。

■主な構成文化財

- 【国】丁子屋
- 【国】駿河国総社 静岡浅間神社
- ◆ 三保松原
- 【国】東海道宇津ノ谷峠越
- 【国】岡部宿大旅籠柏屋

■問い合わせ先

駿州の旅日本遺産推進協議会 (藤枝市街道・文化課内)  
静岡県藤枝市岡山1-11-1  
TEL: 054-643-3036 FAX: 054-643-3327  
E-mail: bunka@city.fujieda.shizuoka.jp

構成文化財など詳しくはこちら ↓



【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む



丸子宿・丁子屋



岡部宿大旅籠柏屋 (弥次喜多)

■タイトル

女性とともに今に息づく女人高野  
～時を超え、時に合わせて見守り続ける癒しの聖地～

■所在自治体 大阪府 (河内長野市), 奈良県 (宇陀市), 和歌山県 (九度山町, 高野町)

■ストーリーの概要

高野山は、近代まで「女人結界」が定められ、境内での女性たちの参拝は叶わなかった。そんな時代にあっても女性たちの、身内の冥福を祈る声、明日の安らぎを願う声を聴いていた、「女人高野」と呼ばれるお寺があった。優美な曲線を描くお堂の屋根、静かに願いを聴いている柔和なお顔の仏像、四季の移ろいを映す周囲の樹々、これらが調和した空間を「名所図会」は見事に実写し、表現した。そこに描かれた「女人高野」は時を超え、時に合わせて女性とともに今に息づき、訪れる女性たちを癒し続けている。

■主な構成文化財

- 【国】室生寺の建造物群 (宇陀市)
- 【国】慈尊院の建造物群 (九度山町)
- 【国】高野参詣道 女人道 (高野町)
- 【国】金剛寺の彫刻群 (河内長野市)

■問い合わせ先

河内長野市環境経済部産業観光課  
大阪府河内長野市原町一丁目1番1号  
TEL: 0721-53-1111 FAX: 0721-55-1435  
E-mail: kankou@city.kawachinagano.lg.jp

構成文化財など詳しくはこちら ↓



【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む

分類: シリアル / 認定ストーリー 96



室生寺の五重塔

金剛寺の大日如来坐像



慈尊院の乳房型絵馬

高野参詣道女人道





現存する日本最古の酒蔵「旧岡田家住宅・酒蔵」(伊丹市)



昔の酒造、酒造用具や樽廻船等の展示(神戸市)

■タイトル

「伊丹諸白」と「灘の生一本」  
下り酒が生んだ銘醸地、伊丹と灘五郷

■所在自治体 兵庫県(神戸市、尼崎市、西宮市、芦屋市、伊丹市)

■ストーリーの概要

江戸時代、伊丹・西宮・灘の酒造家たちは、優れた技術、良質な米と水、酒輸送専用の樽廻船によって、「下り酒」と称賛された上質の酒を江戸へ届け、清酒のスタンダードを築きました。酒造家たちの技術革新への情熱は、伝統ある酒蔵としての矜持と進取の気風を生み、「阪神間」の文化を育みました。六甲山の風土と人に恵まれたこの地では、水を守り米を育てる人々、祭りに集う人々、酒の香漂う酒造地帯を訪れ、蔵開きを楽しむ人々が共にあり、400年の伝統と革新の清酒が造られています。

■主な構成文化財

- 【国】 灘の酒造用具(神戸市)
- ◆ 菰樽づくり技術(尼崎市)
- ◆ 宮水発祥之地碑 宮水井 宮水地帯(西宮市)
- 【国】 旧山邑家住宅(淀川製鋼迎賓館)(芦屋市)
- 【国】 旧岡田家住宅 附棟札、釜屋及び洗い場、搾り場(伊丹市)

■問い合わせ先

阪神間日本遺産推進協議会(事務局 伊丹市空港・にぎわい課)  
兵庫県伊丹市千僧1-1  
TEL: 072-744-2088 FAX: 072-784-8048  
E-mail: toshibrand@city.itami.lg.jp

構成文化財など詳しくはこちら ↓



【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む

分類: シリアル / 認定ストーリー 97

■タイトル

「葛城修験」-里人とともに守り伝える修験道はじまりの地

■所在自治体 和歌山県(和歌山市、橋本市、紀の川市、岩出市、かつらぎ町)、大阪府(岸和田市、泉佐野市、河内長野市、和泉市、柏原市、阪南市、岬町、太子町、河南町、千早赤阪村)、奈良県(五條市、御所市、香芝市、葛城市、王寺町)

■ストーリーの概要

和歌山~大阪~奈良の境に聳える葛城の峰々。修験道の開祖と言われる役行者がはじめて修行を積んだこの地は、世界遺産の吉野・大峯と並ぶ「修験の二大聖地」と称されています。この地には、役行者が法華経を1品ずつ埋納したという28の経塚があり、今も修験者たちは、その経塚や縁の寺社、滝や巨石を巡ります。そしてその修行にはいつの時代も、この地に暮らす人々との深いつながりがありました。修験者や地域の人々が大切にしてきた聖地「葛城修験」- 修験道の歴史は、ここから始まりました。

■主な構成文化財

- ◆ 友ヶ島 序品(第一経塚)(和歌山県和歌山市)
- ◆ 中津川行者堂(和歌山県紀の川市)
- ◆ 犬鳴山(七宝瀧寺)(大阪府泉佐野市)
- ◆ 転法輪寺(奈良県御所市)

■問い合わせ先

葛城修験日本遺産活用推進協議会  
和歌山県和歌山市小松原通一丁目1番地  
TEL: 073-441-2424 FAX: 073-432-8313  
E-mail: e0624001@pref.wakayama.lg.jp

構成文化財など詳しくはこちら ↓



紀州加太浦「探燈大護摩供」



中津川行者堂

分類: シリアル / 認定ストーリー 99

■タイトル

もう、すべらせない!!  
~龍田古道の心臓部「亀の瀬」を越えてゆけ~

■所在自治体 奈良県(三郷町)、大阪府(柏原市)

■ストーリーの概要

「亀の瀬」、それは奈良と大阪の国境に位置し、奈良盆地の水を一手に集める渓谷地帯。ここは、4万年前から地すべりが繰り返されてきた難所でありながら、古代より都の西の玄関口として交通・経済・治水を支えてきた心臓部だ。万葉びとが歌に詠み、文物の往来によって発展を遂げた「龍田古道」は、地すべりの恐怖と隣り合わせにある。古代からこれまで、人々は都度の最新技術を結集させてこの要衝地を守り、龍田の風の神がその歴史と常にともにあつた。龍田の風を肌を感じながら古道を歩いてみよう。土砂に埋もれた鉄道トンネルを覗き、未来の暮らしを支える土木技術に触れ、いざ亀の瀬を越えたとき、自然の驚異と寄り添い暮らす日本人ならではの心のありようが見えてくる。

■主な構成文化財

- ◆ 旧大阪鉄道亀瀬隧道
- ◆ 龍田大社(建造物)
- ◆ 亀岩(記念物)
- 【国】 奚婁鼓(有形文化財)

■問い合わせ先

日本遺産「龍田古道・亀の瀬」推進協議会事務局(柏原市役所にぎわい観光課)  
大阪府柏原市安堂町1番55号  
TEL: 072-940-6165 FAX: 072-971-2530  
E-mail: kanko@city.kashiwara.lg.jp

構成文化財など詳しくはこちら ↓



【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む



龍田大社拝殿



地すべりに埋もれた亀の瀬トンネル

分類: シリアル / 認定ストーリー 98

■タイトル

中世日本の傑作 益田を味わう -地方の時代に輝き再び-

■所在自治体 島根県(益田市)

■ストーリーの概要

海に国境のない時代-中世。山陰地方の西端のまち益田は、その地理と地域資源を活かして、大きな輝きを放っていました。人々は、中国や朝鮮半島に近い地理と、中国山地がもたらす材木や鉱物などの地域資源を活かして、日本海交易を進めました。領主益田氏は、自らも交易に積極的に関与し、優れた政治手腕を発揮して平和を実現しました。経済的繁栄と政治的安定のもと、東アジアの影響も受け、どこにもない文化が開きました。現在の益田にはその歴史を物語る、港、城、館の遺跡と景観、寺院や神社、町並み、庭園、絵画、仏像などの一級品がまともに残っています。このように、時代と地域の特性を活かして輝いた益田は、中世日本の傑作と言え、全国でも希少な中世日本を味わうことのできるまちです。

■主な構成文化財

- 【国】 益田氏城館跡
- 【国】 中須東原遺跡
- 【国】 萬福寺(建造物)
- 【国】 医光寺庭園

■問い合わせ先

益田の歴史文化を活かした観光拠点づくり実行委員会事務局 一般社団法人益田市観光協会  
島根県益田市駅前町17番2号  
TEL: 0856-22-7120 FAX: 0856-23-1232  
E-mail: info2@masudashi.com

構成文化財など詳しくはこちら ↓



【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む

分類: 地域 / 認定ストーリー 100



萬福寺本堂



高津川

平成27年度認定

平成28年度認定

平成29年度認定

平成30年度認定

令和元年度認定

令和2年度認定

平成  
27年度  
認定

平成  
28年度  
認定

平成  
29年度  
認定

平成  
30年度  
認定

令和  
元年度  
認定

令和  
2年度  
認定



三瓶小豆原埋没林



立神岩

■タイトル

石見の火山が伝える悠久の歴史  
～“縄文の森” “銀の山”と出逢える旅へ～

■所在自治体 島根県(大田市)

■ストーリーの概要

地下へ続く階段を下りていくと、目の前にそびえ立つ幾本もの巨大な木一。三瓶山の噴火で地中深くに埋まった縄文時代の木々が、悠久の時を超え、当時のままの姿を現しているのです。火山大国である日本。人々を脅かす噴火ですが、石見の国おおだには様々な恩恵をもたらしてくれました。かつて世界に「ジバンク(日本)」の名をとどろかせた石見銀山の鉱床もマグマから生まれたのです。そして火山が育んだ豊かな大地は生活を潤してくれました。暮らしの根っこに火山の歴史が息づくまち、石見の国おおだ。ここには火の国のめぐみと出逢える旅が待っています。

■主な構成文化財

- 【国】三瓶小豆原埋没林
- 【国】石見銀山遺跡
- 【国】琴ヶ浜
  - ◆ 福光石の石切場
  - ◆ 立神岩

■問い合わせ先

大田市日本遺産推進協議会事務局(大田市役所観光振興課内)  
大田市大田町大田口1111番地  
TEL:0854-83-8192 FAX:0854-82-9150  
E-mail: o-kankou@city.ohda.lg.jp

構成文化財など詳しくはこちら ↓



【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む

分類：地域／認定ストーリー 101



出島和蘭商館跡



常盤橋

■タイトル

砂糖文化を広めた長崎街道 ～シュガーロード～

■所在自治体 長崎県(長崎市, 諫早市, 大村市), 佐賀県(嬉野市, 小城市, 佐賀市), 福岡県(飯塚市, 北九州市)

■ストーリーの概要

室町時代末頃から江戸時代、西洋や中国との貿易で日本に流入した砂糖は、日本の人々の食生活に大きな影響を与えた。なかでも、海外貿易の窓口であった長崎と小倉を繋ぐ長崎街道沿いの地域には、砂糖や外国由来の菓子が多く流入し、独特の食文化が花開いた。現在でも、宿場町をはじめ、当時の長崎街道を偲ばせる景観とともに、個性豊かな菓子が残されている。輸入砂糖や菓子と関わり深い長崎街道「シュガーロード」を辿ると、長崎街道の歴史だけでなく、400年以上もの時をかけて発展し続ける砂糖や菓子の文化に触れることができる。

■主な構成文化財

- 【国】出島和蘭商館跡
- 【国】嬉野市塩田津(国選定伝統的建造物群保存地区)
  - ◆ 常盤橋
  - ◆ カステラ、諫早おこし、大村寿司、逸口香、小城羊羹、丸ほうろ
  - ◆ 千鳥饅頭、金平糖

■問い合わせ先

シュガーロード連絡協議会  
長崎市桜町4番1号 商工会館4階  
TEL:095-829-1150 FAX:095-829-1151  
E-mail: shoko@city.nagasaki.lg.jp

構成文化財など詳しくはこちら ↓



【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む

分類：シリアル／認定ストーリー 103

分類：地域／認定ストーリー 102

■タイトル 「ジャパンレッド」発祥の地 - 弁柄と銅の町・備中吹屋 -

■所在自治体 岡山県(高梁市)

■ストーリーの概要

標高約500mの高原上に忽然と出現する「赤い町並み」。かつて国内屈指の弁柄と銅生産で繁栄した鉾山町・吹屋である。吹屋で生産された赤色顔料の弁柄は全国に流通し、社寺などの建築や九谷焼・伊万里焼や輪島塗等、日本を代表する工芸品を鮮やかに彩り、日本のイメージカラーである「ジャパンレッド」を創出した。富を得た商人たちは赤い瓦と弁柄で彩色された格子で家々を飾り、今も残る町並みは、独特の景観を醸し出し、訪れる多くの人々を魅了している。また、周辺には、弁柄工場跡や銅山跡等も残り、「ジャパンレッド」を創出した往時の繁栄をしのばせている。

■主な構成文化財

- 【国】高梁市吹屋伝統的建造物群保存地区
- 【国】旧片山家住宅(建造物)
  - ◆ 笹畝坑道(遺跡)
  - ◆ 旧吹屋小学校校舎(建造物)

■問い合わせ先

高梁市日本遺産推進協議会  
岡山県高梁市旭町1335番地7  
TEL:0866-21-0257 FAX:0866-22-9460  
E-mail: rekishimachi@city.takahashi.lg.jp

構成文化財など詳しくはこちら ↓



【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む



赤く彩られた吹屋の町並み



整備された旧弁柄工場(ベンガラ館)

分類：地域／認定ストーリー 104

■タイトル 八代を創造(たがや)した石工たちの軌跡  
～石工の郷に息づく石造りのレガシー～

■所在自治体 熊本県(八代市)

■ストーリーの概要

かつて全国で築かれた「めがね橋」を、今も多く見ることができる熊本。その多くは八代で生まれ育った石工たちによって手掛けられました。彼らの卓越した手腕は日本各地で必要とされ、「神田万世橋」や「通潤橋」などの架設を成功に導き、全国に名声を轟かせるまでに至りました。それ故に、八代は多くの「名石工」を輩出した「石工の郷」と呼ばれています。石工たちは、八代に広大な平野と豊かな実りをもたらした「干拓事業」や、地域の交通を支えた「めがね橋」の架設などに携わり、八代の発展と人々の生活基盤づくりに長きにわたって貢献する中で、己の技を磨き上げ、名もなき石工から名石工へと成長していったのです。彼らが築いた堅牢な干拓樋門、川面に美しいアーチを描くめがね橋、見事な棚田の石垣などの石造りのレガシーは百余年たった今も、まちの景観や人々の暮らしの中に生き続けており、訪れる人々を「石工の郷」へと誘ってくれます。

■主な構成文化財

- 【国】旧郡築新地甲号樋門(建造物)
  - ◆ 鍛冶屋上・中・下橋(建造物)
  - ◆ 笠松橋(建造物)
  - ◆ 女相撲(無形民俗)

■問い合わせ先

八代市経済文化交流部文化振興課  
熊本県八代市松江城町1-25  
TEL:0965-33-4533 FAX:0965-33-4516  
E-mail: bunka@city.yatsushiro.lg.jp

構成文化財など詳しくはこちら ↓



【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む



笠松橋



女相撲

平成  
27年度  
認定

平成  
28年度  
認定

平成  
29年度  
認定

平成  
30年度  
認定

令和  
元年度  
認定

令和  
2年度  
認定